滿洲日報
十月廿六日發行
發行人 鈴木昇　編輯人 橋本喜代治　印刷人 木村武盛
大連市東公園町三十一番地　發行所 株式會社滿洲日報社

我軍は議定書に照し速に滿洲に增兵せよ
現在の駐兵數は極めて寡少
政友會視察員の報告

【東京二十六日發】政友會の滿洲視察特派員岡本一巳、宮崎一、篠原義政、鈴木昇三郎、佐藤洋之助氏等は鈴木總裁山口幹事長に詳細な報告書を提出したが、その内には特に增兵の急を主張し、黨として何分の手段を講ずるやう要望した、即ち **滿洲國治安の維持は遷延するを得ず、**現に駐屯の皇軍は全力を傾倒して樂土建設の崇高なる方針に當りつゝありと雖も、嘗て**ソウエートが東支鐵道守備といふ單一目的にさへ五萬五千餘の兵を常駐せしめしに對照し我駐兵數は極めて寡少なり、**顧みれば反滿軍は大部討伐したりと雖もなほ、北邊に蘇炳文、張殿九等の大集團あり彼等は蒙古を經て學良より武器を支給されつゝあり、滿鐵線委任管理線の守備と匪賊掃蕩には**現在の駐兵を以ってしては徒らに犧牲多ければ速かに議定書に照し增兵すべきなり**

帝國政府の意見書
吉田大使が廿八日携行

【東京二十六日發】リットン報告書に對する帝國政府の意見書は愈々廿八日の閣議に附し上奏御裁可を仰いだ上、同夜九時二十五分東京出發の吉田大使に附託ジユネーヴに携行せしめるが、右全文は理事會に提出と同時にジユネーヴで公表される筈であるが、外務省では意見書が英文で大型半紙八十四頁に亘る長文なものであるため特に一般の便宜を圖り簡明なる日本文に要領書を作成する筈

米支の對日態度最近漸やく好轉
荒木陸相の時局談

【東京二十六日發】荒木陸相は二十五日夜陸相官邸に於て左の時局談を爲した

豫算編成問題 明年度陸軍豫算編成については目下關係各方面の手によつて最後の決定を急いでゐるから一兩日中にはつきりした目鼻がつく筈だ、高橋藏相とはまだ纏つた話はしてゐないが大體の話はついてゐるし結局大した困難もなく問題は片づくのぢやないかと思つてゐる

滿洲里問題 この二、三日の情勢では大勢において和平解決の曙光が見えてゐるが、日本は飽に角和平解決を求める方針で、蘇炳文が歸順すれば滿洲國側に斡旋して今後の保障もしてやる考へだ、それでも蘇炳文が態度を改めぬ場合は斷乎膺懲するのみだ、然し目下蘇國の極めて友好的な斡旋もあり、問題は眞にデリケートな狀態となつてゐる

不可侵條約問題 要するにロシア側の誠意如何の問題で眞に誠意を以て提議し來るならば軍部としても決して交涉に應ずるに吝でない、ロシア側出先官憲たるトラヤノフスキー大使等の態度は眞劍なものがあるからこの問題は將來進展の可能性は充分あると見てゐる

對米對支問題 支那本土は各地に內亂勃發して前途遼かに逆睹し難きものがあるが最近の情勢では我國に對する態度は漸次好轉の形勢に在り先づ樂觀して良いものと考へる、アメリカの對日態度も目下渡米中の新渡戶博士等の努力もあり好轉し來つてゐるので之亦悲觀すべき問題はない、聯盟についても松岡代表の手腕に信賴し大なる期待を持つて見てゐる、然し我等の刻下の問題として考ふべきは以上述べた事よりも寧ろ滿洲國將來の建設を如何に援助すべきかに在る卽ち日本國民としては今後如何に實質的に滿洲國を援助し成長せしめるかを考へねばならぬと思ふ

松岡全權一行浦鹽出發

【浦鹽二十五日發】午前八時半當地に上陸した松岡全權一行は山口總領事等の見送りを受け元氣頗る旺盛で午後七時八分發烏蘇里線經由のモスクワ行列車で出發した

不可侵條約は必要
外務省の意嚮を聽いて來る
けさ海路東上した川越首席隨員談

不可侵條約に關し日、滿、露間に新しき曙光の認められつゝある今日外務省よりの急電によつて北京する事となつた全權部首席隨員川越茂氏は廿六日出帆うらる丸で內地へ向つた、艦中出發に際し語る

別に重要な用件があるわけではない、あり態にいへば全權部の仕事は全然今迄になかつた制度なのでその實行にあたり本省との間に色々打合す事項がある、領事、總領事館を統轄する關係で本來からいふと時々上京しなければならないのだ、不可侵條約については別に考へてゐない、しかし一日も早くその種の協定の必要な事は解り切つた事で、これは中央が主として考へてやつて居る事だ、今度はむしろそちらから聞いてくる位だ、しかし聞かれては知つてゐる範圍を答へる何れにしても隨員といふ者は餘り高く買ひかぶらない方が可いだらう、掃匪事業も段々目鼻がつくと共に、滿洲各地に領事館或は分館を增設しなければならないとは當然のことだが結局經費の問題が先に立つ、歸滿期もわからない、半月になるか一ケ月になるか全然わからない（と所々を巧にかはしつゝ應酬した（寫眞は川越隨員）

新規要求六億程度
大藏主計局の査定方針

【東京二十五日發】明年度豫算編成に關する大藏省主計局の査定局議は既に內務、農林、陸海軍、遞信、文部各省の分を終了し最も難關と目されてゐる軍事費、時局匡救費は大體査定の目鼻も立つた樣であるが、商工、司法、拓務、大藏、外務等の査定を殘してゐるので、全部の査定を終り大藏原案の閣議に附議されるのは今月末或は來月初旬になるものと見られてゐるが、主計局では大體十二億圓餘の新規要求總額に對して滿洲事件費軍事費約三億七、八千萬圓、時局匡救費二億圓その他緊急已むを得ざる一般經費約二、三千萬圓合せて約六億圓程度に査定される見込みである但し、後年度替差損金、公債利拂等の豫算をも加へれば更に增加する見込みで主計局では來月初旬大藏省前に豫算閣議に附する目的で連日馬力をかけてゐる

軍事費は政治解決

【東京二十六日發】荒木陸相は二十六日午前九時半藏相官邸に高橋藏相を訪ひ、一時間半に亘り明細說明を行つた、なほ大藏當局は財源難に際會しての尨大な軍事費豫算の取扱ひにつき愼重を期し軍部側と協議を續けたが事務當局の一存において軍事豫算の査定を行ひ難きため今後の解決は高橋藏相と陸、海軍大臣との直接交涉に一任してゐる

公債二億圓來月中に發行

【東京二十六日發】日銀引受豫定公債六億七百萬圓の中二億圓見當は來月中に發行するとみらる、右は軍部關係、農村匡救事業に充當される筈でこの結果一般的にインフレーションは助長するものとみられてゐる

事變後の滿洲視察
中井代議士談

政友會代議士中井一夫氏は皇軍慰問かたがた滿洲國の現狀視察のため廿六日午前七時半入港はるびん丸にて來連したが、同氏は昭和［illegible］衆議院議員滿支視察團一行に加はり張學良當時の滿洲施政を視る事あり、事變後の新國家と比較調査し現在の善政を摘して國家多事の際一般國論の喚起に努める筈である、氏は一方辯護士として大谷光瑞師に私淑し法律方面の相談に預つてゐるので、今回もさきに來連せる光瑞師と行動を共にし歸途は朝鮮を經て朝鮮東海岸線を視察する豫定であると、氏は語る

特に用事とてないが國運を賭して承認せる滿洲國の全般的に亘る視察をなしまた近く通常議會に提出される陸海軍の莫大なる軍備豫算に對する豫備知識を得たいと思ひ旁々私は兵庫縣出身として奧地に活躍する鄕土軍を親しく慰問したいと思つてゐる

先年來滿せる時は學良時代の滿洲で當時の住民は治安紊亂はもとより重税に重税を課せられ頗る苦境にあつたもので新國家建設後の今日とは雲泥の差違あるものと思ふ、この點を充分調べて見たい、大谷光瑞師は滿洲で事業をやりたい意思は充分持つてゐられるし上海事變以來上海の土地を離れて大連を中心として土地を求め家を建てこゝに永住の心もあるやうである、兎も角私は三週間位の豫定で出［illegible］

港灣、鐵道に關し根本方針を協議
總督府との打合せを了へ
村上理事けふ歸任

滿鐵總督府と北鮮終端港、南廻線問題等に關し打合せを遂げ羅津、雄基の諸港を視察し更に天圖線、長春線を飛行機上から觀察した八田滿鐵副總裁、村上理事、根橋技術局次長、松本秘書役等の一行は廿六日午前八時着列車で歸連したが、驛頭には山西、山崎兩理事、中西文書課長、林秘書係主任等滿鐵關係者多數の出迎へがあつた、村上理事は歸社後直に鐵道部長室に關係課長等を招集して正午すぎまで打合せに忙殺されてゐたが往訪の記者に語る

朝鮮總督府では總督、總監や港灣關係で內務局長にもお會ひしたが吉田鐵道局長は留守だつたので理事にお會ひして來た、打合せの內容は未だ具體的な話までには行つてをらず、ただ今後具體的交涉を進めるのについて必要な

根本問題 について協議したので大體意見の一致を見た、然し具體的交涉に入るのにはまだ何度も行き來しなくちやなるまい、その他京城では軍司令官、憲兵司令官等にお會ひして今後のことをお願ひしたり日頃のお禮を述べた、羅南でも知事や師團長等にお會ひした、灰莫洞から飛行機で一寸龍井に降りただけで長春まで一氣に飛んだ、大村部長が來られることはこの前奉天でお會ひした時に聞いてゐたのだらうし別に大村氏が來られたからといつて

鐵道會議 を開くやうなことはない、然し勿論折角お出でになつたのだし時間の許す限りお會ひして先方の意見も承はりこちらの方針や意見も充分に打明けて見たいと思つてゐる羅津港は目下まだ測量中で出來れば結氷期中に測量を完了し設計も仕上げて來春早々から工事に取かゝりたいと思つてゐる、港灣に必要な鐵道の方も大體の時に起工の豫定で港は第一期計畫が五ケ年で鐵道は二年半で完成の豫定である（寫眞は歸任の一行）

日支問題と歐洲小國の態度
太田スペイン公使談

スペイン公使太田爲吉氏は二十五日午後一時來奉したが午後六時記者との會見において語る

特別の命令をうけて來た譯ではない、單に個人として滿洲國の實狀視察に來たのだ、滿洲國官吏とならぬか？大橋君がゐるから別にネ（と否認し）スペインの滿洲國

承認問題 については同國は共和政府になつてから憲法に外國との關係は國際聯盟によるといふ、いはゞ國際聯盟を支持した條文を制定してゐるために國際聯盟の總意にはその內容の如何は第二として服さねば國家が成立しないのだから、勢ひ我等が聞いてゐて不愉快なことは聯盟で代表らが述べるのは國情の然らしむるところで已むを得ないと思ふ、歐洲の小さい諸國はさうした立場に引きずられてゐる、しかもスペインは滿洲には何ら貿易上、政治上關係を有たぬから問題ではない、それに自分は四月同地を出發したのでその後の樣子は知らぬ、新京に

全權部が 移ることは新聞で見た、將來大使或は公使館を設けるか、とにかく滿洲國との交涉代表は置かれねばならぬ、新聞には、武藤全權が代表となるとあり、それ以外には知らぬ、日滿通商航海條約の締結、惹いて治外法權の撤廢問題も當然起る事であらう、本省としても色々研究してゐる樣子だつた、何分門外漢で詳しいことは分らぬ、滿洲に商務官を設ける事は必要だらうと思ふ、個人の意見としては商務官は未開地に駐在せしめ市場調査と紹介に當る必要がある、滿洲の如き地には多年土着の邦人あり、それらの人々に

囑託とす ることも一つの案だらう、突然飛込んで來ても地方の實狀が分らぬことでは仕事は出來ぬ、なほ日滿經濟統制委員會の如きも無論と［illegible］ればならぬ

因に氏は二十六日奉天市內各方面視察、二十七日午後三時十五分發新京に向ひ二十九日ハルビン視察歸途通過し來月二日の便船で大連經由歸京の豫定である、なほ二十五日午後六時から總領事館において中野總領事代理は氏を主賓として在奉知名士を招待し懇親宴を催したのち、今後の滿洲各地の諸問題につき意見の交換をなした＝寫眞は太田公使＝【奉天電話】

形勢は全く混沌
市議逐鹿戰白熱化

逐鹿戰はますます白熱化し神出鬼沒のエムデン戰法が用ひられ各戰線は至る處これが爲めセンセーションを捲き起し特に沙河口工場に流行し此處を地盤とする一宮、菅原兩候補はこのエムデン戰法に備へる爲め哨兵を配置し嚴重監視中と傳へられてゐるが、この戰法の至る處に用ひられ正々堂々と戰つてゐる候補達には

一大脅威 を與へてゐる、その結果鞏固の地盤も搖ぎ出した觀もあり、恩田候補などは［illegible］中等教育界、旅順中學の地盤、滿洲鄕土協會鳥取縣人會、大連女子美髮美容業組合を手に入れ根強い地盤を置き相當有利に展開してゐるが、昨今俄に崩れかゝり必死に防戰するなど樂觀を許さなくなつた、また一面には特に婦人を動かさんとする候補者も尠からず、上原候補などは「政治は家庭から」をモットーに頻りにモーションをかけてゐる、更に上原候補は洋服商組合にも突入した、鈴木、五十嵐兩候補など

內助の功 ある方で、若槻氏はこの［illegible］傳へられてゐた鈴木候補は、この法務功を奏しや、好轉したと放送される、笠原候補は最後のヘビーをかけるべく猛然捲起し高嶋候補また好轉したり逆轉したりして當落の戰線に血刄を揮ひ遮二無二突擊を試みてゐるがまだ票不足の感あり埠頭方面は全く混沌とし何れの候補が最も優勢であるか豫想を許さない、要するに埠頭方面にかて勝利を得た者は悠々當選圈內に入るであらうと一般から觀られてゐる

石井參與官
安奉線で歸京

石井陸軍參與官は重要任務を帶びて谷萩少佐、秋山副官を帶同して二十六日午前九時半發安奉線にて歸京の途についた、驛頭には多數の軍部關係者に茨城縣人が栗原代議士寄贈の縣人旗を押立て見送つた、一行は安東にて下車、數時間の視察を終へて再び車中の人となり一路歸京の豫定【奉天電話】

大豆油說明に
佐藤博士內地へ

中央試驗所技師工學博士佐藤正典氏は二十六日朝出帆うらる丸にて內地へ向つたが同氏は語る

一段入した用務もないが大豆油等の知識は內地の工業家邊りでもまだ充分に理解してゐないので、この方面の知識に油を注ぎに行くが本年八月まで歐米各國を視察して來た結果に依ると大豆油に對する利用價値は歐米人の方が遙かに進步して居り近くの日本がこれを看過してゐる事は誠に遺憾に思ひ約三週間に亘つて各地の工業利用家に會つて說明して來たいと思つてゐる

ほんこん丸船客

【門司特電二十六日發】大連入港豫定のほんこん丸主なる船客諸氏
海軍中佐原田清、古賀士、朝日新聞社奉天特派員中村桃太郎、朝日北平特派員久住悌三、小寺武平

人事

▲安藤紀三郎氏（旅順要塞司令官）二十六日午前八時大連着
▲飯島佐呂久氏（出雲大社滿洲分院長）出雲大社教五十年祭式典に參列の爲め廿六日出帆のうらる丸で母堂（九十三歲）夫人同伴出雲へ
▲小森七郎氏（日本放送協會理事）二十六日午前十時出帆うらる丸にて離連
▲伊藤豐氏（同上技師）同上
▲藤田臣直氏（昌光硝子社長）同上
▲川越茂氏（駐滿全權部主席隨員）同上
▲平野久保氏（商工省工務局技師）同上
▲深水壽氏（滿鐵技術局審査役）同上
▲佐藤正典氏（中央試驗所技師工博）同上
▲廣瀨亞夫氏（大阪造幣局總務部長）同上
▲八田嘉明氏（滿鐵副總裁）廿六日八時着列車で歸連
▲根橋禎二氏（滿鐵技術局次長）同上
▲村上義一氏（滿鐵理事）同上
▲松本重道氏（滿鐵秘書役）同上
▲古山勝夫氏（奉山鐵路顧問）同上來連
▲高田友吉氏（大連商議會頭）二十六日午前七時半入港はるびん丸にて着連
▲中井一夫氏（政友代議士）同上
▲松村久兵衞氏（大連倉庫社長）同上
▲松下外次郎氏（日清製油會社專務）同上
▲山本力氏（元關東廳視學）今回滿洲國に轉任したのでその挨拶の爲め二十六日市內各方面歷訪
▲廣瀨金藏氏（三泰油房重役）同上
▲小谷澄三氏（オリンピック出場レスリング選手）同上
▲吉田四一氏（同上）同上
▲湊明子孃（松竹キネマ下加茂女優）同上

滿鐵の新職制案は
來る廿八日最後決定
人事異動と共に來月上旬發表

新任挨拶および視察のため沿線旅行中の林滿鐵總裁および河本、大淵、山崎の三理事は二十五日夜、京城、北鮮地方視察中の八田副總裁及び村上理事は二十六日朝、それぞれ歸任、正副總裁および六理事が揃つたので二十六日午後一時半より久しぶりに

重役會議 を開いた、別項のごとく重役會議は定日に開くことゝなつたので、本日は顏合せの程度で、從つて議題の豫定はないが、懸案の職制改正は留守中に在京の伍堂、十河兩理事よりの回答も來て居り、文書課の手で大綱案も出來てゐるので、自然討議されるものと見られてゐるが、廿六日はおそらく決定を見ず、第一回の定例重役會議たる廿八日に上程後の決定を見ることにならう、その後關東廳その他在滿洲關係各機關と打合せて意見の一致を見た上で、文書課にて細目の分課規程を作り、認可を得るために

拓務省に 送達する筈で、從つて公表されるのは早くも十一月上旬で、職制改正の實施に伴ふ各理事の擔任箇所および幹部級社員の異動が發表されるものと信ぜられてゐる、更に二十六日の重役會議において、遲延してゐる豫算編成方針に關する問題が出るべく、今後の豫算會議開催日取り、および大體の査定方針の決定を見る筈

滿鐵重役會議
定例制復活

滿鐵の重役會議は事變前までは毎週定日に開いてゐたが、事變後重役の奧地との來往頻繁だつたのと重要事務が突發的に發生して臨機の處置をとる必要があつたのとで自然定例制が破れ隨時に開かれて來た、しかるに事變後一年を過ぎて滿鐵の仕事も漸く平常に復したのと、正副總裁も揃つたので舊のごとく定例制度を復活することゝなり、爾後毎週火、金の兩日をもつて會議日と內定、二十八日の金曜日に復活最初の定例重役會議を開く筈、かく定例制となつた結果重役側もその日を豫定して事務を執ることが出來、又社員も重役會議に附議する議案を作成する上において便利となり執務上の能率が上るものと見られてゐる

候補演說會

二十六日午後六時半から相川候補は日の出俱樂部において政見發表演說會を開き、また上原候補は同七時から濱町滿洲ドック俱樂部において演說會を催す由

蛇角

學良が泣きを入れた。？だが今になつてはモウ遲い、遲い。

◇

荒れ後凪ぎ、松岡全權一行元氣で浦鹽を出發、先づ幸先よろし。

◇

汪精衞も香港を出發した。但し前者は堂々、後者は孤鼠々々。

◇

滿洲歸りの政友議員、增兵の急務を主張す、萬更節穴でない眼力を持つてる證據に。

◇

公債、藏券續々增發、已むを得ずとはいへ、何んとなく空恐ろしい氣がせぬでもない。

◇

［illegible］が失敗し、［illegible］が物をいつた旅順の［illegible］。

滿蒙の戰慄（137）
直木三十五作　淺枝次朗畫

再生（四ノ六）

「押さないで下さい」

麗は、肩を振つて

「覺悟してると、云つてるぢやありませんか」

「そうかい、そいつあ、すまなかつたね」

「春井さん」

「何んだ」

「妾、おつかさんに、殘して行くものがあるんです」

「殘して行く？」

「えゝ――妾、死ぬかもしれないから」

「何をいふ。早く行かう。大事のなを、死なして何うする」

「家へ屆けさせる品物が、あづけてあるんです。すぐ、そこだから、つき合つて下さい」

「よし」

角の所で

「麗さん」

と、女給が叫んで

「何處へ行くの」

麗は

「お店も、もう見納め」

と、呟いた、

「成る程、決心してるれ、可哀さうに」

春井は、麗をみて

「俺が、その代り、たんと、可愛がつてやるからね。何處だい」

「すぐ」

麗は、歩き出して

（ついてくる――大丈夫、西城さんの仰しやつた通り、何處までもやり通すつもりなら、こんな暴力――）

そう感じる一方で

（中手さん――こつちは二人になつたのだから）

と、思ふと、いくら中手でも、敵ひそうになく考へられてきた。

（もし、中手さんも傷いたら？）

そう思ふと、麗は、自分の傷に何人の男が、こんな下らん男の爲に傷くか？それが、ことごとく、自分の思慮の足りなさから來る事だとおもふと、憤りと共に、後悔が、又腕を固くしてきた。

「もういゝよ」

と、春井が一人に云つて

「何つかへ行つて飲んで來給へ」

金を渡した。

「ぢや」

男は、歩きかけて

「おい、麗ちやん。逃げたつて、日本はおろか、滿洲、上海まで、ちやんと、わかつてるんだぜ。いゝかい。おとなしくしてた方がいゝんだよ」

「えゝ」

麗はうなづいた。春井一人になつたのが、うれしかつた。

「何處だい」

「そこのビルヂング」

「そして、お前、俺の所へ、轉がり込むつもりなのかい」

「何うだか」

「今日は、何うだい、儲かつたかい」

「いゝえ」

「昨夜の一件、客の奴あ、うるさいだらう」

「えゝ」

「然し、人氣が出ていゝだらう。撲つたつて、撲られたつて、たかりたがる人生だからなあ」

麗は、窓を見上げて

「なあさん」

と、叫んだ。

「おーい」

とすぐ返事がして

「今行く」

麗は、ふるへ出してきた。手を握りしめた。

旅順の豆腐屋夫婦 拳銃で射殺さる
三女は頭部を撃たれ手當中
原因不明の謎の慘劇

秋深き平和郷の旅順に二十六日午前四時乃木町三丁目目拔の大通りで邦人夫婦の射殺事件が惹起された、然も謎の殺人事件として市民に多大の衝動を與へてゐる、被害者は原籍長崎縣南高來郡有馬村白木野名一三三六番地、旅順市乃木町三丁目三の六ともゑ食堂兼家豆腐製造業植松粲(四八)同人内縁の妻ヨシノ(四七)三女サダ子(一四)の三名であるが植松夫婦は拳銃を以ていづれも胸部、腹部を貫通され即死し、サダ子は頭部へ一發射撃されたが即死に至らず、目下關東廳醫院に收容手當中である、加害者は某方面關係者杉尾弘と

加害 者は某方面關係者で

斷定 され目下警察、憲兵隊協力の上搜査中である

事件の眞相に就ては全く不明であるが被害者植松方は現在二女ヤス子(一七)三女サダ子(一四)次男友三郎(一〇)四女美代子(八)の四名にて右のほか長男義男は現在撫順炭礦に勤務しまた二女ヤス子は旅順乃木町カフエーミハラシに女給を勤めてゐるので慘劇の際は植松夫婦と三女サダ子次男友三郎四女美代子の四名であつた

原因が痴情とすれば二女ヤス子(一七)か又は三女サダ子(一四)に絡るものと想像されるがヤス子は殆ど

歸宅 する事なくミハラシに宿泊しサダ子は未だ小學校高等科一年生であるため疑惑の點がある、しかしヤス子との關係とすればヤス子が通勤中と想像され不幸その身代りとなり兩親が射殺されたのではないかとも見られるが全然この點は不明である

四女美代子が語る處によると午前四時頃突然見馴れぬ〇〇服の男が表口から這入り來り母親に對し「泊めて異れ、手紙を書いて異れ……」と頼んでゐた內突然拳銃にて母親を射殺し銃聲に驚いて豆腐製造中の粲が室內に這入る際第二發目を發射され即死しつゞいて第三發目を三女サダ子に發射したまゝ裏口より料亭彌生横の小路を拔け逃走せるものでその際彌生と神田鶴吉氏所有の鶏小屋屋上に〇〇靴一足とカンプラ油瓶が遺留してあつた(寫眞は慘劇の家)

兇行一時間前 深夜三女を訪れる
夫婦で叱責したのを憤慨し 外出し拳銃を入手

射殺の原因について當時店先にて豆腐製造中の支那人及び被害者サダ子よりの聽取りを綜合すると加害者とサダ子は數日前から懇意となり冗談から遂にキツスをするまでの仲となつてゐたが兇行當夜廿六日午後三時頃加害者は突然裏口から屋內に入りサダ子の就寢中のところへ來りて横臥してゐるのを母親のヨシノが見兼ねて叱責したので加害者との間に詫狀を書くとか金ですましてくれとか問答が交されてゐるのを店先にゐた父親がこれを耳にして座敷に上りこの樣を見て激怒のあまり加害者を足蹴にした模樣で加害者はそのまゝ外出し約三十分の後某所より拳銃を窃取し再び植松方を訪れ金二圓を差出したが談判不調に終つて遂に兇行を演じたものらしい、なほ被害者サダ子の身體に關し嚴密なる取調べを行つたが銃創以外に何等の異狀を認めなかつた

犯人搜査 大連から檢證

事件突發と共に旅順警察署では非番巡査の非常召集を行ひ又加害者關係機關でも總動員を行つて協力の上犯人の潜伏せんとする山野、宿屋を搜査中である、また大連地方法院檢察局より高井檢察官は書記を帶同同日午前十時被害者宅の實地檢證を行ふた

世界制覇の時代が必ず來る
レスリング日本代表選手の 小谷、吉田兩氏歸る

晴れのオリムピツク競技にレスリング選手として初出場し日東男子のため萬丈の氣を吐き惜敗した滿鐵の小谷澄之六段、關東廳吉田四一五段の兩氏は二十六日入港はるびん丸で歸連したが小谷六段は語る

日本としては二回目の出場だつたが自分達は部出場で三月半頃こちらを出てロサンゼルスですつさレスリングの稽古をしてゐたのだ、學校を見たりレスリングを參觀したりして出場の準備をしてゐたが出場の結果は申譯けない敗け方をしたがしかし將來レスリングはたしかに日本が制覇する時期がくる、次のドイツかその次の日本で開催されるオリムピツクでは必ず勝ち得ると皆で七階級の選手が戰ふが二つ三つの選手權は大丈夫だ、自分は今度ミツドルクラス百七十四ポンドの重量階級で闘つたが柔道とは一寸樣子が違ふ力を用ふる方法は同じだが兩肩をつけると云ふ事を目的とするだけに一寸見當がつかない、まだ日本には組織立つてレスリングの研究機關がないが將來はそんなものが出來てドシ〳〵研究さるべきだと思ふ今後は自分もその方に努力する、自分達は一行に遲れて二十二日に横濱に到着した【寫眞はハルビン丸で】

歡迎會を開く

滿鐵運動會並に柔道有段者會では二十六日午後六時より滿鐵社員倶樂部食堂に於いて小谷澄之吉田四一兩氏の歡迎會を催す由會費金二圓當日持參のこと

八ヶ年計畫
陸上聯盟の世界制覇

【東京二十六日發】全日本陸上競技聯盟では水上聯盟が統制ある練習の結果ロサンゼルスのオリムピツク大會で壓倒的勝利を得たるに鑑み八年後の第十二回大會で霸權を獲得せんとの遠大な計畫の下に諸般の準備を進めてゐたが右八ヶ年計畫遂行に對し十九日常務理事會にて「オリムピツクに對する方針」を決定二十五日發表これが實現を期することゝなつた

一、國內の各組織機關の統一を圖り一致協力の目的達成に努力すること

二、國際的に進出し各國の情勢を知り經驗を豐富にすること

三、競技の普及發達を圖り優秀選手を指導養成すること

四、優秀選手を集め講習合宿等をなさしむること

五、外國の情報を集むるためコーチを海外に派遣すること

なほ實行方法としてオリムピツク委員會を常置し從來の姑息手段を排し委員には各方面より人材を求め四ヶ年を任期として實蹟に當らしめることになつた

王道政治輝き 東邊道に新五色旗
喜び溢れる通化縣城

皇軍の掃匪と共に東邊道は忽ち治安をさまつて滿鮮の良民は滿洲國の王道政治に浴することゝなつたが、東邊道の心臟通化縣では滿洲國政府が新縣長蘇新民氏が愈々王道政治を施すこととなり二十五日午前十時半より通化縣廳において榮ある新縣長就任式が行はれた、當日城街は各戶滿洲國旗を揭揚して滿鮮の良民街頭に溢れて嬉々として縣廳前に蝟集した、定刻服部將軍は司令部より縣廳に赴り蘇縣長に「おめでたう」と祝意を表せば縣長首め新縣吏員は滿面に笑を湛へて喜ぶ、定刻服部將軍、同家隊長及び當日來縣したス、ボ二外人記者も列席式は始まつた、奏樂裡に滿洲國旗がスク〳〵と頭にのぼれば日滿官民狂喜してこれを仰ぐ服部將軍を首め各來賓の祝辭あつて心からの喜びのうちに式は終つたが、これを以て大同の王政は東邊道隈なく行はれるとなつた、二十六日には午前十時より縣民の縣政開始大祝賀會が催されたが會場の縣衙東方芝居小舍に集つた會衆約六千、住民有志の熱烈なる新政謳歌の熱辯あつて市中に旗行列にうつり六千の滿洲人老幼男女は手に手に滿洲國旗をふりかざして堂々市中を練り歩き王政を喜ぶ聲は街中にひゞきわたつた=寫眞は縣長の滿洲國旗揭揚式=【奉天電話】

遺產を續り 大家主お家騷動
未亡人が訴訟を提起

大家主として知られてゐる市內西公園町百三十五番地川村義郎氏の亡きあと遺產約二十萬圓をめぐり未亡人と義郎氏の弟妹との間に遺產爭ひが持ち上り、實弟川村爲三氏が去る十月二十日親族會議を招集、川村家相續人に妹川村いくさんを選定するの決議をなしたのに對し未亡人いわさんは米岡、師岡兩辯護士を代理に前記親族會議に列席した

大連西公園町一三五川村爲三▲同山口利忠▲沙河口霞町五八大津喩侍▲鞍山赤城町二丁目川村のぶ▲奉天住吉町山口吉康の五名を相手取り親族會議決議に對する不服の訴へを廿六日大連地方法院民事部に提起、血で血を洗ふお家騷動を遂に法廷に持ち出した、理由は

被告川村爲三氏は亡義郎氏の實弟であるが、兄の生存中不身持から常に精神的、物質的の損害を川村家に與へ遂ひに義郎氏は昭和六年三月五日爲三氏との義絶宣告をなした、それより五ヶ月を經た八月義郎氏は死亡したものである、故に爲三氏は民法上からいつても親族會々員たる資格なきに去る十月二十日會議を招集妹のぶを相續人に選定した然し會議に列席した親族中山口利忠は中途退席し山口吉康は決議に署名をしてゐないから結局相續人選定の決議は大津喩侍と爲三兩氏によつて作成されたもので、法規上の効力なしと決議取消を要求し、さらに相續人に選定された義郎氏の妹のぶは戶籍上未だ川村家の者であるが既に鞍山の他家に嫁入してゐるもので現在川村家とは何等交渉なく、この弟妹兩者をして川村家を相續させることは故人の靈

東京市電爭議に 調停法の初適用
調停委員會設置命令

【東京二十六日發】東京市電爭議に關し警視廳當局は双方に無用の犧牲を避からしめるため双方に對し圓滿解決をすゝめ極力罷業の勃發を未然に防止する方針を採つたが廿四日電氣局より提唱せられたる共同委員會の設置は不成立に終りたるを以てこの儘放任せんか事態惡化の惧れあるを以て爭議の圓滿公正なる解決と罷業未然防止の方針に基き勞働爭議調停法第一條第一項に依り兩當事者師委員及び第三者たる委員を以て組織せらるゝ調停委員會を命令した、同時に藤沼總監は東京市對市電從業員の爭議に對し左の通知を發した

勞働爭議調停法第一條第一項により調停委員會を設置す但し時日場所は後に定む、追つて本通知書を受領したる時は双方第四條第一項により三日以內に調停委員三名を選定し屆出らるべし

なほこの所謂强制調停法を適用するのは大正十五年制定以來始めての事である

瀋海線全通
貨物取扱は七日から

匪賊のため線路、橋梁を破壞され八月十九日以來不通となつてゐた瀋海鐵道はわが討伐軍の保護の下に修理を急いだ結果二十五日二ヶ月ぶりに全線の開通を見るに至つたが近く奉天、吉林間の直線列車も運轉を復活する筈である【奉天電話】

瀋海線の復舊はその後いよ〳〵進捗を見撫河口以遠の匪害による不通個所も二十六日より西安驛朝陽鎭まで、二十七日より瀋海本線支線全部の開通の見込が立ち旅客の取扱ひをなす運びとなつた、然し沙河驛約五百米の木橋は目下徒歩連絡の狀態にあり十一月七日ごろ木橋修理完成の筈で本支線の貨物取扱ひは從つて七日よりとなる豫定である

けさ救出船急行
妙義丸の遭難現場へ

沈沒トロール船妙義丸に關しては各方面ともその悲慘な入報に驚愕してゐるが、當地代理店松丸幸三郎氏方へその後現場にある維基丸の入報によると速かに救出用の船を出されたしとあつた松丸方では直に同氏所有第七島戶丸を現場に急派する事となり同船に廿六日午前十時、潜水夫六名、機械四臺、機關士四名、大工二名その他五十餘名乘組んで現場に向ひ濱町海岸を出發した、尙遭難現場は老鐵山西四分一南七十浬の地點で丁度東經百十九度四〇、北緯三八度廿五であると(寫眞は第七島戶丸の出發)

金州丸進水式

金州署は今日迄海岸警備用の所屬船が無いので不便を感じてゐたが今同金州管內滿洲國人の純眞な醵金四千圓でモーターボートをかねてより濱町造船所において建造中のところこの程竣工廿六日正午より濱町海岸において星署長、市川警務主任、商會長その他有志立會のもとに華々しく進水式を擧行した、同船は金州丸と命名し金州海岸の警備にあてるものだと

山本巡査遺骨
上海戰の勇士

旅順警察署巡査山本董吉氏は豫て警備應援のため奉天に出張し同地一帶に亘る警備に當つてゐたが客月廿四日不幸赤痢に罹り病歿した同氏は海軍二等飛行兵曹として上海事變の際は航空隊に屬し單機操縱して大いに活躍した勇士で今回の病歿は頗る同僚間に惜しまれてゐる

同氏の遺骨は二十六日午前十時出帆うらる丸にて實兄山本將八氏に護られ三澤水上署長他各警察署長代理並に警察署員多數の見送りを受けて濕やかに歸國の途についた

軍用犬協會の支部設置計畫

滿洲事變に偉大な功績をあげた軍用犬セパードの飼育家として知られた青島騎羊犬倶樂部理事長津下信義氏は今回設立された帝國軍用犬協會理事に就任したが二十五日午後二時入港大連丸にて來連花屋ホテルに投宿した、氏は語る

セパードは軍用犬として今度の事變で實際にその眞價を認められたが警察犬としてもつとこれを普及しその實績を收めたいと思つて來た、然かも去る十月二日陸軍省の認可を得て今度設立された帝國軍用犬協會の支部を是非大連に設置したいと考へ林警務局長等に獻言勸告したい當地セパードクラブの人々とも折衝を試みる筈である

洋裝の女が 劇藥自殺
星ヶ浦公園で

二十六日午前十一時頃星ヶ浦霞半島四阿東側松の木の下に年齡二十四五歲位の洋裝の女が打ち倒れてゐるのを附近散步中の沙河口大正通り五石田昌方金子政吉が發見急報により沙河口署より熊谷司法主任竹澤警部外數名が現場に驅つけ直に同人を沙河口滿鐵病院分院に收容し應急手當を加へたるも多量の昇汞錠を嚥下して自殺を計つた樣子で生命は覺束ない

なほ現場には自殺に使用した昇汞錠の空瓶、ハンドバツク、ノート一冊があつたがノートには大連沖町六四倉田方牧信雄宛の遺書があり覺悟の自殺と見られてゐるも身元その他は同署に於て引續き調查中である

二重放送の必要がある
小森氏視察談

日本放送協會常任理事小森七郎氏は同協會技師伊藤豐氏と共に先頃來滿して奉天、新京、ハルビン等滿洲の通信線に無線通信に就いて視察してゐたが二十六日午前十時出帆うらる丸にて歸國の途についた小森氏は語る

ラヂオ放送に關しては奉天放送局のものを內地で中繼放送してゐるが最近は事變當時と變つてだれて來てゐるのでこの點相互に充分打合せて將來は晝間もよき材料をもつて交換放送をやりたい、當地方の放送は技術的にももつと改善する必要がある樣である、朝鮮京城放送局は來春より十キロの二重放送を開始するが滿洲も何れは滿洲人と邦人と互ひに滿足し得る二重放送の設備も必要となろう

元昭和洋行の南工場が全燒

二十六日午前八時三十分ごろ市內淺間町元昭和洋行南工場から出火し同工場を全燒、九時十分鎭火した、損害約三百圓

出火原因に就き大連署司法係小川部長以下實地檢證の結果畜藏中のエーテルから引火したものらしく元昭和洋行支配人堀春三郎氏を證人として召喚取調べてゐる

二中軍敎查閲

大連第二中學校では二十六日午前八時半より同校々庭に於いて關東軍より世良大佐、關東廳より栗林視學山本體育研究所主事その他工專一中大商鞍山の各配屬將校來校の上本年度軍事教練の查閲を行つた

黃塵社展覽會

伊藤順三、稲葉亭二、大野斯文、甲斐巳八郎、坂根寶の五氏を同人とする黃塵社では第二回展覽會を廿七、八、九日の三日間三越で開催、日本畫、洋畫、商業美術、家具を出品する

大連防長會

山口縣下高等女學校長の滿鮮視察團一行五名は廿五日朝北方より來連遼東ホテルに投宿したが大連防長會では廿七日午後六時半から遼東飯莊において一行の歡迎會を開く由出動希望者同會事務所(電話六〇一七番)迄申込まれたいと、尙は一行は鰤田防府、小笠原柳井、有馬下關、脇本深川、奥田平生の各高等女學校長であると

天氣豫報 廿七日

西の風 晴

滿潮(午前 八時十五分 / 午後 八時四十分)

干潮(午前 一時四十五分 / 午後 二時二十分)

各地氣溫 廿六日午前十一時

大連 一九度　旅順 一七度　營口 一八度　奉天 一六度　長春 一四度

けふの小洋相場(正午)

金百圓は一二九圓九五錢

國難日本刀 (136)

高桑義生作　京穗佳夕畫

浪士團と彼(六)

「要するに、攘夷は不可能である」

と落合源一郎はいつた。

「攘夷々々といふけれど、口先ばかりで、もしくは一部の外人を殺害するだけで、誰が思ひきつた攘夷を實行した者がゐるだらう。出來ない事だ、國內でさへばらばらな現在の日本、どうして外夷にあたることが出來よう。攘夷は他日擧國一致の秋をまつて、行ふべきだ。それよりもまづ國內の敵を掃蕩することだ。國內を統一して、新日本の建設に――われわれの赴くところではなからうか、そこで飜へつて考へる。攘夷は手段――外國を相手に戰をする時期ぢやない。が、今までと同樣攘夷を天下に呼號して、所在に異人をやッつける、外國の抗議の矢おもてに立つものは、取りもなほさず幕府だ。幕府は困る。外夷は怒る。とゞのつまり朝廷にすがりつくのは、明白な事だ。そこで政權は幕府をはなれて、朝廷に移る。今日でさへ土臺のくづれかけた幕府が、ひつくり返るのは眼前の事だ。つまり幕府を倒すために、攘夷を利用する――われわれの尖鋭のなかにも夙くにこの說を唱道した者があつた。尤もだ。だから、現在のわれわれには統一がなくてもいゝ。てんでに思ひきりあばれ廻ればいゝ。幕府の智嚢がどんなに賢明でも、われわれが彼方でも此方でも、めいめい勝手にやつたのでは、どうする事も出來ないだらう。そこがつけ目だ。われわれの役目はそこにあるのではないか」

「なるほど……」

「御尤も。しかし、統一があつた方が更に好都合ではなからうか。大きな力となるではないか」

大東義觀が同行した鳥羽小四郎長州の脫藩浪士――浪士ではあるけれども、勿論自分の藩と脈絡相通ずるものがある。

鳥羽小四郎は浪士の一致團結を說きに來たのだ。間宮も落合も、薩州系に屬する者、おなじ尊攘浪士でも、それぞれ異なる背景をもつてゐる。あるひは長州系、あるひは土州系、あるひは水戸系――それらのものを、おなじ尊攘といふ大旆のもとに統一したならば、その仕事も大がゝりになり、有力になるだらうといふ小四郎の說である。

尊攘浪士、あるひは御用盜、所在に出沒し、跳梁跋扈をしてゐるが、まつたく統一がないのだつた

だが、落合がまづ反駁した。間宮がつゞいて、否と答へた。

「そんな事は、われわれの係り合ふところではない。われわれは政治家ではないのだ。たゞ時勢の尖端に立つて戰ふ――戰鬪家、破壞者、それでいゝ。野心はないのだ目的をひとつにする者は、いつか連合する機會があるだらう。自然統一される日が來るに違ひない。さういふ事は、誰かにまかして置かう。われわれは、要するに野戰家なのだから……」

間宮一は、當時の尊攘浪士中の最年少者だつた。非常に聰明な頭腦の所有者で、言ふ事と實行とがぴつたりと一致して、すこしのすきもない。彼は同志中最も勇敢な激烈な鬪士として尊重されてゐた。

「まことにその通り……」

「われわれには不自由、不必要な統一だ」

小四郎と黑船滿次は顏を見合した。かれらの連合說は容れられなかつた。

「鳥羽氏、仕方があるまい。落合間宮兩公の言葉も、十分理がある。せつかくではあるが……」

と大東義觀が取りなし顏に――

「いや、けつして心にはかけぬ。一應われわれの意見をはかつたまでで、是非もないことぢや」

と鳥羽は答へた。すると、鐵砲彌太が、

「つまり斯うなんですな。何かまはずあばれ廻る。手あたり次第やッつける――こいつがわれわれの役まはりなんで、」

「その通り、理屈もなければ、議論もない。われわれがもつものは熱情だけだ」

と間宮が叫んだ。

突然、外で、女の悲鳴がきこえた。

一同は口をつぐんで、耳を引立てた。

面白い映畫 好評涌く帝國館

フランス映畫の發聲珠玉篇「プレジヤンの船唄」

映畫觀賞の好シーズンを迎へてフランス映畫の珠玉篇として期待された「プレジヤンの船唄」は既報の如く本社後援の下に帝國館の銀幕を飾つて愈々廿五日から上映されたが、ファン待望の映畫だけに果然初日から盛況を呈し素晴らしい好評を博した、「巴里の屋根の下」に次ぐプレジヤンの主演作品として製作された「掻拂ひの一夜」と同じスタッフによる「プレジヤンの船唄」はいよいよプレジヤンの人氣を集中しドコアンの原作とガローネ監督の名トリオを以てエクランにフランス映畫らしいエロチックな味と洒落た味を盛つて自由と獵奇のマドロス生活を描き出し、またプレジヤンの好演技は相手役のジム・ジエラールの洒脫した鐵風とによつてファンを魅了したスペインの香にむせぶ異色ある女優ロリタ・ベナヴエンテの容姿を配して淫蕩の憾悔を描いて餘すところなく、そのフランス映畫らしい氣のきいた結末に至つてはプレジヤンとジエラールの好演技がいよいよ冴えて息もつかせぬ面白味を以て終つてゐるところ從來の映畫に見ない優れた手法で絶讃を博してゐる、また今週の帝國館は和洋三本立の混合プロで日活現代劇「戀愛心戀流」を併映してゐるが入場料は階上七十錢階下六十錢で、本紙刷込割引券を持參すれば階上五十錢、階下四十錢に優待するから本紙割引券を利用して映畫觀賞の秋に相應しいフランス映畫の名篇「プレジヤンの船唄」を觀賞されたい【寫眞はプレジヤン】

西條香代子送別會

大連のページメントを賑はした一つの存在だつた元映畫女優西條香代子が來る十一月二日出帆のうすりい丸で歸國することになつたので中野常助、東公木、宮澤進郎、中川榮助、倉重忠男、根岸耕一、伊藤義氏等が發起人となり來る二十九日午後三時から大連ヤマトホテルにて「西條香代子氏を送るの會」を開催、會費は滿洲映畫配給公司が負擔すると

東京カフエーが最初にマネキンとしてよんだ西條香代子がいろいろな桃色の噂を撒いて近く歸國するが▲けふの船で歡て放送されてゐた映畫女優の湊明子がやつて來た、當分東京カフエーで働く▲また別項の如く西條香代子を送るの會が催されるが招待者の顏觸れたるや實に人を喰つたもので▲根岸耕一氏の面目躍如たるものがあり且つ根岸氏の美髯?承認祝賀會を兼ねる筈だと相變らず映畫人は氣が若くてノンキでアルデス▲明日歸連する筈だつた長氏が昨日ひよつくり歸つて來たが、曾島滯在九時間たなんてこれまた長氏の面目躍如(カットは湊明子)

二十五日から晝夜二回 本紙讀者優待映畫會

帝國館上映「プレジヤンの船唄」

後援 滿洲日報社

「プレジャンの船唄」讀者優待割引券

この券持參者に限り 階上五十錢階下四十錢

後援 滿洲日報社

「プレジャンの船唄」讀者優待割引券

この券持參者に限り 階上五十錢階下四十錢

後援 滿洲日報社

（昭和七年十月二十七日　第三種郵便物認可）
滿洲日報

滿洲の獨立を取消し自主的に自治制採用
報告書に對する南京政府の意見書

【南京二十六日發】國民政府外交部は本日中央政治會議で決定したリツトン報告書に對する意見書と共に附帶訓電を在ジユネーヴ支那代表に訓電した

意見書大要

一、報告書第九章規定の諮問會議の組織に就き滿洲代表と日、支代表を同格とするに反對す
二、中央政府より分離し東三省に自治權を附與することは容認出來ぬ
三、東三省自治制は中央政府の管轄下に置いて過渡的に行はしめ獨立國家としての現滿洲國を取消すべし
四、將來容認さるべき滿洲自治政府は中央政府の自主的設立に係るべく且つ現存のほか地方政府と同格とす
五、支那は今後の滿洲地方官廳に外人顧問及び官吏を雇傭するに反對せざるも報告書に指示する如き廣汎な權限をこれに與へるに反對す
六、日支通商及び不侵犯條約の締結に就ては支那政府は原則として反對せず、但し日本の不法侵略に依りて得たる權益を承認せざるを前提要件とす
七、報告書第九章の紛爭解決十條件は支那領土保全及び行政權獨立の原則を認むるに非ざればこれを承認し難し
八、日本の滿洲に於ける商租權、鐵道敷設權に關する日支新協定は、日支條約協定計畫を根據としそれ以上の範圍は承認し得ず

附帶訓令

一、支那代表部は八ケ條の對策を原則とする意見書を作成し聯盟事務局に提出すべし
二、意見書は報告書と同時に討議の基礎たるべきを主張せよ
三、右意見書を異議又は修正要求の聲明書とするかは代表部に一任す

張學良最後の秘策
奉天に密使派遣
影を薄め行く地盤

張學良は北支那における反張熱再び擡頭せるため自己の地盤擁護するため安福派一派を北平にまで引込んで日本との緩衝地帶たらしめんとする一方滿洲國に對する前提として某方面の諒解を得るため潜行的に連絡密使を奉天に派遣し來る等總ゆる最後の秘術を盡しつゝあり、河北、察哈爾兩省の財政收入で手兵約十五萬の部下を養ふことには何等不充分を感じて居らぬやうである、但し學良の地盤は日一日と影をうすめてゆくので焦してゐる、なほ段祺瑞の起用により安福派の政權樹立運動は最後の實力ないため成功はむづかしいものと見られてゐる【奉天電話】

日露不可侵條約は未だ決定の要なし
我外務當局意見發表

【東京廿六日發】日露不可侵條約問題に就いては勞農政府側の提案に依り外務陸軍兩省に於て愼重研究中であるが外務當局は最近種々の臆測あるに就き廿六日非公式に左の如き意見を發表した

一、一般的日露不可侵條約は未だ決定の必要を認めぬ、特に第三インター問題に就いては更に研究の餘地がある
一、北滿國境地方に於て日本軍の……

謝専使放送

【東京二十六日發】横須賀軍港を見學して二十五日夕刻歸京した謝介石專使は滯京中の御禮と訣別の意を兼ね午後五時より帝國ホテル大食堂にてお茶の會を催し山本、小山、荒木、永井各相、一木宮相、林式部長官、鎌田榮吉、關直彥その他朝野の名士約百二十名參會盛會裡に午後六時終り七時半より謝專使は愛宕山よりマイクを通じて日本語を以て全國民に滯京中の好意を謝し午後七時五十分新橋演舞場で寶塚歌劇團の「愛の花束」を興味深げに見物して九時ホテルに歸つた

門戸開放の原則で考慮する
滿洲國關稅問題につき
阪谷希一氏語る

出淵大使京城到着
けふ大連へ

出淵大使來滿

出淵大使を招待

園公近く轉地

陸相藏相の協議內容

年末の通貨膨脹期待さる

內田外交の實現
大公使の異動
來月中旬發令さる

堤次官來月中來滿

經調會移轉當分は一部

滿鐵重役會議

幣原總長夫妻

東邊道の善後處置

滿洲國參議
廣田大使
外務省の推擧

滿洲國貨幣鑄造
要人と打合せて來た
廣瀨大阪造幣局總務部長談

安福派の策動
結局望み薄
策士滿洲にも潜入

蔣介石の新聞彈壓
十六紙に發禁

民政大阪支部大會

宣撫員の努力に各地部落民感謝
東邊道における實例

滿洲航空會社の定期航空路
十一月三日より開業

滿洲國の各地に領事館增設
外務省で豫算を計上

列國に送附する紹介冊子の內容
滿洲國外交部で印刷

經濟會議準備員レイトン氏辭任
英政府と意見不一致

……當局との間に意見の相違を來たことを理由に準備委員を辭したレイトン氏は有名な週刊雜誌「エコノミスト」の主筆である

英警官更に減俸

英國勞働黨首ランズベリー

【ロンドン二十五日發】本日英國勞働黨は去る十八日辭職した同黨首アーサー・ヘンダーソン氏の後任選擧の結果同黨院內總理チヤージ・ランズベリー氏が當選した

マ首相の回答

佛政府軍縮案

獨の帝政復活情勢否認

【ベルリン二十四日發】獨首相パーペン氏は二十四日ベルリン商工組合における演說中、最近擴まつたといはれるドイツの帝政復活の噂を強く否認した

謝専使昨日離京
盛んな見送りの裡に

【東京特電二十六日發】去る……日入京以來榮譽ある國賓の待遇を受け連日の歡迎攻めの中に大成果した滿洲國答禮使謝介石氏一行は、滯在一旬二十六日午前九時東京發超特急燕號で西下歸國の途に就いた、一行を送る東京驛頭……

日滿國民大交驩會

謝專使一行の來朝を機として一條實孝公を發起人總代とする「日滿國民大交驩會」は二十四日午後一時より日比谷公會堂に於いて盛大に擧行された【寫眞は會場における滿洲國二代表〇印謝專使、×印鮑代表代理】

社說

全權、軍司令部の新京移轉

帝國全權部及び關東軍司令部は今二十七日より三十一日の間に新京に移轉する。蓋し滿洲國建設され、首都を新京に置かれた時から、關東軍司令部の新京移轉は當然の歸結であつた。新國家と關東軍との關係が極めて密接してゐるのに、新京と奉天とに分れてゐては其不便はいふまでもなく、如何に交通機關を完備せしめても、到底執務上の不便不利を免かれず、爲めに施政上に圓滑を缺くこともあり得る。殊に關東軍司令官が帝國全權、關東長官を兼れて、帝國の滿洲に於ける軍事、外交、行政の全部を統轄するに至りたる以上、而して更に日滿議定書により日滿關係が特別の親密を加へたる今日、軍司令部、全權部の新京移轉は最早一日も緩くすべからざる問題である。されば當局に於ても、大に移轉の準備を急ぎ、愈々其實現を見るに至つた次第である。

◇

滿洲國に於ける目下の緊急用務は治安維持にある。云ふまでもなく治安の維持が諸政の根基たるからである。思ふに滿洲國創立以來日尚淺く、地方の官民軍隊等の間に新國家創立の意義未だ徹底せず、之れに乘じて外間よりの攪亂的策動あり、邊僻の地方に於ては人心の疑惧不安を生ずるのである。されば治安維持の爲めには、先づ匪賊の討伐を要し、同時に人心の疑惧不安を除かなければならぬのである。前者は軍事行動による可く、後者は政治の手段によらればならぬ。日滿議定書によれば、滿洲の安寧保持は日滿兩國の共同責任である。殊に其の爲めに日本帝國は軍隊を駐屯せしむることになつてゐる。

◇

隨つて匪賊の討伐には日滿軍の極めて密接なる共同動作を必要となし、同時に滿洲國の政治行動が之れに附隨せねばならぬ。此處に於て日滿兩國の交渉は密々切々、不可離不可分の關係を生じてゐる。而して今次の奉天省東邊道の匪賊討伐の例に見る如く、日滿兩國の軍事行動と政治行動とは極めて圓滿に、或は連鎖し、或は抱合して、其効能を十分に發揮してゐる。地方に於ける此實例は、中央に於て更に一層切實なる日滿兩國當局の接觸が必要にして有効なるを示すものである。隨つて從前兩者が新京、奉天に分れてゐた時の不便不利を察す可く、同時に今後全權部、軍司令部の新京移轉後に於ける便益は推するに難からぬ。

◇

以上例を匪賊討伐に取りて說いたけれども、此種の便益はもとより匪賊討伐に限るわけではない。關東軍司令官が、外交權行政權を兼れ、行政の一部ではあるが滿洲では極めて重要な鐵道其他の交通權をも管理下に置くのであるから、滿洲國の全般に涉る內外政と、極めて密切な關係を有する。隨つて、軍司令部全權部の新京移轉は、滿洲國中央政府の全部全面との接觸を直接ならしめて、兩國共同の機能を發揮せしむるに遺憾なからしむるに相違ない。斯くて滿洲國の完成を促進せしむるを期し得る。是を以て、吾人は此の全權部軍司令部の移轉を以て、滿洲建國史に於ける劃期的重要事項の一に數ふるを躊躇しないものである。

奉天市と軍司令部の移轉

關東軍司令部が事變後奉天に置かれてから、奉天市民は司令部に親しむこと一年餘、今同その新京移轉につきては寂寞の感無しとしないであらう。併しながら國家の大策上眞に已むを得ない事たるを思はねばならぬ。奉天はもとより奉天として立つ可き多くの資格を持つ。吾人は此れを機として、奉天市民は更に、奉天省都としての奉天、滿洲の工商業中心地としての奉天等、別に大奉天市の創造に努力せんことを望む。

『貴下の一票』に群り寄る逐鹿戰士

亂軍の四十一陣營

逐鹿原頭氷刃を振つて無盡に馳驅した四十一候補の勝敗を決すべき投票日はあと五日目に迫つた、戰ひはいよ〳〵深刻化し運動員を乘せた自動車は稻妻の如く閃光を曳いて暗の市中を駈けめぐり各選擧事務所の電話は引切りなしに鳴り響く「貴下の一票こそ私の當落を決するものです」等の文書も雨の如くバラ撒かれ中には實彈戰を行つてゐる等の中傷說も亂れ飛んで側が上にも競爭心理を煽つてゐる文書戰、言論戰も切り上げて刀を鞘に納め守備に轉じた手廻しの好い候補者も居るが多くは之れから本格的の活動だと劍を磨して最後の決戰に臨む可く再び兵を納めて三度突擊の精鋭を繰出した、中にも優勢を傳へられた古泉、松浦兩候補は俄然エムデン戰法に切り崩され形勢逆轉に樂觀を許さなくなつたのでいま必死の應戰に血塗れとなり相川候補なども滿鐵用度課方面を西田候補に鐵袖一觸され二十六日夜から途をかへて日の出町方面に進出した、龍澤候補が當初から目を付けた正隆銀行は志村候補のため蹂躙され案外得票少く準頭方面また各候補の包圍攻擊を受け苦戰をつゞけてゐる、上原候補も各戰線エムデン戰法で攪亂され毫も油斷が出來なくなり有馬候補また曙光を贏した如く傳へられてゐるが樂觀を許す程度に漕ぎ付けず、佐多、矢野、石川、林田、中川等の候補者また戰況常に轉變し一喜一憂の狀態にあり田中（宇）候補も傳へらるゝが如くでなく內實は血を吐くやうな苦戰だと噂されてゐる、一方取締方面の警察では二十六日以來果然活氣を呈し特務連は八方に飛び眼を皿にして戶別訪問、買收等萬一の違反を嚴重に警戒し出した

陣營をのぞく

「赤心」を陳列する恩田候補

恩田明候補の選擧事務所は若狹町の滿洲郷土協會に置いてあるが前上原候補の事務所とは雲泥の相違で靜かなこと林の如く午前九時だと云ふに恩田候補はまだ顏も見せず一人の男が頻りに事務室の掃除を行つてゐた

「意氣」を賣る上原進候補と

立候補者四十一名、その四十一箇所の事務所を廻つて最も華美に賑やかなのは何と云つても新人上原候補の選擧事務所であらう常盤橋目拔の場所、甘粟太郎の隣りが同候補の選擧事務所で辯護士渡久山寬常氏が山羊鬚をしごいて事務長の回轉椅子に据はりニコボン林田又介氏が參謀長格でその幄幕に參じてゐる、十數名の事務員は文書戰、言論戰の準備に報告やビラに達筆を走らせ紅一點も交へて頗る和氣藹々だ、同候補は連鎖街、聖德街、逢坂町各警察署、明大校友會、洋服商組合、淨信會等に根強いフン張りを見せ一面縣人會を後楯とし文書戰に言論戰に熾烈な鬪志を見せ堂々の陣營を張つてゐるが到る處評判頗る良好なので御大始め事務長、參謀長は「評判倒れになりはせぬか」と頗る頭を痛めてゐる、兎まれ選擧は水物で轉がすサイコロと同樣、蓋を明けねば當落の運命は判らぬのだから評判が好いだけモット引締る必要はないかとも云はれてゐる、同候補は今回立候補した所以に就て

私は大連在住十ケ年今日まで我等の選擧した市會議員諸氏を信賴し市會の向上發展卽ち自治制完備を期待して來たが舊態依然として改まず市民の大多數をして市政を嫌忌するに到らしめた今や產業の不振に伴ふ生活の脅威、金融財政の逼迫に藻搔く中小工業者の惱み、私は大連市民……

十七候補者の立會演說會

旅順昭和園にて開く

旅順市議立候補者十七名の立會演說會は二十五日午後六時二十分から昭和園において開催され聽衆六百名妨害取締りが嚴重なの次もなく紳士交代每に拍手……だけか政見發表演說會らし……だ、籤順によつてトップを……

▲磯田信之助氏 今回立候補した第一は在旅二十……年間四國を除く母國は勿論……る處足跡を印せざる處な……と惠れた健康を武器とし……に貢獻し度い

▲大西重次郎氏 過……年間何等の功績なきを恥……の深刻さは將來一層官民……ながら打ちつゞく不況事……生の途を辿らざるべから……の一端としては天惠的地……用し保健浴場の建設、魚……

▲米岡規雄氏 自治……より市制撤廢論を一蹴し……關變化に伴ふ經費の一部……に運用せんと說き……設より戰跡案內所の完備……魚港問題の解決、露店市場……

▲西野菊次郎氏 ……旅大を觀ること不公平な……り須らく考慮されたい……者の誘致、港灣の利用……旅順をして敎育地たらし……

▲岡野榮次郎氏 ……り實行と歸し天惠的風土……して積極策を執れ

▲竹中延太郎氏

▲中村廣喜氏

▲福永新七氏

▲村上信三氏

▲宮竹清介氏

▲宅島莊雄氏

▲高田逸氏

▲佐藤辰衛氏

▲矢幡謙治氏

▲橋本新平氏

▲山口世基氏

『滿洲はいらぬ』といふ『藍衣社』の正體解剖

（2） 上海特派員 日森虎雄

蔣介石が如何に「余の關知する所に非ず」と否認しても、今それを信ずる者一人もない、藍衣社の幹部……同學校會の請問にはその具……實まで擧げてゐる、又蔣介石……員二百名を選拔し本場につい……でファッショの指導精神、組織……訓練を習得せしむべし、最近……生としてイタリーに秘密派遣……ことも一部には既に探知せら……

× ×

ではファッショ團體の「藍衣社」なるもの、正體は果して如何……

政治綱領
組織
綱領
名稱
入會資格
警告
罰則
會員幹部

思想取締りと設備充實が緊要

井關檢察官歸任談

大奉天都市計畫內容

奉天全省商聯會重要決議

司法處分と

大村監督部長

日本辨寸投賣防止要求

武藤軍司令官醫科大學巡視

天崎啓升師來連

關東廳辭令（二十六日）

職業議員を排す 下級者の味方を

正義團員 一舉人

市況（廿六日）

株式

內地株堅り 當市強調

特產

高粱強調 賣惜み傾向

錢鈔

强人氣にて當市小堅り

商品

綿糸堅り 麻袋持ちらず

奧地市況

市場電報

神戶特產

東京株式

大阪株式

大阪綿糸

橫濱生糸

支那人ボーイ 使ひ方の秘訣

經歷・本名・系累の判らぬ者は危險 主婦は愛より威嚴

滿洲にある日本人の家庭で何より重寶なのは支那人ボーイであり又最も使ひにくいのも支那人ボーイです、勿論それはボーイ個々の人柄にもよりませうが良いボーイにすることも惡いボーイにすることも、その主人たるもの、使ひ方、仰し方の上手下手によることが尠くありません、永年大連に中國人職業紹介所並に家庭ボーイ養成所を經營してゐる竹田齊治氏に支那人ボーイ使ひ方の秘訣を伺ふことにしました

先　づ傭入れの際充分愼重に選擇し調査すること、信用ある保證人を立てること、出入の豆腐ニーヤや野菜ニーヤの紹介で經歷も本名も系累も少からないやうな支那人を雇入れるのは危險の極みです、年をとつて永年日本人の家庭に働いてゐた者なら卽座に役に立つ代りに自分の家庭の風に馴らすのが困難ですから仕事や言葉は多少不自由であつても十五六歲のなるべく無垢な素質のよい者を選んだ方が結局使ひ易くて永續します顏も人相の惡いのはいけませんが美しいのよりは寧ろ醜い位のが永續するやうです

勤　人の家庭ならばあまり氣が利かなくてもおとなしい落着きのある者、忙しい商店等でしたら多少立居振舞は粗暴でも機敏なものでなければなりますまい、家内に二人以上の支那人を傭ふ場合には必ずその鄕里を同じくすること例へば山東人のボーイの家なら今度傭入れるのも山東人でなければうまく折合ひません、女中を使つてゐる家に支那人のボーイを使ふ場合には主人兎角女中を可愛がりすぎて差別待遇をする爲にボーイの怨みを買ふ樣なことが有り勝ちですからなるべくは避けた方が安全です、さて一旦傭入れましたら

金　や貴重品の在所を知らせない事、每日の買物や月末の仕拂もなるべく家の者の手で金の出入をする事です、仕事を敎へ込む時には主婦又は家人が自ら手本を示して例へば机を拭くにも抽斗から裏までも鄭寧に拭いて見せます、すべて最初が大切ですから少し面倒でも覺え込むまでは一々監督してやらせます、炊事、掃除、洗濯等何もかも一遍に敎へ込もうとすればどうしても不完全になりますからお掃除がほんとうに呑みこめたら洗濯それもすつかり手に入つたら炊事を敎へると一ふ風に一つづつ順次に敎へ込むのです、言葉は面倒でも命令する者の言葉と使用人から主人に對する言葉の二通りを最初から敎へ込むのです

支　那人を使ふには勿論溫情も必要ですが主婦等は寧ろ愛よりも威嚴を持つて接することです、ところが主人なり主婦なりが何か弱點があつてこの秘密をボーイに握られたりするとこれを種にゆすられたりする事がありますから決して秘密を開かしてはなりません日本人の女中や書生等に對しては隨分體面を重んずる人達でも支那人ボーイの前となると氣を許して甚だしい不體裁や痴話痴態を演ずることがありますがこれがやがてはボーイの尊敬を失ひ引いては犯罪の誘因となる事も尠くありません、給料は餘分にやる必要はありませんがはじめ二三圓で傭入れたボーイでも相當言葉が判り家事にも馴れたら思ひ切つて

給　料を上げてやらないと恩義に感ずる氣持など微塵もないボーイですから、給料のよいところへ行つてしまひます、これは支那人でなければわからない事ですがいつも熱い食物を食べる習慣のついてゐる彼等には冷飯を食べさせられるのが何より辛いといひますから冷飯でも熱くして食べさせるやう、又一體に大食に出來てゐますからおかずは拙くても御飯だけは充分澤山與へるやうこれも彼等を居つかせる一秘訣です

子に對する言葉

▼……母親は子供に對して、常に言葉に注意してほしいと思ひます、殊に子供を叱る時には餘程その言葉に注意を拂ふことが必要です

▼……例へば子供が何か惡いことをした時、こんな叱り方をする母親をよく見受けはしないでせうか

「そんな惡いことをするとお母さんが世間から笑はれるからよしておくれ……」

然しこれは理窟です、子供にこんな理窟は少し無理でせう、それよりも、もつと輕く

「あなたが立派な、偉い人にならうと思ふのなら、こんな惡いことをしては駄目ですよ」

と、こう敎へた方が子供に理解できていゝと思ひます

▼……それに子供の頭は、親の知らない間にぐんぐん成長して行くものですから、若し母親が、自分勝手な理窟をつけて叱るやう時には、子供ながらに、お母樣の考へ方は自分勝手だ、私のために注意してくれてゐるのではない……等といつた意味の、小さな反抗心を起さないとは限りません

▼……子供の柔かい芽は、すなほに伸び伸んと育てゝ行くのが本當です、親の無意識の言葉の中に子供の純な心をゆがめるもののあることを思へば、めつたなことは言へません、世の母親は常に自重し反省して正しい言葉を使はねばなりません

これから增える 丹毒患者

腦膜炎や腹膜炎を犯されゝば大ていは助からない

四季を通じて丹毒患者の絕える時はありませんが、丹毒患者が最も多く出るのは冬です、丹毒は大人よりも皮膚の抵抗力の少い五歲以下の子供の方が罹る率は多いのです。

丹毒は　飛火とか、蚊や南京虫などに刺された傷があり水虫などの皮膚病に罹つてたればそこから侵入しますたとへ皮膚に傷口がなくても肉眼で見えぬ傷口から入ることもあります、この他白毛染のかぶれから又フケをひどくとつた後の傷から、鼻中を爪で引搔いた傷口、或は耳を搔いて作つた傷口から菌がたやすく侵入して病氣を起すことが非常に多いのです、又中耳炎を患ひ膿が出るときその膿に交つて發する場合もあり、生れて間もない赤ん坊の臍から入菌することもあります、その菌が入りますと今まで元氣だつたものが急に

寒む氣　を催して三十九度から四十度の熱を出し局部が紅くなります、大抵の家庭ではおできが出來た位に放つておかれ勝です、これに罹つてもすぐに氣づき注射をしますと二、三日で下熱し一週間もしますと元氣になりますが手當が遲れると全治に長い間かゝり、しかも危險狀態に陷ること も珍らしくありません、丹毒は醫者でも一寸油斷しますと見落す場合があるので以上のやうに元氣がなくなり寒む氣を催し高い熱が出て、どこかに紅くなつたのを見たら丹毒と見て大抵間違ひありません。

それに　足に出來て居れば腿の付根の淋巴腺が腫れ、手に出來て居れば腋下、頭であれば耳の下、顏であれば顎下の淋巴腺といつた風に各部の淋巴腺が腫れしかも痛みを覺えます、手遲れしますと次第に菌は體內に進行して行き毒素によつて遂に心臟を犯されて斃れることもあります、この菌によつて腦膜炎、腹膜炎、腎臟炎、肋膜炎を起すことがありますが、納膜炎や腹膜炎を犯された場合は大抵助かる見込はありません、これは絕體安靜が必要で自宅療法などはよくありません、子供が手、足を傷つけた場合は沃度丁幾を塗つてやり水をかけないやうに繃帶でゝも結んでやつたら比較的安全です（尾形一郎博士談）

家庭顧問

月のものゝ苦痛をうつたへる十七歲の少女

【問】十七歲の少女でございますがはじめて月のものを見ましてからずつと月經時每に下腹部がキリでもまれるやうな痛みを感じます、夏よりも冬の方が痛みがはげしくいつも多少吐氣を伴ひます、また終つた後はきまつて股ずれがして思ふやうに運動が出來ず困ります、なるべくなら家でなほしたいと思ひますが何がよい療法はないものでせうか（市內一少女）

家庭における自分での手當は先づ困難でせう

岩男其二郎

【答】家庭で御自分で手當は先づ困難でせう、第一原因が不明です月經痛の原因は種々ありますが

（1）器械性月經困難＝先天性又は後天性に特別に子宮口又は外口が狹くなつて經血の通過を妨げ子宮筋が强く收縮するために起るもの其他强度の前屈、後屈頸管等のポリープ（茸）ある場合

（2）炎症性月經困難＝子宮及附屬器の炎症變化に起因するもの

（3）卵巢性月經困難＝卵巢の炎症又は腫瘍に因るもの

（4）官能又は神經性月經困難＝解剖的變化なく神經質の婦人に來るもの

（5）子宮の發育不全

（6）鼻性月經困難

等々ですから先づ專門醫によつて原因をきわめ治療方針を決定する必要があります

家庭て簡單に出來る 火なし焜爐

煮えこぼれも焦つきもせず 大變便利で經濟的

▼▼…火無し「コンロ」…文字通り火がなくて吹き出しも、煮えこぼれも、こげつきもしないでどんなものでも芯まで軟かく煮えるといふそれは何處の主婦でも欲しくてたまらない臺所用品の一つですが、本式の火なし「コンロ」は、とてもお高くて普通の家庭では一寸手が出せません。此處でお知らせするのはその高價のものではなく御器用の方ならご自分で出來る家具屋に誂へて拵へましても僅かで出來上る。又は何か恰好の箱物を利用なすつてもよい、そんな略式の極簡單なものなのです

▼▼…先づ成るべく厚い木で鍋がとつぷり入る箱を一つ造へますさし渡し七寸の鍋でしたら一尺四方位の箱に餘裕をつけてつくります。高さは一尺少し高すぎでもかまひません。箱よりも更に厚い木できちんと出來る蓋を造り＝この蓋がきちんと出來て空氣が中に入らないのが秘訣なのであります、底に籾殼を二三寸敷つめます、又はその代りに箱の面積よりも少し大きい木綿の袋をつくり籾殼を七分目程入れたのを敷いてもよろしい、別に鍋をつゝむために綿フランに薄綿を入れた蒲團を一枚と、底に敷いたやうな籾殼の小さい座蒲團を一枚造つて置きます

▼▼…さてお鍋は煮物の仕度をして一旦火にかけます。そして沸騰點にまでいつた時、急いで鍋を下して手早く薄い蒲團に包み、木箱の中に入れ、あとからつくつた籾殼の小座蒲團を上にのせきちんと蓋をしてしまひます、かうして置きますさ、鍋は沸騰點のまゝいつ迄も保つて凡そ中のものは何でもすつかり軟かくなつてしまふのです、お野菜でも煮豆でも朝、五分か十分火にかけたゞけで、かうし置きますと、一日外出して夕方歸つてゐらつしやる方でも安心して暖かいおいしいお料理が知らぬ間に出來てゐるといつた重寶さです

▼▼…その他、お安い肉は大抵固くて惡いところですが、かうして煮てゐますとそれもいつの間にか軟かくなつてゐて、噴きこぼれることがありませんから養分も損をしません。又溫度が一定を越しませんから、品物によつてはヴイタミンの破壞をまぬかれ、澱粉の膠質化を防ぐなど榮養の方から見ても經濟の點が少くありません

婦人方の福音

赤ちゃんから小學生までの和服、洋服、編物、手藝等子供もの一切の作り方仕立方を深切な圖解入りで發表した婦人俱樂部十一月號の別册附錄は到る處大評判です

滿洲婦人歌壇

大野晴子

○
夕ぐれの池の邊にたたづみて投ぐる小石の音の靜けさ

○
西空に落つる陽を待ち外出せり浪速通りの人出は多し

○
木下蔭にそよ風待ちてたたずめり湯上り後の心はかろし

○
おそろしき夢にめざめる眞夜中の玻璃戶にうつる木の影くろき

○
夕陽浴びて畑に鍬うつ支那人の我が行く汽車を立ちて眺むる

家庭重寶記

溫濕布に御飯　下痢などをしてお腹を溫めて置かなければならない場合に普通カイロやこんにやく等を使用致しますが、さういふものと比べ物にならないほどご工合のいゝのは炊き立ての御飯です、それを手拭に四五分の厚さに平にのばして包み患部にあてます、他の物と違つて柔かいので肌にぴつたりと當りどういふ形にでも患部の形通りになります上に熱さが長持ちがしてしんから溫まります、ふかし返しをすれば幾度でも用ひられます、但し新らしい炊き立ての物の方が効果は一層のやうです

ヨシ ポンタロウ (27)

サキニイツタ ポンコガ ヨビマス

ドコダロ

ミツタン コツチニモヤシナイジャアリマスマイ

クロイヤハ マルイ イタヲ サシテイマス

ボンコ ソバ ナンダイ

ワカリマセン

ナンダカワカラナイジガ カイテアリマス。

イツトユージダケシカ ワカラナイ

ワカリテ センカ ミツタンニモ

タカラノシマノチズヲ ヒロゲテミマシタ。

アル アル イツトユージガアル

滿日各地版

ひらけ行く新賓へ 鐵道敷設要望
同地有力者間に具體案を作り 近く當局に陳情

【撫順】二十四日來撫した新賓（興京）の特産商業の談に依れば同地有力者は目下同地方の産業開發と治安維持のため鐵道の敷設を要望しつゝあり近く具體案を滿洲國交通部及び滿鐵當局に提示してその實現方を陳情する由である、卽ち同地は撫順奧地たる東邊道の特産地として知られ從來こゝに集つた特産は瀋海線に依つて奉天大連方面に向られつゝあつたが、瀋海線には滿鐵の如く混合保管の制度なく金融上の圓滑を期せられぬため態々二十餘里の道を牛馬にて撫順に搬出し來つたが、滿洲國成立の上は瀋海線も當然滿鐵と連絡し混保の制度も實現せらるべしとし營盤或は南雜木より新賓への支線敷設要望となつたわけであるが右實現の上は更に同地より通化までの延長をはかるといふが、現在完全なる道路さへなき同地方に新線が敷設されたら同地方の産業は劃期的發展を來すであらうと

光榮に浴する 金州の岩間氏
觀菊御宴にお召し

【金州】金州の岩間德也氏夫妻が來月上旬新宿御苑に於ける觀菊御宴に民間教育功勞者として州內より選ばれて參列することに內定したことは既報の通りであるが、愈々御召の光榮に浴することに決定したこととなつた、決定の報を齎して自宅を訪へば岩間氏は不在で喜久子夫人が代つて語る

私共の樣な者がお召の光榮に浴することは寔に畏れ多いことで御座います、只有難くて何と申してよいやら言葉も御座いませぬ主人が滿洲國の方に赴任致しましたので歸宅次第多分二日頃出發することになるでせうと思ひます（寫眞は岩間氏）

岩間氏略歷

明治五年三月秋田市に生れ三十七年四月上海東亞同文書院卒業同年九月より翌年二月迄外務省の囑託を命ぜられ、同年三月金州公學堂の前身私立金州南金學堂總教習を囑託されたが三十九年九月公學堂制が公布さると共に關東廳囑託の儘初代公學堂南金書院長を命ぜられ爾來昭和四年七月迄廿五年間滿洲人教育に盡瘁した、此の間滿洲支那各地の視察を命ぜらるゝこと數度ならず、一時は故奉天省長王永江氏の顧問をも兼ねしことあり或は滿鐵囑託として教科書編輯の任に當り尙地方開發の爲めにも貢献せしこと尠なからず、其の結果が報いられて今回滿洲國文敎部督學官の榮職に就き今後幾多氏の手腕に待つことが多い、去る昭和三年の御大典に際しては教育功勞者として特に勳六等に叙せられ瑞寶章を賜はりたることもある

鞍山の林總裁

【鞍山】林滿鐵總裁は既報の如く二十五日午前九時十七分着列車にて河本、大淵、山崎三理事並に西田秘書、富田秘書、有賀學務課長等を隨へて來鞍した、驛頭には上田中佐、泉署長を始め各方面代表民多數出迎へた、上田驛長案內にて驛貴賓室に到り各方面代表者と挨拶を交し鞍山神社に參拝玉串奉奠し忠魂碑に參拝し其英魂を弔ひ守備隊に至り上田中佐以下に挨拶をなし製鐵所に向つた、午前十一時から製鐵所應接室に於て鞍山滿鐵社員一同に對して事變以來の一大活動を謝すと共に尙將來一層の精勵を望む旨の訓示を與へた、之に對して富永次長は鞍山社員一同を代表して挨拶をなし自動車にて製鐵所各工場を一巡し臺町俱樂部に於て各方面代表者を招待して會食し午後三時發上り急行列車にて大連への歸途に上つたが驛頭は出迎へ同樣の盛況を呈した

興味を惹く 州外排球大會
各地からの申込殺倒

【奉天】滿洲醫大輔仁會排球部主催滿日奉天支社並に奉天滿洲日報後援の州外排球大會は愈々來る卅日午前十時から醫大コートに於て開催されるがこの大會が發表されるや沿線各地に於ても待ち構へてゐた如く續々申し込み秋空の絶好天氣に惠まれ必勝を期して猛練習を續け且つ本大會は本年最後の試みであるため榮冠は何れのチームに歸するとも閾り難く當日は定めし花々しい白熱戰が擧行されることゝ期待されてゐる、尙申込期日は廿七日でこの際至急申込まれたいが全チームは十三組に達する豫定である

この苦心、この美擧
馬占山討伐隊員手記（十）

本稿は北滿の曠野で降雨と洪水と泥濘と敵軍と戰ひながら文字通り惡戰苦鬪、馬占山討伐に當つた部隊將兵たちの手記である

隊長と部下

降り續く月餘の荒天に北滿の曠野は泥沼と化せる時敵情の搜索に泥濘膝を埋め身を浸する大濕地の徒渉に乾くこともなき丸濡れの征衣よりは水したゝり膝より下は何日も水つける家鴨の樣な生活に蛇蝎の蹴に天幕無き露營は雨にたゝかれ連日の不眠不休の活動に疲勞し雨降り水つける木の葉の上に眠らんとすれ共寒さに全身震へ出すしかも企圖秘匿に火も炊けず、敵の潰走するを急追するに靴の中には砂入り靴下は皆靴の中に纏まり足は痛く濕地に入らば足抜けず足ふらふらとなりて腹は空く、糧秣は盡き果て夕暮れとなり如何ともなし難き難境にしばし息づく。

其の時に最後に持てる乾麵麭一袋を空腹正に餓ゑんとする兵に自分の事を顧みず分け與へ居る中隊長の兵を見ること我が子の如き姿に接した時何とも云ふ事の出來ない崇高な氣分に打たれ最も麗しい中隊長と部下の有樣を目撃し自然と目頭の熱するを覺え今に到るも目の前に其の時の樣子が浮び樂しく思出となつている（第六中隊）

勇敢なる傳令

七月二十六日午前五時頃だつた一昨夜來の骨折りで馬占山軍の北上するを確め漸くにして歸つて來た木村將校斥候は僅かに二三時間の休養をとつたばかりで再び馬占山軍偵察の命を受けた、そして午前十時半頃敵軍の東進するを見た斥候長は直に林上等兵に命じて此の狀況を大隊本部に報告せしめた「第六中隊と將校斥候は合體して今や敵力と衝突し激戰中である」此の報告を手にした大隊長は直に劉家店に大隊の兵力を集中し第六中隊をして其の敵に廻して敵を追擊する樣命じた、此の命令を持つた林上等兵は數里を離れた中隊の位置而も戰鬪後どう成つて居るか判らぬ位置を探して急進しなければならなかつた。

日は間もなく暮れかゝる頃だつた、加之同上等兵に從ひて來た一名は連日の行動にすつかり足を痛めて居た、だから林は同僚に「お前は此處に待つてゝくれ」と云つて此の任務に從はんとして居た此の時通り合せた小隊長吉田中尉は此れを見て「一人で行くのか」と尋ねると「はいそうであります」「一人で大丈夫か」「大丈夫であります」「中隊は戰鬪したのだから何處で敵とぶつかるかも判らない」と云へば「兵が多ければ反つて敵に見つけられます」「一人で行けば草の中に潛つても隱れても中隊に傳へることが出來ます」とハッキリ答へました。

その眉宇には決心の色が現はれて居た、行手は何處か判らない、敵が何處から出て來るか判らない而も夜道になる、斯うした不安な道を一人で重大なる使命を帶びて敵地に乘込んで行かうとする林上等兵の行動は實に勇敢なものである、小隊長は感心した、然し重大なる使命故にと特に中尉の小隊から二名の兵を割いて從はせた。

斯くして重大な任務は果され中隊は立派な成果を殘す事が出來たそれも斯くの如く勇敢なる上等兵があつたからである（第六中隊）

前夜の祝ひ

今ぞ思ひ出深き七月二十八日正午其れは追擊に追擊を加へて我が田中大隊が馬軍に對して最後の止めを刺すべき前夜の休憩時刻であつた。

僅の時間であつた、而し二晝夜に亘るあの追擊戰鬪に疲れた兵は皆吾身を忘れ其の場に打倒れて眠るのであつた、食はんとしても糧秣はないその時自分はふと氣付いた、それは過ぐる日大濕地渡渉の際日の丸の旗に現品を包み置き濕赤に染まれる若干の米ある事だ直に取出し水筒に殘れる四五人の水を集めて炊事をなした眞赤な糊の樣な飯が出來た誰か云ふ「此の赤き飯を食つて馬占山軍を殲滅する前祝にせん」と小隊全員に分配して喰つた、其の中の美味い事は山海の珍味も及ばない程だつた、其の赤き飯の「エネルギー」の發動によりて元氣百倍し馬軍を殲滅することが出來たのである（第六中隊）

東邊道討匪戰從軍記
寡兵危地に突入！
第三報 野村特派員南孤子山發

十五日正午出發、小林指導官以下○○○名を養馬集警備に殘して本溪公安隊の兵數は僅かに○○○名しかないが、無電班掩護の西川部隊の勇士達が少數なりとは謂へ同行することは心強いこと此上もない、目的地城廠の情勢は詳細ならず、更に十三日城廠に入つてゐる筈の靖安遊擊隊の消息全然不明、駐城滿洲國軍孟凌雲部隊が本溪湖へ選抑したことも確實——一大冒險だ！李春潤一味二千名が居るかも判らない彼地にこの寡兵を以て突入しやうと言ふのだ「ナアニく、決行だ！」西川中尉、小島參事の決意は堅かつた、緊張した行軍隊形の下に一路城廠へ！胸も躍れば、腕も鳴る——

◇

濕洞溝に入る、突如！ダヽアーン——谷の靜けさを破つて銃聲一發「よし來たつ」とばかりに續いて起る銃聲を待てばナアンダイ、元の靜寂だ、乘馬の一便服が後手に縛されて連行されて來る、愈々敵地も近い、目の前にそゝり立つは分水嶺の險路、細流を遡つて溪谷を行けば兩方の山腹に紅葉が美しい、物淒いばかりの嶮路を登り溪流に咽喉を濕しつゝ午後四時頂上に達す、氷雨そぼ降る中での難行軍に心身共に疲れた身を一寺に憩へば一老僧あり、捉へて問答を試みれば現在は大清國の世だと言ふ、一同哄笑、宣撫員のビラを示して滿洲國の成立を說く、壁上には孫中山、蔣介石の肖像を並べ掛けその下に宣統妃帝の御寫眞を揭げてあるのもおかしい。

進軍！トップリ暮れた夜道をただ默々と步いて行くのだ、冴えた月光に映る人影を踏みつゝ重たい足を引ずつて行けば漸く南孤山子の部落まで辿り着くことが出來た、途次數度銃聲を聞くも鼠賊相手ぢや氣にも留まらない、今夜は此處で宿營、六時間に八里の惡路を突破した身には古い包米餅子の味さも物かは、何時の間にやら睡じつてしまつた。

◇

足がだるい、馬が欲しい、馬さへあれば騎兵部隊の主力に從つて行けたものを、又今日こんな苦勞を見ずに濟んだものを——今更かこつて見ても仕方がない、ありとあらゆる馬、馬車が總て匪賊に掠奪された跡ばかりを辿つて來たのではあきらめるより仕方がない、明日は愈々城廠入りだ、ゆつくり寢やう。

家屋明渡要求に 全理髮業者憤起
撫順に借家爭議

【撫順】明渡しを要求された同業者に同情し撫順理髮店組合が憤起し市內東三番町撫順軒事理髮業岡崎幸穗氏は市街移轉當時より現在の家屋、家主市內東二條通夏目市平氏の家を借家して理髮業を營み多年勞苦の甲斐あつて近年漸く得意客も多く繁盛するに至つたところ家主たる前記夏目氏は這般來他の知人たる理髮者に右家屋を貸さんとして無理矢理に現經營者たる岡崎氏に家屋明渡しをせまるので餘りのことに市內某々數氏が仲に入り調停に立つたがいつかな聞き入れず飽くまで明渡さすとて今回遂に內容證明を以てこれを迫つたゝめ店子である以上明渡しを餘儀なくされた岡田氏は目下途方に暮れてゐるが、これを聞いておさまらぬのは市內の同業一同で借家人に何等の落ち度なきにも拘らず無理に立退きを要求するは借家契約を破棄する不當明渡要求であり、かく家主の意のまゝに勝手に立退かねばならぬやうであつたら吾々借家營業者は今後不安この上ないこれは一撫順軒の問題に止まらず吾等全理髮同業者延いては全借家人の脅威であり由々しい社會問題であるとし家主の橫車に對し飽くまで借家營業の安全を確保せんと二十五日中屋敷組合長の名を以て前田撫順署長に對し說諭方を願出たが近頃興味ある問題として成行を注目されてゐる

公園で自殺？

【奉天】廿五日午前七時頃市內春日公園內ベンチ上で年齡三十歲位の滿洲國人男が泡をふき出して絶命してゐるのを通行人の鮮人が發見し屆出により奉天署から平川警部等が現場に赴き檢視の結果死後二時間を經て居り同日未明不詳の毒藥を嚥下し覺悟の自殺を遂げたものであることが判明した尙その身許不明であるため消防隊に引渡し假埋葬に附したが橫根、疳瘡などの强度の黴毒患者であるため或は之を苦にしてこの始末となつたものではないかと云はれてゐる

全滿柔劍道 十七回大會
六日奉天で

【奉天】滿洲醫大輔仁會武道部では來る十一月六日の日曜日午前九時から健武館に於て左記の如く第十七回全滿柔劍道大會を開催することになつたが參加者多數に上る見込みで盛會が期待されてゐる

一、資格 柔道三級以上劍道二級以上何れも制限なし
一、方法 何れも個人試合とす但し高段者には特別試合を依賴の豫定
一、賞 參加全員に參加賞贈呈尙柔劍道共段外者有段者各別に數等の特別賞を贈呈

大石橋蓋平の 町名番地變更

【大石橋】本月一日附左記の通り改定せられた

舊町名	新町名
中央大街	中央通り
南一條街	南一條通り
同第九條街迄	同第九通り迄
太平街 聖德街	何れも削除
臨境街 迷鎭街	何れも削除

『時節がら危い』と 煙突掃除夫を嚴戒
組合を作つてはと 安東で要望の聲

【安東】冬が近づいてそろそろ各家庭でも煖房設備に留意する頃となつたが、石炭を燃料とするこれら多くの煖房（ペーチカ、ストーブ）には必然的に煙筒掃除の必要があり殆ど一週間目か半月目かそれぞれの設備により週期的に廻つて來る、そしてこの煙筒掃除はすべて流しの煙筒掃除夫（滿洲人）の手に委ねてゐる現狀で、幸ひ安東では從來それ等掃除夫による事故はなかつたが時勢が時勢であり家庭內の殆ど全部……座敷までも上つて掃除する點に鑑みサラリーマンの留守を守る主婦の多い安東では殊に身許の確な者でなければ……との聲が次第に高まつてゐる今年は上流方面その他各地の討伐に依り敗走逃入する不良分子も多いものと見られ、彼等が職業として最も手近な掃除夫となり各家庭に出入する事は甚だ危險率が多いそれでこう云ふ不安を一掃する爲め並に有力者又は團體の手に依つて煙筒掃除夫の組合の如きものを組織し安東市內に居住し家族もあり人物も信用し得るものを使はうではないかとの議起り警察當局としても治安維持の爲め考慮さるべきで、又た市中には內鮮滿人の區別なく相當冬越しに困る向もあるべくこれらの人々を使用すれば一擧兩得であるとして實現を要望されてゐる

萬引の常習者か
寫眞機をすり損ねて捕はれ 奉天署で嚴重取調

【奉天】廿四日午後五時半頃浪速通り六番地寫眞機商木村洋行方に三名の滿洲人が來り寫眞機を購入するから見せて呉れぬかと稱したので同洋行の店員は小型寫眞二個を取出して見せた處彼はその內の一個價格十五圓を買ふから家まで屆けて貰ひたいと云ひ出した、しかも時は既に日沒で自分では危險であるため他の店員をやらうと店內に話を取決める爲に這入つた處その隙に陳列棚にあつた二百五十圓の寫眞機が紛失してゐるのに氣つきその店員も彼等の所爲と認め之を詰れると知らぬ存ぜぬの一天張りで一向話がつかぬので派出所へ屆け出た、派出所からは係官が現場に赴き取調をなしたが現品がないので不審を抱きよく調査するとストーブの灰殼の中に隱匿されてある該寫眞器を發見した、しかしこの三名はそれと氣遣れ後難を恐れてストーブの中に投げこんだもので餘罪ある見込である、尙この三名は西北市場居住無職宋在德(三二)李元孫(二二)及び崔敬相(三〇)と自稱し萬引常習犯らしいと

撫順炭礦事故 調査規程改正

【撫順】撫順炭礦では坑內外の事故發生に關し再度その災害を發生せしめぬやうかれて事故調査規程に基き調査委員を設置してその都度事故の原因を極め對策研究の資としてゐるが、現行の右規程は古く且つ不備の點が多いので今回これを改正し調査の徹底を期すことゝした、改正規程に依ると調査擔當員が新に定められて連絡の圓滑と迅速がはかられ又特重大、重大、輕微と被害程度の種類が判然とされたる等調査の統制及び徹底をはかられてゐる

安東秋の行樂

【安東】招魂祭と日曜がダブつた二十三日はうらゝかな秋晴れに惠まれて人の出足を誘つた、家族連れのピクニック、紅葉狩りの若きカップルの漫步、さては白馬、義州あたりへの栗拾ひなど行樂には全くお誂へ向きの日和、秋色濃き千草、楓など華やかに化粧した鎭江山公園も多くの日滿人の姿を吸ひ込んで動物のおりの前は殊に賑やかな朧にしみ入る樣な爽かな空の碧さを滿喫しつゝ長閑な氣持ちで散策するに良い秋の一日であつた

操車手卽死

【撫順】撫順炭礦操車手堀殿剛は二十三日午後五時頃機關手宮下茂次が操縱する電氣機關車第十四號の後方フレンダーに乘つて貯木場內で乘務中誤つて線路上に轉落し牽引せる鐵道枕木滿載の貨車の下敷となり兩肢部を切斷卽死した

奉天の火事

【奉天】廿四日午後八時五十分頃市內松島町十四番地自轉車商飛鷹會差元方から發火し同家を全燒し兩隣りの洗濯屋郝福禹及びかきもちや森本忠太方を半燒して午後十時十分頃鎭火したが原因は差元方の店員劉明岐外二名が空ゴム鞠に揮發油を入れ之に點火して遊んでゐるとその鞠が熱くなり之を投げつけたゝめ揮發油は四方に散り之に點火してこの始末となつたもので目下取調中である

海城縣調査 委員會組織

【大石橋】海城縣警務局に於ては省情報處の訓令に基き匪賊の情況及其の情狀範圍根據地等調査の目的を以て調査委員會を組織中なりしが此頃漸く完備したるを以て來る本月廿八日を期し第一回調査委員會を開き省情報處よりの派遣員の來着を機會に一切の連絡を遂ぐる事となつた調査委員の氏名左の如し

海城縣警務局長陳簡章、同局督察長劉程九、同督察員張棟卒、同偵緝隊長、同偵緝員顧寶東、第一區分局長朱德瑞、同局員金比民、第二區調査員陳韓東、第三區同李奐岐、第四區同梁蘊三、第五區同丁隆孝、第六區同夏雨時、第七區同蘇書風、第八區同金牧九、第九區同郭壽彭、第十區同李希原

旅順放送

▲旅順第一小學校では秋晴れの二十五日各學年は左の如く樂しい遠足會を催した一年生玉の浦、二年生水師營、三年生柳樹房、四年生柏嵐子、五年生二〇三高地、六年生は午前五時發徒步にて旅大道路を突破した
▲乃木町二丁二二 追分利氏方では十一日長男信治君出生
▲末廣町一〇 風間壽太郎氏四女滿惠(二)嬢は二十一日死亡

沿線往來

▲撫順縣公署園田慶幸氏は二十四日着任關係筋を歷訪新任挨拶
▲撫順炭礦經理課注文係主任日高爲三郎氏は今回滿鐵本社鐵道部に轉出することゝなり近日離撫

速に迷夢を覺し滿洲國に忠誠なれ

反滿態度の旅長樸炳珊に送った松木中將の警告書

【チチハル】豫て反滿洲國の色彩ありと噂され、その態度を注視されてゐた拜泉の滿洲國軍旅長樸炳珊に對し、我が松木中將は此程左の如き警告書を送つてその反省を促した【寫眞は樸炳珊】

旅長樸炳珊に警告するの書

畏くも大日本國天皇陛下の聖命を奉じて、我師團は專ら北滿黑龍江省警備の任に在りて治安の責を守り、先に逆賊馬占山の軍を破り治安を破壞せる巨魁を剿滅し、又今回江省駐在の任を受けては最初に昂々溪附近に在りては李海靑の軍匪を剿滅し、更に富拉爾基附近に在りては一擊逆將張殿九軍の先鋒を退けたり、茲に於てか彼等は皆皇軍の

勇猛 に驚き遁走して又皇軍に抗する者なし、然して目下安達方面に蟠居せる郭文天照應李海青の殘黨の如きに至つては日ならずして滅亡の外なかるべし次に黑龍江省に在りて徒らに反滿反日の態度に出で居に安んじ業を樂しむ所の良民を害せんとする者に對しては我軍は將に一大鐵槌を下さんとす。近來路上に之を聞く、貴旅長反滿の態度ありと、思ふに貴旅長は初めて我

友軍 たり、嘗ては呼海鐵道沿線に移駐して民を安んじ交通を守るの責に任じたり、今に至つてこの種の風聞を聞く、元より一種の謠言衆を惑はすもの、信を置くに足る可きなし、然も目下は通信機關均しく皆斷絕して其眞僞虛實を究明し、實否何れに屬するやを決すべきなし、江省目下の大勢を熟思すれば眼前の小策に眩惑され或は反動者の宣傳に惑はされ、敢て反逆の擧動に出づるが如きは是卽ち愚儒大局に通ぜず、且つ良民をして累を蒙らしめ又自ら

滅亡 を目前に招く者と云ふべし、願はくば貴旅長、猛省反覆、速かに迷夢を覺醒し、滿洲國に對して忠誠を勵み有終の美を納められん事を

又特に日本の武官下枝少佐をして護送して緊急海倫の日本軍に到り彼をして連絡の任務に當らしめんとす、若我が言を聞かずして彼を慘殺する如き事あらば我軍は直に討伐の軍を起こして之に迫り、我空軍は友軍と共に協力一致し、眞先に拜泉に

猛擊 を開始し、拜泉城を灰燼に歸せしむるあるのみ、而して既に已に其準備は整へられたり

今此警告を發するに當り、須らく最善の方法を擇んで誤る所なからんことを望む、而して貴の回答の速かに龍江駐在の日本軍司令部に到達せんことを期す、貴よ決して誤る事勿れ

龍江日本軍　松木中將

北滿掃匪狀況

敵匪重圍の中から滿洲國軍司令救出

【チチハル二十一日松木○○○部發表】平松部隊は二十日重圍に陷つてゐた江省軍第一支隊（司令周作霖）を完全に救援して目下敵匪を追擊中である、敵は安達の南方遠く肇州方面に向つて逃走した、尙第一支隊は本月上旬以來四合屯附近（安達站南方約十里）に於て天照應、郭文及李海青匪に包圍せられ乍ら、頑として降伏勸告を退け孤軍奮鬪を續けて居たが、皇軍の神速機敏なる進擊によつて遂に敵の重圍の內より救出されたもので、平松、周兩將軍が戰ひ勝つての後に於ける

感激の握手 は感極まつて劇的シーンを見せた、猶龍滿右岸には砲を有する有力なる匪賊が陣地を占領し、鐵橋を燒却し列車を襲擊するので克山警備隊より一部出動して二十日之を擊攘した、十月十九日驛年站附近に於ける戰鬪に戰場に遺棄せる敵の屍體は約五十、その內に東北民衆自衞軍騎兵第一支隊第一團第二連長上尉王華廷以下數名の敵將校があつた、二十一日午前五時頃天未だ明けず陣頭の數倍圓かなる折柄、突如として一齊射擊の銃聲と共に

無數の敵匪 は克山市街に突貫し來り齊克線占領を企てた、我克山守備隊は豫ての計畫に基き、極めて迅速に且つ極めて勇敢なる步砲の協同の下に東西兩方面より猛烈に敵匪を挾擊してこれを北方に潰走せしめ三時間餘に亘る猛烈なる追擊を終つて午前八時三十分克山に歸還した、敵は東北救國第一旅及第八旅と稱するものにして戰場に遺棄せし死體實に二百を算す、我損害戰死兵一、輕傷兵二、滿溝より安達に入つて平田支隊と交替警備の任についた稻田支隊は直に種々の情報を綜合して、敵匪賊の主力は東南肇州、肇東方面に於て何事かを劃策し

皇軍の隙を 見ては東支鐵道西部線をオビヤカさんとするもの〻如くなるを知り、疾風迅雷耳を覆ふに違なき勢ひを以て敵の主力を擊滅せんと、十八日安達を發して一瀉千里肇東に向つて猛進擊を開始したが、敵は早くも之を知り遠く南方に逃れて片影を認めず、十九日皇軍は何等敵の抵抗を受くる事なく肇東に入城日章旗を高く城頭に飜へした

筑前琵琶 潰滅

關東軍參謀 臼田少佐作

【奉天】滿洲事變以來關東軍司令部第二課の中樞にありて一ケ年餘、連日帷幄に忙殺されてゐる臼田少佐は嚢に北滿の嵐と題する筑前琵琶を發表して皇軍の滿洲における雄々しき半面を察總により我同胞に知らしめ武と文の人として各方面から賞讃されたが、茲に又叛將馬占山討伐に參加した高崎聯隊の田中大隊が苦戰北滿の曠野を行く情景をものして潰滅と題する琵琶を作詩近く上梓するに至つたが、小磯參謀長は非常に感激し賞讃の辭を與へ、武藤司令官は親しく執筆して題字を寄せた程である

臼田少佐は右につき

日本では滿洲事變來皇軍の實狀を歌詩にものしたものは多いが何分實際をみた上での作は少く隔靴搔痒の感あり、この點については自分は軍に從つてゐる關係上、作詩はどうかは知らぬが、少くとも眞情はうつしてゐるつもりである、武藤司令官の題字を得たことは光榮であつた

なほ潰滅の作曲には東京の豐田旭嶺に依頼された、豐田嶺は日本における有名なる作曲家であり、琵琶の無師すら新工夫した人である【寫眞は臼田少佐】

歌詞

北滿の曠野を蹈り巡れ居し
叛將の謀馬占山
彼れ討たずんば盟邦の
民徒らに嘆くべし
茲に高崎聯隊の田中大隊は
馬軍の行手を遮斷すべく
昭和七年七月の
中の十六日の朝風さ
海倫の西、正白旗
六井指して進み行く
走馬西來欲到天
辭家日見兩徊圓
今夜不知何處宿
平沙萬里人烟絶
敵が蹄の跡を踏み
追ひて進めば見る限り
夏の曠野の人影も
絶えて頻降る滿洲嵐
岡足重み小止みなく
水は山野に溢れたり
敵は騎馬
吾は徒步
逸る勇氣は挫まれど
膝を埋むる三尺の
此の泥濘を如何にせむ
一足ゆけば口鰻の
行軍は泥にうもれけり。
さる程に
敵の敗將馬占山
殘餘の兵を提げて
獅子に追はる〻野兎の
風にも心おの〻くや
昨日は東、今日は西
叢末に宿る白露の
落ちてはもろき命ぞと
知るも知らぬも偸安の
夢をかけてひたすらに
遁る〻樣こそあはれなる
多日の勞苦空ならず
敵東進の報を得て
兵皆勇む劉家店
大雨沛然と降る中に
一夜露營の火だになく
固唾を呑むで待ち明かす
明くれば七月二十七日
田中大隊長は凜然と
將士を諭し云へる樣
今日こそは吾高崎聯隊の
軍旗拜受の記念日なり
おのれ憎くき馬占山
此の一戰に屠らむと
聞くより兵皆勇み立ち
勝名竄に鍛えたる
拳に劍把握りしめ
敵や來れと待ちかけたり（つゞく）

逃げ出す

糧搬出の荷馬車 匪賊を恐れて

【鐵嶺】大匂子方面の糧穀搬出の爲め鐵嶺鮮人會では市內で雇つた荷馬車二十七臺を二十四日朝鮮農附添ひ大匂子に向はしめたところ馬車夫は何れも匪賊の襲來を恐れて途中より逃げ出し、附添ひ鮮農が追ひかけてゐる間に殘つた馬車も逃げ出し鬼ごつこしてゐるうち殘りを逃げて目的地に到着したのは僅か三臺だつた

大刀會匪警官出張所を燒く

【鐵嶺】開原縣下八棵樹の我が警察官出張所は嚢に所員全部引揚げて建物のみであるが、去る十五日同地に襲來せる大刀會匪の爲め放火全燒したる旨家主が語つた

九勝の歸順で吉長沿線安全

投降者は嚴重に監視

【吉林】吉長吉海附近一圓に渡つて暴威を揮つてゐた殿臣、三江好の大匪賊團はいよ〳〵歸順の手筈となつたが、これに續く小匪賊の歸順申出は豫想の如く吉長線孤店子附近に根據を持つ匪首九勝も追々降雪の期に入りて食糧及び武器などの缺乏に一層の心細さを感ずると同時に我が皇軍の威力に恐れて愈々其の非を悟り、部下一千餘名と共に永吉縣關縣長を通じて歸順を申出たが、同縣長は去る二十日實狀調査終り歸吉、目下軍部と投降具體策に就き協議中で正規軍編入希望者の外は農工に從事せしめ何れも改悛證書を徵して今後嚴重に監視する意向らしく、さしも危險なりし吉長吉海沿線一帶もこれで漸く安全が保たれるものと思はれる

自警團包圍され飛行機出動嘆願

欒司令、金山好勢ひ猖獗

【鐵嶺】開原縣下東方に蟠居せる兵匪欒司令、金山好の合流部隊約一千は二、三日前より上肥地、錦山屯附近一帶の地を占據し勢ひ猖獗を極め、同地方自警團は全部下肥地に集結して匪團と對峙中なるも全然勝算の見込みなきのみならず、全く匪團に包圍されて脫出さへも容易ならず、而も同地附近には多數の鮮農居住してこれ又危機に瀕しつゝあり、陸軍機の出動を嘆願して來た

兒童の增加で教師と教室不足

學校當局大狼狽

【吉林】匪賊四散して滿洲國は前途洋々と輝き日滿の親交日に深まりゆくにつれ邦人の進出は各所に增加を示してゐるが、それに伴ふ人口の激增は家屋の拂底を來たして困難の狀況にある一方、最近學童の學ぶべき學校が教室の狹隘を來し、吉林小學校の事變當時百二十名の生徒がわづか半ケ年の內に約六十名の兒童增加を示して教室と教師の不足に困窮の有樣である現在では萬策盡きて已むなく二學級を合併して教授しつゝあるが其數は凡そ七十名の多きに上り現在の處では如何共なし難く、臨機の處置として授業を繼續してはゐるものゝ此の上增加しては到底現在のまゝでは授業を繼續出來ず、講堂を教室に使用してもこれに當る教師がない仕末、而も邦人の增加は餘りにも目に見へた事實であるので學校當局は大いに狼狽しつゝあり、父兄間に於てもこれが前後策に腐心して居る

張海鵬氏出發

日本特別大演習陪觀のため

【洮南】日本內地に於て行はれる特別大演習を陪觀する事に決した滿洲國侍從武官長兼洮遼警備司令官陸軍大將張海鵬氏は河野滿鐵洮南公所長と共に廿四日午前七時五十分發列車にて日滿官民多數の見送りを受け洮南を出發したが尙同氏は新京に於て軍政部長張景惠氏等と合し廿七日新京發赴日の途に上る筈

井上司令官初巡視

【洮南】獨立守備隊司令官井上中將は警備區域初巡視の爲め萩原副官以下四名を從へ廿二日午後五時着普通列車にて來洮、驛頭には洮南縣公署の手により歡迎アーチ設けられ張洮遼警備司令官、田所第○○隊長、前田憲兵分隊長、秋田洮昂鐵路顧問、河野洮南公所長、申縣長洮遼警備軍、公安隊等日滿官民約千名の出迎へを受け、直に官交街洮南新國倶樂部に於て開かれた日滿聯合歡迎會に出席、翌廿三日五大隊洮成一個中隊を從へて洮索沿線の巡視をなし廿四日午前八時發中列車にてチチハルへ向つた

消防隊の防火宣傳

【四平街】雨天の爲めに延期されてゐた當地消防隊の防火宣傳は二十四日華々しく擧行された、午後一時消防隊前に集合した警察署幹部並に消防隊員一同は周倒なる器具の點檢を終へ、同二時二臺の消防自動車に分乘し警鐘を亂打しつゝ市內隈なく宣傳ビラを撒布して市民の火災豫防の注意心を喚起しつゝ驛前廣場に至り簡單なる消防演習を終へ大成功裡に散會した

ルンペンにも溫かい越冬

新京に簡易宿泊所設置

【新京】日を追ふて寒さが加はり新京街頭は全く冬の情景になつたが、これと共に七八十名からのルンペンの越冬が一つの社會問題として考慮され、滿鐵地方事務所社會係ではルンペン收容の簡易宿泊所及簡易食堂の設備につき鋭意本社と打合せ中で、遲くも來月中旬までには開所するに至るであらうと見られてゐる、宿泊所及その附屬食堂は鐵道北の隔離所中病人を全然收容せなかつた別館の一棟を改造して煖房設備を加へ、室內を明るく衞生的に住む心地よきものにして越冬せしむる方針の模樣だが、期間は第一期計畫として來年三月末迄とされてゐる、尙この簡易宿泊所の開設を見れば同縣人、同鄕人といふ關係で一時凌ぎのため厄介になつてゐるルンペンも同所に居を換えることにならうから現在の宿泊所計畫では直に滿員にならうと見られてゐる

四洮鐵管理局模樣替

【四平街】四洮鐵路管理局では去る八月以來同局內部の模樣替に着手し當事者を督勵してゐるが、その後工事の進捗も著るしく素晴らしい內觀美を現出しつゝあるが、竣成の曉は全然面目を一新するであらうと

實滿圍碁大會

鐵嶺で卅日開催

【鐵嶺】鐵嶺の圍碁同好者は豫てより實滿圍碁大會開催の計畫を進めてゐたが漸く纏まつて來る三十日の日曜日滿鐵クラブに於て全鐵嶺實滿對抗圍碁大會を催すと

旅順菊花展覽會

愈々廿八日から開く

【旅順】旅順後樂園の菊花展覽會は例年の如く愈々來る二十八日から十一月三日迄八日間開催されることに決定市松格子の上蓋に着手した、本秋の陳列鉢數は約六百鉢で特に小菊の新種物が多い事は觀賞家の見逃し得ぬ珍品である、更に小宮園主は本秋初めての試みである小菊盆栽は頗る雅趣に富んだ作物である、懸崖の出來榮も大成功を納め本秋の菊花展は近年にない美事さである、小山園主は語る

本年は春先きに多少雨量が多かつたので聊からず心配しましたが御來天候も順調に進んで來たので豫想外の出來榮へでせう、一番苦心したのは本年は例年に無い「ウドンコ病」が發生したのでこれが驅除に就て大に努めた結果大した被害を蒙らずに濟みました

滿洲女學生に日語講習

阮教育局長斡旋

【奉天】奉天教育局長阮全榮氏は豫てより女學生徒に對する日語教習の必要を認めてゐたが、先日滿鐵クラブに擧行された日滿聯合婦人會に出席して一層その感を深くし、各女學校に日語講習會を設立すべく計畫中であると

歐洲行郵便敦賀經由で

【大石橋】今回新京郵務局より奉天管理局を經て當地滿洲街郵政分局に達したる通令によれば蘇炳文護路軍の叛變に依り東支鐵道に依る歐洲行一切の郵便物は急速取扱ひ不能の狀態なるを以て當分の間歐洲行郵便物は日本福井縣敦賀を經由することゝなつたと

新京

軍人家族寄附

長春駐劄步兵第三旅團司令部及び同第四聯隊の家族は今回全部內地へ歸還したが宮島、田中、尾、千葉、松川、德江の諸夫人たちはそれ〴〵子女の在學記念に西廣場小學校へ三十圓を寄附した

商業校の兎狩

長春商業學校では來る廿九日全生徒總出動で南嶺東南方より伊通河畔にかけ大兎狩りを擧行することになつたが事變後最初のことゝて頗る興味を集めてゐる

現狀を繼續すれば斷乎たる措置
滿洲里事件に對して
陸軍省聲明

【東京二十六日發】滿洲里事件に關し陸軍當局は二十五日夜談話の形式で聲明書を發表したが、その要旨左の如し

馬占山敗退以來興安嶺以西に蟠居して傍觀的態度をとつてゐた蘇炳文が客月下旬以來俄然反滿抗日的態度をとり、滿洲里、海拉爾附近で邦人を監禁した事件は、苟しくも邦人生命の安危にかゝはるため我當局は愼重なる態度を以て之が解決を策してゐる次第である、關東軍は目下黑龍省中原の兵匪討伐を行ふと共に、蘇炳文に對し邦人救出事件解決交渉中二十二日滿洲里蘇國領事に對して婦女子と蘇炳文軍に抵抗せざりし男子滿洲國政府機關に參與しなかつた男子の退去を承諾して來た、元來彼の反滿行動の原因は黑龍江省政權問題で日滿に對する根本的叛氣で無いやうだが、彼にして依然自己の野心のため邦人の生命を犧牲にする態度を繼續せんか、斷乎たる措置をとらればならぬ最近蘇炳文は滿洲國の和平交渉に應ぜんとしてゐるやうだが、富拉爾基以西に駐屯する張殿九軍は依然反抗的態度を棄てず我富拉爾基枝隊は黑龍江省軍と協力目下土匪掃蕩に努めてゐる

農民に變裝し救援を求む
殊勳を樹てた江省軍
重大使命を果した張少佐

【ハルビン特電二十五日發】本月四日から二十一日まで半月の間、李海青、鄧文、天照應らの聯合軍三千に包圍され四百の寡兵を以て最後まで防禦した江省軍第三旅、周作霖部隊はわが平松、種村兩部隊に救援され、賊を潰走せしめ殊勳を樹てた司令部附少佐張新華氏は敵の重圍を脱し農民に變裝してわが軍との連絡をとり、二三回敵に捕はれたが、それにも屈せずハルビンとの間を往復し使命を全うしたので、軍部は一躍中尉から少佐に拔擢した、張氏は語る

本月三日反軍は大擧してわが軍の守備する肇東を攻擊して來たので衆寡敵せず、その西方四合屯で籠城した、敵は我軍にも包圍し迫擊砲を以て攻擊し、數箇所で激戰が行はれ、味方は死傷者續出した、そこで急をハルビンに報じ日本軍の援助を求めることゝなり、その使者に自分が選ばれたのでボロ〳〵の百姓姿となり五日、安達に着き汽車でハルビンに來て宮崎少佐に會つて依頼した、當時平松、種村部隊は安達や滿溝を進擊中だつたので自分も同行し、十五日安達を出發した、道が悪い上に敵の攻擊が猛烈で捗どらず、漸く肇東を占領し二十一日周軍と合し敵を西方に潰走させた、この半月における江省軍の籠城は言葉にも盡くせない困苦で毎日戰鬪が行はれて死傷者が殖える一方だし、食糧は全く盡き兵は飢さ寒さに震へ馬料も皆無となり人も馬も僅に雨水のたまつたのを呑んで露命をつないだ、青海青は十五日頃から自ら全軍を指揮して我軍を殲滅せんとし、味方は彈丸盡き最早や全滅の外なかつたところ二十日、日本の飛行機による報告筒が司令部構内に落された、日本軍の救援と聞いて全軍狂せんばかり喜び最後の勇を奮つた、敵は飛行機四機の爆擊をうけて忽ち總崩れとなり西方に潰走したが、その有樣は銃擊に愕くカラスのやうだつた敵は種村部隊の追擊をうけた、また潰走し賊飛行機を憚れることは想像以上である、如何に大軍と雖も飛行機とタンクさへあればすぐ潰走させることが出來る、今後の討伐にはモット利用してほしい、北滿における反軍總數四萬と概算され、我々江省軍は轉戰また轉戰、滿洲國統一のため身命を賭して全力を盡してゐる

唐玉振が歸順

部下一萬五十を有する匪賊頭目唐玉振は桓仁東方三十キロの地點にあつて二十四日わが軍に歸順を申出でた【奉天電話】

避難鮮農の送還開始
收容所は閉鎖

奉天省警務廳は東邊道の兵匪に追はれて避難し來つた鮮人のため臨時、人收容所を設け約三千二百名の鮮人を收容保護してゐたが現在同地方の兵匪も一掃され平靜に歸しつゝあると今まで放置してゐた稲刈入期切迫したので日滿關係當局協議の結果これ等鮮人を至急現住地に歸還せしむることゝなり、汽車賃及び辨當代を支給し送還を開始し本月末までに全部の收容員を送還して收容所を閉鎖する筈である【奉天電話】

郵便局を開く

東邊道各地の郵便局は匪賊の跳梁により久しく閉鎖されてゐたが日滿兩國軍の討伐により漸次平靜に歸しつゝあるので奉天郵政管理局は十一月早々東邊道各地の郵便局を回復することゝなり郵務員三十名集配人六、七十名を募集し各地に配屬するべく準備中である【奉天電話】

拉去邦人救出
正義團の手に

過日天下好の一味に出漁中を拉致された幸神丸乘組員はその後盤山の奧深く拉致されてゐたが盤山附近において荒川喜太、天財德の兩人は滿洲正義團の手によつて救出された、尙殘るは船長荒木外日本人一名、鮮人一名である

すばらしい!日本の「モミヂ」
旅大見物に來たムツソリーニ首相令孃

世界を風靡せんとするファシズム―の潮流は日毎にさかんになりムツソリーニ氏の名は世界人の常識的な存在となつたが同氏の愛孃▶一九三〇年新婚と共に夫君の勤め先たる上海に渡つたエダ・チアノ夫人は、秋の日本を探るべく全く觀光を目的に去る十四日上海を出帆、東京、京都と紅葉の日本を限なく見物し上海への歸路、汽船カルデラナ號で來連した、神汽出迎へると夫人と同行のデボノ伯爵夫人、ゲエリ孃等が小蒸汽に向つて「バンザイ」と覺へたての日本語で朗かに叫びかける、船中刺を通じると廣いひたい、澄んだ大きなひとみイエスノウをはつきりした態度何處やらに父君ムツソリーニ氏の面影が宿されてゐる「簡單にお話しませう」とやさしく前提し乍ら語る

◇…目的は觀光ですわ二年前に夫が上海に公使として駐在してゐるのではるばる極東に渡つたんです、日本には二度目、昨年雲仙に行きました、その懷しい思出が忘れられないので…モミヂを見に行つたんです旅大を見るのは初めてゞすが旅大の景色は二十七日の夜出帆歸滬のことになつてます、私の日本の印象ですって?よくまだおつしやいませんが東洋的な美を愛します、餘りよい好い印象を殘して居ますが上海事件の時に上海に居たが仲々大變でしたわ、その事件?私に政治は解らない仕事をしてゐるのだから點についてはお答へは出來ませんが何と云つても外國は伊太利く似たところを多分に持つてゐます、父からは最近非常な便りがありますがいゝ好いニウスを聞かせてくださいと【寫眞はエダ、チアノ夫人】

目標は十四の娘
旅順の慘劇

旅順乃木町補松方の慘劇によつて世間は二女ヤス子が同町カフエーミハラシに女給を勤めてゐる關係から同女と犯人との戀愛關係に絡まつて兇行が演ぜられたものと想像してゐたがこの想像は見事根底から覆されて意外にもヤス子との關係でなく三女サダ子(一三)のふしだらな行爲からこの兇行をみるに至つたものである

犯人は三等兵曹

慘劇極まる犯人は本年八月佐世保より來旅せる三等兵曹須藤廣志(二)と呼ぶ者で兇行に使用した拳銃は旅順無線電信所警備室より午前三時頃竊取せる南部式八連發である

軍司令部の新京移轉
悲壯な決意で待機の姿勢
阪谷廳長慌しく
軍司令部と交渉戰展開

二十五日の先發隊をトップに關東軍司令部と全權府の移轉は愈々開始された、さすが奉天第一の大世帶だけになみ大ていなことではない、これがため奉天での

軍部を取まく最後の慌しさ

がこゝ數日異常な高度の緊張味に張り切る、早くも軍司令部、全權事務所ではお引越の整理と荷作りでテンテコ舞の忙しさだタイピスト孃がたつた一臺のタイプライターのかた付けにオド〳〵してゐたり、大切な書類のしまひ所で判らなくて頭もフラ〳〵に一枚の書類を探し求めてゐる雇員の姿など引越ナンセンス劇がそここゝに展開される、奉天事務所の鐵道課では既に何時なりと軍部から

指令のあり次第、一せいに諸物の搬出が出來るやう萬端の準備を整へ待機の姿勢でその日にかまへてゐる、御本尊の移轉本部にも劣らぬテンテコ舞ひの忙しさに追はれる驛の貨物係と小荷物係である一晩二晩は寢ない覺悟ですと皆んな悲壯な決意を示してゐる、軍司令部前のヤマトホテルは司令部移轉を前にこゝもまたそば杖のいそがしさに

大混雜

だ、二十五日の各部屋は何れも滿員、八十四名でビツシリだ、後から後からとひつきりなしの申込みのにその斷りだけでも氣ぜはしい、奉天での最後の司令部を訪れる人達がドツとこゝへなだれ込んで來るのだ、二十五日朝は新京からわざ〳〵坂谷總務廳長が何事かあわたゞしく來奉これも大和ホテルに消える、そしてホテルを根城に軍司令部と盛に交渉戰を展開してゐる金壁東氏もヒヨツコリ大和

ホテルに姿を現はす、

その他大學教授、滿洲國要人、政治家、滿鐵社員、官吏、會社員、事業家、建築師、外人等々が何れも慌たゞしく司令部とヤマトホテルの最短距離を輻湊してゐる、昨日も今日もこの慌しさのうちに諸機關は日一日と移轉して行く、かくて約一年餘に亘つて全滿、いや全世界の政治的

動向のヘゲモニーを握つてゐた奉天も今やこゝ數日を以てその重大な使命を終らうとしてゐるのだ

全滿劍豪が州內外對抗試合
團體爭霸戰も擧行

滿洲劍友會では來る十一月二十三日午前九時より滿鐵大連道場に於いて第八回全滿三段以下有段者團體優勝刀爭霸戰並に全滿劍豪を網羅する關東州內對州外四段以上優勝刀爭霸戰を擧行することゝなつたが諸規定左の如し

▲申込期日　十一月十八日迄に滿鐵地方部學務課體育係氣付滿洲劍友會宛申込みのこと但し無賃乘車證入用の方は十一月十五日迄に申込みのこと

▲三段以下有段爭霸戰は一團體正選手五名、補缺一名とし四級以上の州外對抗出場者は別に定む

▲團體試合は第一回戰より段順によらず隨意變更することを得

▲正選手補缺選手と交代する場合は再出場を許さず

▲團體試合は三本勝負とし一本を一點として點數の多きを勝ちとす、同點數の場合は代表者を出だして決勝せしむ但し優勝戰の場合は全部再戰せしめ尙同點の時は前項に依り決戰せしむ

▲參加團體多數の場合は東西兩分して行ふ

小谷、吉田兩氏歡迎會
廿六日食堂で

滿鐵運動會並に滿洲柔道有段者會主催の滿鐵小谷澄之早苗高等小學校吉田四一兩氏の歸連歡迎會は二十六日午後六時より滿鐵社員倶樂部食堂に於て有賀學務課長武田地方部人事係主任、由良運動會幹事高野範士、伊佐諸氏、滿洲體協主事林田學氏大連實業團安藤忍氏その他在連著名柔劍道家及び各校武道教師運動關係者三十餘名出席の上開催吉原有段者會幹事歡迎の辭を述べこれに對し小谷澄之氏謝辭を述べ小谷澄之吉田四一兩氏の大會出場の苦心談あり武者修行談に花を咲かせて午後八時和氣靄々裡に閉會した

王道精神によつて暴利を取締る
全權部の新京移轉を期して
廣範圍に大彈壓

滿洲主要都市中特に新京における物價は最近恐ろしく騰貴したため一般民衆の生活を脅威し王道の本位を逸脫するのみならず主都の建設並に發展を阻害すること大なる事情にあるを以て關東廳、軍司令部、全權部及び滿洲國政府においては豫てこれが取締に關する法令その他必要の事項を研究中であつたが漸く成案を得たので近日中に最後の協議會を開き方針を決し全權部の新京移轉を期して暴利を貪る惡德漢に大鐵壓を加へることとなつた、暴利取締の範圍は廣範に亘り單に商品のみならず土地、家屋の權利金、敷金、貸間賃、工事費、勞銀等にも及ぼす模樣である尙この取締の內容に就て聞くに物價に對しては公設市場を設置し標準値段を定めてこれで賣らしめ若し標準値段以上で賣つてゐるものあれば直に嚴罰に處し又家屋も調査した上、上、中、下の等級を定めその價格以上を越えたものは大陸罰金二百圓拘留二十日間、營業停止を定めその最大處分を行ふ模樣である、元來これは王道精神の本來に基いて斷行されるものであつてこの標準値段に直せばとにかくこれ以上の勝手な値段を以て賣つてゐるものには片端から處分するやうである、尙この取締りは單に新京ばかりでなく沿線各地にも及ぶことになつてゐる【奉天電話】

滿洲國航空會社旅客機着奉

滿洲國航空會社では豫て旅客機を中島製作所に注文中であつたが今回完成したので航空會社關根飛行士が空輸することゝなり二十六日午前十一時半奉天飛行場に無事着陸したこの旅客機は新銳六人乘で方向舵に滿洲國旗を描き機翼兩端に國旗に因み五色の丸の新裝をこ

京城の博文寺落成、入佛式
きのふ盛大に擧行

【京城二十六日發】內鮮融合のため朝鮮統治の大恩人伊藤博文公廿四回忌を迎へて京城奬忠壇に建立された春畝山博文寺の落成式並に入佛式は廿六日午前十時より莊嚴裡に執行された、聖上陛下並に各宮家より御下賜品あり內地より首相代理宇垣總督代理今井田總監朴泳孝侯其他在城官民數百名一堂に會し初代住職鈴木天山師の入佛の儀に次いで今上陛下の聖壽を祈願し莊嚴裡に正午閉式それより祝宴に移り更に藤公の偉大なる足跡を偲ぶ記念展覽會講演會等があつた【寫眞は博文寺の本堂】

秋のエクランを飾る映畫「敢然承認へ」
東京で封切上映さる

【東京特電二十六日發】豫て滿鐵本社の撮影した滿洲國承認調印式の映畫「敢然承認へ」は謝特使の入京、松岡代表の謝府への出發等の好機を捉へ東京において封切りされたが既に東京朝日から五本、松竹キネマから十二本、日活から六本の注文を受け目下パラマウント、フオツクス等からも交涉を受けつゝあるが、聯盟總會を控へ日本の立場を表明する有利な資料として各方面から非常な注目を惹いてゐる、尙聯盟調査團フイルムは松岡代表出發の際パリ方面へ利用の分も數本擕行したが、十一月一日米國に出發するオレゴン大學生ファフ氏を首班とする日本學生團のためにも滿鐵から一本提供することになり中大牧山、明大山田、同志社須李君等一行がこれを擕帶し米國の各大學その他に滿洲國の現狀を紹介することになつた

大磯心中を眞似て
毒死女の身許

二十六日鵠ケ沸殿宇島にて服藥自殺を企てた女の身許についてはその後沙河口署にて調査の結果、沙河口仲町六四岡時雄(二)=假名=東京市小石川區生れ妻しづ子(二)と判明直に夫を呼出し引渡したが午後二時半沙河口分院より同醫院に移し手當を續けてゐるが同女は東京某高等女學校出身文學に趣味を持つて昭和三年時雄と結婚して

佐賀縣唐津會　佐賀縣唐津會では二十九日午後六時半から市內浪速町「ほてい」で秋季懇親會を催すが會費三圓(當日持參)多數の參會を希望すると

生花展覽會　大連栄道松風會では二十九、三十の兩日大連羽衣高等女學校で羽衣バザーと同時に青山東山專敬各流に亘り生花二百餘點を陳列展覽會を催す

菊花展覽會　大連市役所では來る十一月二日から四日まで三日間市社會館において明治節奉祝菊花展覽會を催すと共に賞狀授與式は三日午後四時から擧行の由

大連醫學會　二十八日午後三時より大連醫院において開催し左の報告あるはず

一、無腦兒の分娩實驗三例　齋藤賢吉君
二、核酸代謝の實驗的研究第一報告　牧野堅
三、單純性子宮肥部腫瘍症に及ぼす「ラヂウム」線の影響に就て　佐々木守夫君

安樂椅子

目下來連中のムツソリーニ令孃エダ・チアノ夫人は「父は世界から嚴ましい老人のやうに思はれてゐますが家庭的にはそれは優しいお父さんです」と語つてゐるが令孃は目の中に入れた程の可愛がり方だつたさうである

◇

それは四人姉弟のうち女は令孃一人であつたせいもあるが令孃がムツソリーニの亡き母の面影に生うつしといふので一入愛が深かつたと言はれてゐる。

◇

ムツソリーニが慈母を失つたのは彼の嵐のやうな受難時代、瑞西の浮浪生活から追放されて歸國した二十一歲の時であるがその時の彼の落膽振りはひどいもので自らもまた病床に斃れたくらひだつたさうだ

◇

鐵のやうな意志と燃えるやうな鬪爭力を持つてゐる彼が一面沈靜と思はれる程惡魔的な性質があるのは母の悲しい死がさうさせたとさへも言はれてゐる――優しい英雄の反面である。

海と空と（9）

高杉晉一郎作　橋本清史畫

歸郷（九）

暢にとつて必要な話のきつかけもないまゝに午も過ぎて、三人は岬の亭でパンなどを振つた。それから岬南へ灣曲して續いてゐる、砂濱の方へ降りて行つた。暢は、洋杖を突立て突立て、海の方ばかりを見て汀を進んだ。

海の中には、海底へ据え附けられた鐵骨の飛込臺が、季節はずれの寂しい孤獨をさらしてゐた。

四五丁も白砂の續いた汀が黒石礁近くへかかる所まで來ると、殆ど人影もまばらだつた。暢は立止まつて、どつかりと砂の上に腰を下した。

砂地を歩んでついて來た二人もすつかり疲れてゐた。瑞枝は暢のすぐわきへハンケチを敷いた。

「疲れるわね」

珍しく慣れ／＼しい口調でさう云つて、敷いたハンケチの上へ、事實大分疲れたらしい腰の下し方をした。

暢は笑ひながら瑞枝の顔を見た。

「そんなに？」

「ええ」

その時、不思議にそこへぽかつと浮出したやうな瞬間の打ち解けが、暢の心を抱くやうに解きほぐした。

人間は生理的に疲れた時、人に打ち解け易いものらしかつた。

百合は、瑞枝の脇に坐つて、ぽかんとしてゐた。

「どうした百合」

と暢は笑つて云つた。

「ねむくなつたわ」

瑞枝はそれを聞くと、私もさうと相槌を打つて口の中で小さく欠伸を嚙み殺した。

つい足許の二三間前まで波が寄せて來ては泡を嚙んで退いて行つた。三人とも足を六本並べて投げ出して海面を眺めた。

午後の陽は、何處と、縺らすに海面一體へ細かいダイアモンドのやうな光輝をキラ／＼とちりばめてゐた。此の邊は少し海が深くなるので、水は青かつた。

流石に海岸には風があつた。瑞枝の後れ毛が風に吹かれて片側へなびいてゐた。暢は、一寸身體を傾ければ、頬へそれが觸れるやうな氣がした。

一般に[illegible]が語されてゐた樣に、友人的な交際としてはすつかり、挾つたものを微塵も感じない程に感情が自然だつたので、それだけ、改まつた話と云ふのがし難かつた。

暢としては、別に瑞枝との結婚そのものを急いでゐる譯ではなかつた。唯今迄漠然と親友を間にして親くなつてゐた關係を、そのまゝにはつきりさせないでゐる事が、他から結婚の話の湧いて來たりする此頃、不安だつた。つまり瑞枝も亦自分と結婚する氣を持つてゐる事さへ解ればよかつたのだ。然しその點になると、瑞枝の平生の態度からだけではどうしても解らなかつた。餘りにも憚感の無い親さがあり過ぎたのだつた。

「あら船が行くわ」

百合が叫んだ、灣を出たばかりらしい青島經由の上海行の船が、水平線上を綠島の蔭へ東行してゐた。煙が長く尾を曳いて淡い白雲と混じつて消えて行つた。

暢は手先に觸れた小石を取つてぽつんと海へ投込みながら「此の間ね」と、何氣なく口を切り出した。

「ええ」

「僕に結婚の話があつたんですよ」

「ほう、誰方から？」

と瑞枝は水平線を眺めたまゝ、寧ろ冷かに云つた。暢は自嘲的な笑ひ方をして

「父の友人の娘なんですけれど」

その時、不意に後から、呼ぶものがゐた。

「暢君」

柳壇

『力』　高橋月南選

弱次馬も集つて選手力を得　山海關　鶴田藤春

女相撲力の足らぬ聲を出し　同　上倉都一

綱引きの應援隊の聲がかれ　同　松尾小女郎

腕角力妹けんめい泣いて勝ち　普蘭店　坂井いさを

底力ほんさうに出して褒められる

鯛網へ思はず力唄になり

出し過ぎた力で敗ける宮相撲　大連　畑島忠雄

嬉しさは孫の力で祖母は立ち

次男坊力自慢の腕を見せ　旅順　秀島柳蛙

病み上り火鉢をちつと持つて見る

ルンペンと思へぬ力だけはあり　大連　瞳子

美しきよそのマダムへ力抜け

毋危篤立つに立たれぬ足力　奉天　高見不二夫

ルンペンの力捨場は腕角力

村相撲紅一點に入る力　大連　遠江　槇江

力だけ口をゆがめゝ腕相撲

力をば試して老の我を知り　瓦房店　川原清

低腦兒力ばかりで傭はれる

この力他人の米を搬んでる

三人目力あまつて土を喰ひ

死際の匪賊に飛行機威力見せ　大連　森崎佛心

宣傳の裏に他力に泣きを入れ

舌力も正義の劍にちさ怖え

忍耐の力雅道踏み破り

聯盟に破邪顯正の力知れ　普蘭店　河本登志緒

力んでも及ばぬ力を鹹に知り

强いのにいゝかく／＼さあしらはれ

ふんばつて開いた大戸の輕過ぎし

逃げ仕度して小犬力み出し　大連　淺田輝坊

食客は女世帯の用心棒

登り坂ダンスのやうなペタル踏み　周水子　玉木包山

腕角力ありたけの力顔に出し

皇軍の威力今更ら夢がさめ　奉天　前田自愁

子の角力見てゐる親が汗をかき

砂俵うんさ力んだ腕の瘤　山海關　田代よし夫

力戰も及ばず投手の男泣き

力一杯なぐつた後の氣の毒さ

もう一息力んでさ産婆腰をなで

新刊紹介

▲奉天商工月報（第三二五號）滿洲事變後における奉天經濟界、滿洲の稅關制度改正に就て、舊軍閥に對する債權問題、奉天に於ける本邦商標侵害狀況、滿支間の輸出入品課稅方法改正、商會と火災保險、稅捐局增設請願、中銀紙幣の信用、電業管理局設置、雜貨品製造增加、英巨商連の移轉、奉天重要商品市況（定價五十錢、發行所奉天加茂町三番地奉天商工會議所）

▲新興時論（十月號）定價五十錢、發行所東京市本郷區湯島三組町八一番地新興時論社

▲祭（十月號）定價四十錢、發行所東京市品川區東大崎四丁目一二二二番祭發行所

▲前進（十月號）定價二十錢、發行所東京市四谷區南寺町三前進社

▲新使命（十一月號）定價三十錢、發行所東京市芝區白金三光町三〇八新使命社

▲事業と經營（十月號）定價五十錢、發行所東京市本郷區三組町八十一事業と經濟社

▲輿論時代（十月號）定價三十錢、發行所東京市小石川區丸山町二一番地輿論時代社

▲交通經濟（十月號）定價三十錢、發行所東京市神田區錦町一ノ九交通經濟出版部

▲キング（十一月號）連載物には青春無情（三上於菟吉）振分け小平（長谷川伸）シグナルは青だ（谷孫六）未來花（菊池寛）怪人ゼリコ（モーリス・ルブラン作保篠龍緒譯）龍造寺大助（神田越山）薩摩飛脚（大佛次郎）短篇小說には首を奧れる男（菊地寛）教師の懺悔（正木不如丘）武士の誓（磯村野風）袋小路の人々（谷崎精二）寬永武道鑑（直木三十五）等連載物と共に面白く、その他「馬占山討滅を語る」として第一部は陸軍少將山內保次氏の「騎兵部隊の活動」第二部は陸軍少佐田中信男氏の「步兵部隊の活動」があるが共に人跡未踏の地の進擊反將馬占山を殪すまでの皇軍苦心の奮戰記である、附錄は第一附錄に漫談家落語家道德繪ばなしと第二附錄にオリンピック選手土產話の二つがある（定價五十錢、發行所東京大日本雄辯會講談社）

▲富士（十一月號）特別讀切大長篇妖艷、凄艷鬼氣迫る美女の大復讐（三上於菟吉氏作の妖艷飛鳥劍がある、その他讀物には曉を呼ぶ旗（野村愛正）熱帶巨獸地獄（小山莊一郎）秘書官大學生（田中純）文七元結（若林陶雄）三平君の結婚（大泉黑石）興安嶺下の女頭目（鹿澤縣）薔薇色の道（中村武羅夫）死の誓約（保篠龍緒）晴曇（久米正雄）地に爪跡を殘すもの（佐々木邦）戶田新八郎（桃川若燕）ささらさ九平（村上浪六）東京哀歌（加藤武雄）伊達事變（白井喬二）メダル寫眞（大音龍太）三十九代の文相に仕へて（佐原茂一）與太郎のO・K（藤野家圓樂）漫談學校「亭主科」（大辻司郎）辻斬奇談（霜田史光）その他眞山青果の傑作戲曲「綴國定忠次」等を始めグラフに漫畫に種々趣向をこらしてゐる（定價五十錢、發行所同上）

▲入學考查問題集（昭和七年度版）教育新聞社にて年々發行し非常の好評を博し來れるもの考查、試驗問題は全國の代表的中學校、女學校、中等程度實業諸學校、師範學校、遞信、鐵道講習所、陸軍幼年學校等各方面にわたりて蒐集され、特に本年分には新試みとして東京府立第一より第九までの九箇中學校の數學科問題と共に其の解答を附したることである、來年度の中等諸學校入學志望者の參考書、小學上級生の自學自習書として唯一のものである（定價一册五十錢、送料六錢熊本市京町本丁稻本報德舍發賣）

滿日特選碁戰

第十回　互先　先番　初段　宮下秀洋　初段　坂口常治郎

●二四一ニ五　○二四二ホ九　●二四三ヨ十　○二四四カ九　●二四五イ十　○二四六ヘ十五　●二四七ホ十五　○二四八ツ十二　●二四九レ十五　○二五〇イ十三　●二五一イ十四　○二五二イ十一　●二五三カ十九　○二五四ワ十九　●二五五ヨ十九　○二五六ヨ十七　●二五七タ十八　○二五八リ三　●二五九チ一　○二六〇ト一

—【13】—

けふの放送

大連　JQAK　十月廿七日

▲午前六時ラヂオ體操

▲午後五時五十分、ニュース

▲講話「關東廳方面委員制度に就て」關東州勞働保護會長永井軍治

（以下內地中繼六時三十分）

▲能樂（北品川梅若能樂堂より中繼）「安達ヶ原黑頭急進の出」シテ梅若萬三郎、ワキ同萬佐世、ワキツレ高山新一郎、大鼓齋田喜一郎、小鼓大倉宣利、太鼓南條秀治、笛宇津木寬、間佐伯素童、地謠（怒童）梅若龜之、同武久、靑木只一、山口直知

▲尺八（七時三十五分）「秋田すがき」山口四郎

▲淸元（七時五十分）「隅田川」淨瑠璃淸元梅壽太夫、同同梅太夫、同同梅香太夫、三味線同梅次、上調子同梅助

（以下大連放送局より八時三十一分）

▲映畫物語「繪の母」藤原愛

▲職業紹介事項

▲ニュース

▲氣象通報

液狀ポリタミン（二五〇瓦（二圓五〇）　五〇〇瓦（四圓五〇））

產後・手術後の衰弱に

——四百三十五名　醫學博士推獎　高級滋養强壯劑——

ポリタミン

產後或は婦人科的手術後にて衰弱甚だしき場合には、卵や肉類を多量に食しても、完全に消化されざるが故に無駄が多い。こんな場合少量のポリタミンはよく滋養となり衰弱を恢復する。これポリタミンは、消化の必要なくそのまゝ血肉となる貴重アミノ酸製劑であるからである。

婦人科醫の短評集　無代送呈

發賣元　大阪市東區道修町　株式會社武田長兵衞商店（大五製藥株式會社製造）

32—1056(O)

●秋の趣味はカメラから＝實物宣傳の爲（一名一個限り）

暗室不用　實用　カテイ寫眞機無代進呈

どんな素人、子供でもすぐに面白い樣に撮影が出來る大評判のカメラを實物宣傳の爲め、今回無代贈呈の方法を設けて希望者に頒ちます。希望者は「寫眞術獨り學び」代として二錢切手を六枚封入申込次第贈呈趣意書と共に急送す。寫眞機請取の上は知己友人に宜しく御吹聽乞ふ

●申込所　東京麻布區六本木町竹皮ビル　東京寫眞機商會宣傳部

新調・修理　ハネフトン專門　大連初音町　中川工場　電二二四二一

白米下落相場は　連鎖街の白米問屋大島屋へ　電二二二〇〇番　品質升目確實　配達迅速

ぜんそく　たんせき　專門藥

奈良倉家　家傳湯

奈良市倉家（秘法大和國）の家傳漢方に據出にして永年若輩の「ぜんそく、たんせき」に用ひて偉効を奏す、百の効能も用ひざる人は知り難し。先づ選擇熟考而して決然服藥せらるべし、目睫に展開するものは貴下の健康と幸福なり。藥價六十錢、二圓、六圓、市內速達沿線代引直送

特約專賣店　大連市若狹町郵便局角　微笑堂藥房　電話二二二一〇番　振替大連二〇一一番　フィニイル

鑛業に關する總ての御相談に應じます

大連市兒玉町三　電話六五四四番　八丁鑛業所

家具・裝飾　敷物・漆器

大連市信濃町（市場表門前）　渡邊洋行　電話八八三七番

篠原劑

外用塗擦に　諸病傷の卓効藥　肺病ロクマク神經痛リユーマチスの方へ

あらゆる服藥や其他の療法も何等効能なき方は是非一度本劑をお試し下さい（株滿洲專賣店大連市聖德街四丁目電話九八七四）大黑屋藥店

花柳病豫防は殺菌力絕大なるセミスに限る

性藥　セミス

代理店　大連市浪速町一四五　ナニワ藥局　電話七三六六番

各地著名ノ藥店ニアリマス……

明るい陽光と暖かいセンター

家庭の春は先づセンターより

セメンタースートブ

代理店　大倉商事株式會社大連出張所

製造元　東京・大阪　山本最商店

大連市伊勢町　久保洋行　電話四三五三〇四三番

滿洲日報
十月廿六日發行
發行所 株式會社滿洲日報社

我軍は議定書に照し速に滿洲に增兵せよ
現在の駐兵數は極めて寡少
政友會視察員の報告

【東京二十六日發】政友會の滿洲視察特派員岡本一巳、宮崎一、篠原義政、斉藤三郎、佐藤洋之助氏等は鈴木總裁山口幹事長に詳細な報告書を提出したが、その内には特に增兵の急を主張し、禦として何分の手段を講ずるやう要望した、卽ち滿洲國治安の維持は遲延するを得ず、現に駐屯の皇軍は全力を傾倒して樂土建設の崇高なる方針に當りつゝありと雖も、嘗てソウエートが東支鐵道守備といふ單一目的にさへ五萬五千餘の兵を常駐せしめしに對照し我駐兵數は極めて寡少なり、顧みれば反滿軍は大部討伐したりと雖もなほ、北邊に蘇炳文、張殿九等の大集團あり彼等は蒙古を經て學良より武器を支給されつゝあり、滿鐵線委任管理線の守備と匪賊掃蕩には現在の駐兵を以つてしては徒らに犧牲多ければ速かに議定書に照し增兵すべきなり

帝國政府の意見書
吉田大使が廿八日携行

【東京二十六日發】リットン報告書に對する帝國政府の意見書は愈々廿八日の閣議に附し上奏御裁可を仰いだ上、同夜九時二十五分東京出發の吉田大使に附托ジュネーヴに携行せしめるが、右全文は理事會に提出と同時にジュネーヴで公表される筈であるが、外務省では意見書が英文で大型半紙八十四頁に亘る長文なものであるため特に一般の便宜を圖り簡明なる日本文に要領書を作成する筈

米支の對日態度最近漸やく好轉
荒木陸相の時局談

【東京二十六日發】荒木陸相は二十五日夜陸相官邸に於て左の時局談を爲した

豫算編成問題　明年度陸軍豫算編成については目下關係各方面の手によつて最後の決定を急いでゐるから一兩日中にはつきりした目鼻がつく筈だ、高橋藏相とはまだ纏つた話はしてゐないが大體の話はついてゐるし結局大した困難もなく問題は片つくのぢやないかと思つてゐる

滿洲里問題　この二、三日の情勢では大勢において和平解決の曙光が見えてゐるが、日本は飽に角和平解決を求める方針で、蘇炳文が歸順すれば滿洲國側に斡旋して今後の保障もしてやる考へだ、それでも蘇炳文が態度を改めぬ場合は斷乎膺懲するのみだ、然し目下蘇國の極めて友好的な斡旋もあり、問題は眞にデリケートな狀態となつてゐる

不可侵條約問題　要するにロシア側の誠意如何の問題で眞に誠意を以て提議し來るならば軍部としても決して交涉に應ずるに吝でない、ロシア側出先官憲たるトラヤノフスキー大使等の態度は眞劍なものがあるからこの問題は將來進展の可能性は充分あると見てゐる

對米對支問題　支那本土は各地に內亂勃發して前途遼かに逆睹し難きものがあるが最近の情勢では我國に對する態度は漸次好轉の形勢に在り先づ樂觀して良いものと考へる、アメリカ

事變後の滿洲視察
中井代議士談

政友會代議士中井一夫氏は皇軍慰問を兼ね滿洲國の現狀視察のため廿六日午前七時半入港はるびん丸にて來連したが、同氏は昭和三年衆議院議員滿支視察團一行に加はり張學良當時の滿洲施政を視察せる事あり、事變後の新國家の施政と比較調查し現在の善政を一々指摘して國家多事の際一般國民の輿論の喚起に努める筈であるが同氏は一方辯護士として大谷光瑞師に私淑し法律方面の相談に預つてゐるので、今回もさきに來連せる光瑞師と行動を共にし歸途は朝鮮雄基、淸津方面を經て朝鮮東海岸線を視察する豫定であると、氏は語る

特に用事とてないが國運を賭して承認せる滿洲國の全般的に亘る視察をなしまた近く通常議會に提出される陸海軍の莫大なる軍備豫算に對する豫備知識を得たいと思ひ旁々私は兵庫縣出身として奧地に活躍する鄕土軍を親しく慰問したいと思つてゐる、先年來滿せる時は學良時代の滿洲で當時の住民は治安紊亂はもとより重稅に重稅を課せられ頗る苦境にあつたもので新國家建設後の今日とは雲泥の差違あるものと思ふ、この點を充分調べて見たい、大谷光瑞師は滿洲で事業をやりたい意思は充分持つてゐられるし上海事變以來上海の土地を離れて大連を中心として、大連に土地を求め家を建て、永住の心もあるやうである、兎も角私は三週間來るだけ廣く深く視察したいと考へてゐる

松岡全權一行浦鹽出發

【浦鹽二十五日發】午前八時半當地に上陸した松岡全權一行は山口總領事等の見送りを受け元氣頗る旺盛で午後七時八分發烏蘇里線經由のモスクワ行列車で出發した

汪精衛香港出發

【香港二十五日發】七時フランス汽船で人目を避けて午後三時同

新規要求六億程度
大藏主計局の查定方針

【東京二十五日發】明年度豫算編成に關する大藏省主計局の查定は既に內務、農林、陸海軍、遞信、文部各省の分を終了し最も難關と目されてゐる軍事費、時局匡救費は大體査定の目鼻も立つた樣であるが、商工、司法、拓務、大藏、外務等の查定を殘してゐるので、今部の查定を終り大藏省議に附議されるは今月末或は來月初となるものと見られてゐるが、主計局では大體十三億圓餘の新規要求總額に對して滿洲事件費軍事費約三億七、八千萬圓、時局匡救費二億圓その他緊急已むを得ざる一般經費約二、三千萬圓合せて約六億圓程度に査定される見込みである但し今後爲替差損金、公債利拂等の豫算をも加へれば更に增加する見込みで主計局では來月初旬大藏省前に豫算閣議に附する目的で連日馬力をかけてゐる

年度陸軍新規要求事項事變費、兵備改善費…は財源難に際會して詳細說明を行つた…費豫算の取扱ひにつき軍部側と協議を續け…の一存において軍事…行ひ難きため今後の…相と陸、海軍大臣の…一任してゐる

軍事費は政治解決

【東京二十六日發】荒木陸相は二十六日午前九時半藏相官邸に高橋藏相を訪ひ、一時間半に亘り明

公債二億圓
來月中に發行

【東京二十六日發】公債六億七百萬圓の…は來月中に發行する…は軍部關係、農村…される筈でこの結果…フレーションは助長…られてゐる

不可侵條約は必要
外務省の意嚮を聽いて來る
けさ海路東上した川越首席隨員談

不可侵條約に關し日、滿、露間に新しき曙光の認められつゝある今日外務省よりの急電によつて上京する事となつた全權部首席隨員川越茂氏は廿六日出帆うらる丸で內地へ向つた、船中出發に際し語る

別に重要な用件があるわけではない、ありていにいへば全權部の仕事は全然今迄になかつた制度なのでその實行にあたり本省との間に色々打合事項がある、領事、總領事館を統轄する關係で本來からいふと時々上京しなければならないのだ、不可侵條約については別に考へてゐない、しかし一日も早くその種の協定の必要な事は解り切つた事で、これは中央が主としてやつて居る事だ、今度はむしろそちらから聞いてくる位だ、しかし聞かれては知つてゐる範圍を答へる何れにしても隨員といふ者を餘り高く買ひかぶらない方が可いだらう、掃匪事業も段々目鼻がつくと共に、滿洲各地に領事館或は分館を增設しなければならないとは當然のことだが結局經費の問題が先に立つ、歸滿期、わからない、半月になるか一ケ月になるか全然わからない急所々々を巧にかはしつゝ離滿した（寫眞は川越隨員）

日支問題と歐洲小國の態度
太田スペイン公使談

スペイン公使太田爲吉氏は二十五日午後一時來奉したが午後六時記者との會見において語る

特別の命令をうけて來た譯ではない、單に個人として滿洲國の實狀視察に來たのだ、滿洲國官吏とならぬか？大橋君がゐるから別にネ（と否認し）スペインの滿洲國承認問題については同國は共和政府になつてから憲法に外國との關係は國際聯盟によるといふ、いはゞ國際聯盟を支持した條文が制定してゐるために國際聯盟の總意にはその內容の如何は第二として服さねば國家が成立しないのだから、勢ひ我等が聞いてゐて不愉快なことは聯盟で代表らが述べるのは國情の然らしむるところで已むを得ないと思ふ、歐洲の小さい諸國はさうした立場に引ずられてゐる、しかもスペインは滿洲には何ら貿易上、政治上關係を有たぬから問題ではない、それに自分は四月同地を出發したのでその後の樣子は知らぬ、新京に

**全權部が移ることは新聞で見た、將來大使或は公使館を設けるか、とにかく滿洲國との交涉代表は置かねばならぬ、新聞には、武藤全權が代表となるさあり、それ以外には知らぬ、日滿通商航海條約の締結、並いて治外法權の撤廢問題も當然起る事であらう、本省としても色々研究してゐる樣子だつた、何分門外漢で詳しいことは分らぬ、滿洲に商務官を設ける事は必要だらうと思ふ、個人の意見としては商務官は未開地に駐在せしめる必要があらう

形勢は全く混沌
市議逐鹿戰白熱化

選戰はますく白熱化し神出鬼沒のエムデン戰法が用ひられ各…

滿鐵の新職制案は
來る廿八日最後決定
人事異動と共に來月上旬發表

港灣、鐵道に關し根本方針を協議
總督府との打合せを了へ
村上理事けふ歸任

朝鮮總督府と北鮮終端港、南滿線問題等に關し打合せを遂げ羅津、淸津、雄基の諸港を視察し更に天圖線、長城線を飛行機上から視察した八田滿鐵副總裁、村上理事、根橋技術局次長、…一行は廿六日午前…着したが、…

滿鐵重役會議定例制復活

石井參與官安奉線で歸京

人事

滿蒙の戰慄（137）
直木三十五作　淺枝次朗畫

大豆油說明に佐藤博士內地へ

旅順の豆腐屋夫婦拳銃で射殺さる
三女は頭部を撃たれ手當中
原因不明の謎の慘劇

秋深き平和郷の旅順に二十六日午前四時乃木町三丁目目抜の大通りで邦人夫婦の射殺事件が惹起された、然も

加害 者は某方面關係者で謎の殺人事件として市民に多大の衝動を與へてゐる、被害者は原籍長崎縣南高來郡有馬村白木野名一三三六番地、旅順市乃木町三丁目三の六ともゑ食堂隣家豆腐製造業植松繁（四八）同人内縁の妻ヨシノ（四九）三女サダ子（一四）の三名であるが植松夫婦は拳銃を以ていづれも胸部、腹部を貫通され即死し、サダ子は頭部へ一發射撃されたが即死に至らず、目下關東廳醫院に收容手當中である、加害者は某方面關係者杉尾弘と

斷定 され目下警察、憲兵隊協力の上搜査中である

事件の眞相に就ては全く不明であるが被害者植松方は現在二女ヤス子（一七）三女サダ子（一四）次男友三郎（一〇）四女美代子（八）の四名にて右のほか長男義男は現在撫順炭礦に勤務しまた二女ヤス子は旅順乃木町カフエーミハラシに女給を勤めてゐるので慘劇の際は植松夫婦と三女サダ子次男友三郎四女美代子の四名であつた

原因が痴情とすれば二女ヤス子（一七）か又は三女サダ子（一四）に絡るものと想像されるがヤス子は殆ど

歸宅 する事なくミハラシに宿泊しサダ子は未だ小學校高等科一年生であるため疑惑の點があり、しかしヤス子との關係とすればヤス子が通勤中と想像され不幸その身代りとなり兩親が射殺されたのではないかとも見られるが全然この點は不明である

四女美代子が語る處によると午前四時頃突然見馴れぬ〇〇服の男が表口から這入り來り母親に對し「泊めて呉れ、手紙を書いて呉れ……」と頼んでゐた内突然拳銃にて母親を射殺し銃聲に驚いて豆腐製造中の繁が室内に這入る際第二發目を發射され即死しつゞいて第三發目を三女サダ子に發射したまゝ裏口より料亭彌生横の小路を抜け逃走せるものでその際彌生こと神田鶴吉氏所有の鷄小屋屋上に〇〇靴一足とカンプラ油瓶が遺留してあつた（寫眞は慘劇の家）

兇行一時間前深夜三女を訪れる
夫婦で叱責したのを憤慨し外出し拳銃を入手

射殺の原因について當時店先にて豆腐製造中の支那人及び被害者サダ子よりの聽取りを綜合すると加害者とサダ子は數日前から懇意となり冗談から遂にキッスをするまでの仲となつてゐたが兇行當夜廿六日午後三時頃加害者は突然裏口から屋内に入りサダ子の就寝中のところへ來りて横臥してゐるのを母親のヨシノが見兼ねて叱責したので加害者との間に詫狀を書くとか金ですましてくれとか問答が交されてゐるのを店先にゐた父親がこれを耳にして座敷に上りこの樣を見て激怒のあまり加害者を足蹴にした模樣で加害者はそのまゝ外出し約三十分の後某所より拳銃を窃取し再び植松方を訪れ金二圓を差出したが談判不調に終つて遂に兇行を演じたものらしい、なほ被害者サダ子の身體に關し嚴密なる取調べを行つたが銃創以外に何等の異狀を認めなかつた

犯人搜査
大連から檢證

事件突發と共に旅順警察署では非番巡査の非常召集を行ひ又加害者關係機關でも總動員を行つて協力の上犯人の潜伏せんとする山野、宿屋を搜査中である、また大連地方法院檢察局より高井檢察官は書記を帶同同日午前十時被害者宅の實地檢證を行ふた

世界制覇の時代が必ず來る
レスリング日本代表選手の小谷、吉田兩氏歸る

晴れのオリムピック競技にレスリング選手として初出場し日東男子のため萬丈の氣を吐き惜敗した滿鐵の小谷澄之六段、關東廳吉田四一五段の兩氏は二十六日入港はるびん丸で歸連したが小谷六段は語る

日本としては二回目の出場だつたが自分達は初出場で三月半頃こちらを出てロサンゼルスでずつとレスリングの稽古をしてゐたのだ、學校を見たりレスリングを參觀したりして出場の準備をしてゐたが出場の結果は申譯けない敗け方をしたがしかし將來レスリングはたしかに日本が制覇する時期がくる、次のドイツかその次の日本で開催されるオリムピックでは必ず勝ち得る皆で七階級の選手が戰ふが二つ三つの選手權は大丈夫だ、自分は今度ミッドルクラス百七十四ポンドの重量階級で闘つたが柔道とは一寸樣子が違ふ力を用ふる方法は同じだが兩肩をつけると云ふ事を目的とするだけに一寸見當がつかない、まだ日本には組織立つてレスリングの研究機關がないが將來はそんなものが出來てドシ／＼研究さるべきだと思ふ今後は自分もその方に努力する、自分達は一行に遲れて二十二日に横濱に到着した【寫眞はハルビン丸で】

歡迎會を開く

滿鐵運動會並に柔道有段者會では二十六日午後六時より滿鐵社員倶樂部食堂に於いて小谷澄之吉田四一兩氏の歡迎會を催す由會費金二圓當日持參のこと

八ヶ年計畫
陸上聯盟の世界制覇

【東京二十六日發】全日本陸上競技聯盟では水上聯盟が統制ある練習の結果ロサンゼルスのオリムピック大會で壓倒的勝利を得たるに鑑み八年後の第十二回大會で覇權を獲得せんとの遠大な計畫の下に諸般の準備を進めてゐたが右八ヶ年計畫遂行に對し十九日常務理事會にて「オリムピックに對する方針」を決定二十五日發表これが實現を期することゝなつた

一、國内の各組織機關の統一を圖り一致協力の目的達成に努力すること
二、國際的に進出し各國の情勢を知り經驗を豐富にすること
三、競技の普及發達を圖り優秀選手を指導養成すること
四、優秀選手を集め講習會合宿等をなさしむること
五、外國の情報を集むるためコーチを海外に派遣すること

なほ實行方法としてオリムピック委員會を常置し從來の姑息手段を排し委員には各方面より人材を求め四ヶ年を任期として實踐に當らしめることになつた

王道政治輝き東邊道に新五色旗
喜び溢れる通化縣城

皇軍の掃匪と共に東邊道は忽ち治安をさまつて滿鮮の良民は滿洲國の王道政治に浴することゝなつたが、東邊道の心臟通化縣では滿洲國政府任命の新縣長蘇斯民氏が愈々王道政治を施すこととなり二十五日午前十時半より通化縣廳において榮ある新縣長就任式が行はれた、當日城街は各戶滿洲國旗を掲揚して滿鮮の良民街頭に溢れて嬉々として縣廳前に蝟集した、定刻服部將軍は司令部より縣廳に到り蘇縣長に「おめでたう」と祝意を表せば縣長首め新縣吏員は滿面に笑を湛へて喜ぶ、定刻服部將軍、關家隊長及び當日來縣したス、ポ二外人記者も列席式は始まつた、奏樂裡に滿洲國旗がスク／＼と纛頭にのぼれば日滿官民狂喜してこれを仰ぐ服部將軍を首め各來賓の祝辭あつて心からの喜びのうちに式は終つたが、これを以て大同の王政は東邊道隈なく行はれることゝなつた、二十六日には午前十時より縣民の縣政開始大祝賀會が催されたが會場の縣街東方芝居小舍に集つた會衆約六千、住民有志の熱烈なる新政謳歌の熱辯あつて直に旗行列にうつり六千の滿洲人老幼男女は手に手に滿洲國旗をふりかざして堂々市中を練り歩き王政を喜ぶ聲は街中にひゞきわたつた＝寫眞は縣長の滿洲國旗揭揚式＝【奉天電話】

けさ救出船急行
妙義丸の遭難現場へ

沈沒トロール船妙義丸に關しては各方面ともその悲慘な入報に驚愕してゐるが、當地代理店松丸幸三郎氏方へその後現場にある雄基丸の入報によると速かに救出用の船を出されたしとあつた松丸方では直に同氏所有第七島戶丸を現場に急派する事となり同船に廿六日午前十時、潜水夫六名、機械四臺、機關士四名、大工二名その他五十餘名乗組んで現場に向ひ濱町海岸を出發した、尚遭難現場は老鐵山西四分一南七十哩の地點で丁度東經百十九度四〇、北緯三八度廿五であると（寫眞は第七島戶丸の出發）

金州丸進水式

金州署は今日迄海岸警備用の所屬船が無いので不便を感じてゐたが今回金州管内滿洲國人の純眞な醵金四千圓でモーターボートをかねてより濱町造船所において建造中のところこの程竣工廿六日正午より濱町海岸において星署長、市川警務主任、曹會長その他有志立會のもとに華々しく進水式を擧行した、同船は金州丸と命名し金州海岸の警備にあてるものだと

遺産を繞り大家主お家騷動
未亡人が訴訟を提起

大家主として知られてゐる市内西公園町百三十五番地川村義郎氏の亡きあと遺産約二十萬圓をめぐり未亡人と義郎氏の弟妹との間に遺產爭ひが持ち上り、實弟川村爲三氏が去る十月二十日親族會議を招集、川村家相續人に妹川村いくさんを選定するの決議をなしたのに對し未亡人いわさんは米岡、師岡兩辯護士を代理に前記親族會議に列席した

大連西公園町一三五川村爲三▲同山口利忠▲沙河口霞町五八大津嘯侍▲鞍山赤城町二丁目川村のぶ▲奉天住吉町山口吉康

の五名を相手取り親族會議決議に對する不服の訴へを廿六日大連地方法院民事部に提起、血で血を洗ふお家騷動を遂に法廷に持ち出した、理由は

被告川村爲三氏は亡義郎氏の實弟であるが、兄の生存中不身持ちから常に精神的、物質的の損害を川村家に與へ遂ひに義郎氏は昭和六年三月五日爲三氏との義絶宣告をなした、それより五ヶ月を經た八月義郎氏は死亡したものである、故に爲三氏は民法上からいつても親族會々員たる資格なきに去る十月二十日會議を招集妹のぶを相續人に選定し然し會議に列席した親族中山口利忠は中途退席し山口吉康は決議に署名をしてゐないから結局相續人選定の決議は大津嘯侍と爲三兩氏によつて作成されたもので、法規上の效力なしと決議取消を要求し、さらに相續人に選定された義郎氏の妹のぶは戶籍上未だ川村家の者であるが既に鞍山の他家に嫁入してゐるもので現在川村家とは何等交渉なく、この弟妹兩者をして川村家を相續させることは故人の靈の許さゞるところであるといふにある

東京市電爭議に調停法の初適用
調停委員會設置命令

【東京二十六日發】東京市電爭議に關し警視廳當局は双方に無用の犧牲を避からしめるため双方に對し圓滿解決をすゝめ極力罷業の勃發を未然に防止する方針を採つたが廿四日電氣局より提唱せられたる共同委員會の設置は不成立に終りたるを以てこの儘放任せんか事態惡化の惧れあるを以て爭議の圓滿公正なる解決と罷業未然防止の方針に基き勞働爭議調停法第一條第一項に依り兩當事者側委員及び第三者たる委員を以て組織せらるゝ調停委員會を命令した、同時に藤沼總監は東京市對市電從業員の爭議に對し左の通知を發した

勞働爭議調停法第一條第一項により調停委員會を設置す但し時日場所は後に定む、追つて本通知書を受領したる時は双方第四條第一項により三日以内に調停委員三名を選定し届出らるべし

なほこの所謂强制調停法を適用するのは大正十五年制定以來始めての事である

瀋海線全通
貨物取扱は七日から

匪賊のため線路、橋梁を破壞された瀋海鐵道はわが討伐軍の保護の下に修理を急いだ結果二十五日二ヶ月ぶりに全線の開通を見るに到つたが近く奉天、吉林間の直通列車も運轉を復活する筈である【奉天電話】

瀋海線の復舊はその後いよ／＼進捗を見瀋河口以遠の匪害による不通個所も二十六日より瀋海本線は輝縣線まで、二十七日より西安支線全部の開通の見込が立ち旅客の取扱ひをなす運びとなつた、然し沙河驛約五百米の木橋は目下徒歩連絡の狀態にあり十一月七日ごろ木橋修理完成の筈で本支線の貨物取扱ひは從つて七日よりとなる豫定である

軍用犬協會の支部設置計畫

滿洲事變に偉大な功績をあげた軍用犬セパードの飼育家として知られた青島護羊犬倶樂部理事長津下信義氏は今回設立された帝國軍用犬協會理事に就任したが二十五日午後二時入港大連丸にて來連花屋ホテルに投宿した、氏は語る

セパードは軍用犬として今度の事變で實際にその價値を認められたが警察犬としてもつとこれを普及しその實績を收めたいと思つて來た、然かも去る十月二日陸軍省の認可を得て今度設立された帝國軍用犬協會の支部を是非大連に設置したいと考へ林警務局長等に献言勸告したい當地セパードクラブの人々とも折衝を試みる筈である

洋裝の女が劇藥自殺
星ヶ浦公園で

二十六日午前十一時頃星ヶ浦霞半島四阿東側松の木の下に年齡二十四五歳位の洋裝の女が打ち倒れてゐるのを附近散歩中の沙河口大正通り五石田昌方金子政吉が發見急報により沙河口署より熊谷司法主任竹澤警醫師外數名が現場に驅つけ直に同人を沙河口滿鐵病院分院に收容し應急手當を加へたるも多量の昇汞錠を嚥下して自殺を計つた模樣で生命は覺束ない

なほ現場には自殺に使用した昇汞錠の空瓶、ハンドバック、ノート一册があつたがノートには大連仲町六四倉田方牧信雄宛の遺書があり覺悟の自殺と見られてゐるも身元その他は同署に於て引續き調査中である

山本巡査遺骨
上海戰の勇士

旅順警察署巡査山本董吉氏は擾亂警備應援のため奉天に出張し同地一帶に亘る警備に當つてゐたが客月廿四日不幸赤痢に罹り病歿した同氏は海軍二等飛行兵曹として上海事變の際は航空隊に屬し單機操縦して大いに活躍した勇士で今回の病歿は頗る同僚間に惜しまれてゐる

同氏の遺骨は二十六日午前十時出帆うらる丸にて實兄山本將八氏に護られ三澤水上署長他各警察署長代理並に警察署員多數の見送りを受けて濕やかに歸國の途についた

二重放送の必要がある
小森氏視察談

日本放送協會常任理事小森七郎氏は同協會技師伊藤豐氏と共に先頃來滿して奉天、新京、ハルビン等滿洲の通信殊に無線通信に就いて視察してゐたが二十六日午前十時出帆うらる丸にて歸國の途についた小森氏は語る

ラヂオ放送に關しては奉天放送局のものを内地で中繼放送してゐるが最近は事變當時と變つてだれて來てゐるのでこの點相互に充分打合せて將來は晝間もよき材料をもつて交換放送をやりたい、當地方の放送は技術的にももつと改善する必要がある樣である、朝鮮京城放送局は來春より十キロの二重放送を開始するが滿洲も何れは滿洲人と邦人と互ひに滿足し得る二重放送の設備も必要とならう

元昭和洋行の南工場が全燒

二十六日午前八時三十分ごろ市内淺間町元昭和洋行南工場から出火し同工場を全燒、九時十分鎭火した、損害約三百圓

出火原因に就き大連署司法係小川部長以下實地檢證の結果蓄藏中のエーテルから引火したものらしく元昭和洋行支配人堀春三郎氏を證人として召喚取調べてゐる

二中軍敎查閲

大連第二中學校では二十六日午前八時半より同校々庭において關東軍より世良大佐、關東廳より栗林視學山本體育研究所主事その他工業一中大商鞍山の各配屬將校來校の上本年度軍事教練の査閲を行つた

黄塵社展覽會

伊藤順三、稻葉亨二、大野斯文、甲斐巳八郎、坂根實の五氏を同人とする黄塵社では第二回展覽會を廿七、八、九日の三日間三越で開催、日本畫、版畫、漆藝美術、家具を出品する

大連防長會 山口縣下高等女學校長の滿鮮視察團一行五名は廿五日朝北方より來連遼東ホテルに投宿したが大連防長會では廿七日午後六時半から遼東飯莊に於て一行の歡迎會を開く由出動希望者同會事務所（電話六〇一七番）迄申込まれたいと、尚は一行は駒田防府、小笠原柳井、有馬下關、脇本深川、奥田平生の各高等女學校長であると

天氣豫報　廿七日　西の風　晴

滿潮（午前八時十五分　午後八時四十分）
干潮（午前一時四十五分　午後二時二十分）

各地氣温　廿六日午前十一時

地名	氣温
大連	一九度
旅順	一七度
營口	一八度
奉天	一六度
長春	一四度

けふの小洋相場（正午）　金百圓は一二九圓九五錢

現狀を繼續すれば斷乎たる措置
滿洲里事件に對して　陸軍省聲明

【東京二十六日發】滿洲里事件に關し陸軍當局は二十五日夜談話の形式で聲明書を發表したが、その要旨左の如し

馬占山敗退以來興安嶺以西に蟠居して傍觀的態度をとつてゐた蘇炳文が客月下旬以來俄然反滿抗日的態度をとり、滿洲里、海拉爾附近で邦人を監禁した事件は、事苟しくも邦人生命の安危にかゝはるため我當局は愼重なる態度を以て之が解決を策してゐる次第である、關東軍は目下黑龍省中原の兵匪討伐を行ふと共に、蘇炳文に對し邦人救出事件解決交涉中二十二日滿洲里蘇國領事に對して婦女子と蘇炳文軍に抵抗せざりし男子滿洲國政府機關に參與しなかつた男子の退去を承諾して來た、元來彼の反滿行動の原因は黑龍江省政權問題で日滿に對する根本的叛氣で無いやうだが、彼にして依然自己の野心のため邦人の生命を犧牲にする態度を繼續せんか、斷乎たる措置をとらればならぬ最近蘇炳文は滿洲國の和平交涉に應ぜんとしてゐるやうだが、富拉爾基以西に駐屯する張殿九軍は依然反抗的態度を棄てず我富拉爾基枝隊は黑龍江省軍と協力目下土匪掃蕩に努めてゐる

農民に變裝し救援を求む
殊勳を樹てた江省軍　重大使命を果した張少佐

【ハルビン特電二十五日發】本月四日から二十一日まで半月の間、李海青、郭文、天照應らの聯合軍三千に包圍され四百の寡兵を以て最後まで防禦した江省軍第三旅、周作霖部隊はわが平松、種村兩部隊に救援され、賊を潰走せしめ殊勳を樹てた同司令部附少佐張新華氏は敵の重圍を脱し農民に變裝してわが軍との連絡をとり、二三回敵に捕はれたが、それにも屈せずハルビンとの間を往復し使命を全うしたので、軍部は一躍中尉から少佐に拔擢した、張氏は語る

本月三日反軍は大擧してわが軍の守備する肇東を攻擊して來たので衆寡敵せず、その西方四合屯で籠城した、敵は幾重にも包圍し迫擊砲を以て攻擊し、數箇所で激戰が行はれ、味方は死傷者續出した、そこで急をハルビンに報じ日本軍の援助を求めることゝなり、その使者に自分が選ばれたのでボロ／＼の百姓姿となり五日、安達に着き汽車でハルビンに來て宮崎少佐に會つて依賴した、當時平松、種村部隊は安達や滿溝を進擊中だつたので自分も同行し、道が惡い上に敵の攻擊が猛烈で捗どらず、漸く肇東を占領し二十一日周軍と合し敵を西方に潰走させた、この中月における江省軍の籠城は言葉に盡くせない困苦で毎日戰鬪が行はれて死傷者が殖える一方だし、食糧は全く盡き兵は飢え寒さに襲へ馬料も皆無となり人も馬も僅に雨水のたまつたのを呑んで露命をつないだ、青海青は十五日頃から自ら全軍を指揮して我軍を殲滅せんとし、味方は彈丸盡き最早や全滅の外なかつたところ二十日、日本の飛行機による報告筒が司令部構內に落された、日本軍の救援と聞いて全軍狂せんばかり喜び最後の勇を奮つた、敵は飛行機四機の爆擊をうけて忽ち總崩れとなり西方に潰走したが、その有樣は銃擊に愕くカラスのやうだつた、敵は種村部隊の追擊をうけた、また潰走し賊飛行機を懼れることは想像以上である、如何に大軍と雖も飛行機とタンクさへあればすぐ潰走させることが出來る、今後の討伐にはモット利用してほしい、北滿における反軍總數四萬と概算され、我々江省軍は轉戰また轉戰、滿洲國統一のため身命を賭して全力を盡してゐる

初等教員養成に教育研究所復活
滿鐵關東廳と協力

滿鐵の教育研究所は明年より教育專門學校附屬校の代償として復活することゝなつたが、これに關東廳も加つて兩者協力して全滿の初等學校教員の養成機關たらしめんとする議が起りつゝある、卽ち關東廳は七年度より師範學堂の研究科を廢止したが、この結果內地より來任した初等教員に滿洲の事情に適應した教育を施す機關を失ひ、廢止第一年で忽ち復活の必要を切實に感ずるに至つた、しかるに滿鐵が研究所を復活することになつたので、兩者いづれも一年制の養成機關を各別に持つことは無意義なりとの議が關東廳と滿鐵內に起り田邊、有賀の兩學務課長は屢々會見して意見を交換した結果、大體下打合せは成り近く具體案を作成することとなつた、かく州內外に對峙してゐた關東廳と滿鐵の兩教育機關が統一されることは將來の在滿教育の單一制に一步を進むるものとして注目されてゐる、右につき武部滿鐵地方部次長は語る

その意見は關東廳と滿鐵の間に起つて目下進行中であるが、現在のやうな情勢の下に兩者が同樣の機關を重複して持つことは無駄であるから協同してやることは喜ばしいことだと思つてゐる、しかし關東廳の方は豫算の關係があり、滿鐵の方はさきに重役會議で研究所復活は決したが、關東廳と協同することについては話を出してゐなかつたので、近く具體案を作成して改めて重役會議に附議するつもりである、從つてまだ新教育研究所を奉天におくか大連におくかそれとも旅順におくかは決定してゐない

全滿劍豪が州內外對抗試合
團體爭覇戰も擧行

滿洲劍友會では來る十一月二十三日午前九時より滿鐵大連道場に於いて第八回全滿三段以下有段者團體優勝刀爭覇戰並に全滿劍豪を網羅する關東州內對州外四段以上優勝刀爭覇戰を擧行することゝなつたが諸規定左の如し

◀申込期日　十一月十八日迄に滿鐵地方部學務課體育係氣付滿洲劍友會宛申込みのこと但し無賃乘車證入用の方は十一月十五日迄に申込みのこと
◀三段以下有段者爭覇戰は一團體正選手五名、補缺一名とし四段以上の州外對抗出場者は別に定む
◀團體試合は第一回戰より段順によらず隨意變更することを得
◀正選手補缺選手と交代する場合は再出場を許さず
◀團體試合は三本勝負とし一本を一點として點數の多きを勝ちとす、同點數の場合は代表者を出だして決勝せしむ但し優勝戰の場合は全部再戰せしめ尙同點の時は前項に依り決戰せしむ
◀參加團體多數の場合は東西兩分して行ふ

東邊道、賊影漸くまばら
一般民は擧つて日本軍に感謝
茂木隊桓仁に入り唐聚五軍を驅逐す

（關東軍發表）八道溝警備隊（帽兒山部隊）の伊藤中尉の指揮する部隊は數日前三岔子において徐達三の指揮する約五百の兵匪を攻擊しその百餘名を斃して西方に潰走せしめたが、同隊は二十一日白上洞において兵匪數百名の武裝解除をなし小銃七十六挺、彈藥千五百發を押收しなほ二十二日八道溝自衞團及び警務會に命じ徐達三が退却に當り林子道（八道溝東南二キロ）に殘留せし迫擊砲彈百九十一箱を八道溝に運搬せしめた

◇

永陵街守備隊は平頂山西北方約二里半の大北溝にある李春潤を捕捉するため廿二日永陵街を出發した

◇

在紅廟子の董枝隊の一部は平頂山東南約三里の釣魚臺にある多數匪賊討伐のため二十二日紅廟子を出發した

◇

中央地區一帶には今や匪賊の集團も無く密偵の報告に依れば永陵街西方二里の山中に匪賊約五百名侵入したが彼等は進退兩難の有樣である

◇

茂木部隊の報告に依れば桓仁は唐聚五侵入以來多數の不換紙幣により物資の徵發に遭ひ唐に對して甚だしい惡感を持つてゐる、桓仁一般民はなほ茂木部隊侵入當時は時恰も唐の命に依り物資徵發の最中であつたが之を驅逐したので人民は大いに喜び日本軍に對し衷心より感謝してゐる【奉天電話】

避難鮮農の送還開始
收容所は閉鎖

奉天省警務廳は東邊道の兵匪に追はれて避難し來つた鮮人のため臨時、人收容所を設け約三千二百名の鮮人を收容保護してゐたが現在同地方の兵匪も一掃され平靜に歸しつゝあると今まで放置してゐた稻刈入期切迫したので日滿關係當局協議の結果これ等鮮人を至急現住地に歸還せしむることゝなり、汽車賃及び辨當代を支給し送還を開始したが本月末までには全部の收容員を送還して收容所を閉鎖する筈である【奉天電話】

武裝を解除

東邊道楊樹河子附近において不服從の有ゆる匪團に對し數日前武裝解除を實施したが押收品左の如し
小銃五百挺、槍百七十二、洋砲九十三、拳銃二十二、小銃彈約四千發、人員千七百八十二名で內武裝者五百三十九、徒手千二百四十三【奉天電話】

邊防歸順申出

全滿各地の匪賊が續々歸順を申出でゝゐることは屢報の如くであるが牛莊にあつて專ら謹愼中であつた匪首邊防は代表者三名及び牛莊住民代表六名と共に二十二日海城縣公署に出頭し歸順を嘆願するところあり、縣長は歸順條件に觸れることなく主として目下の狀況を聽取したが彼等は學良の嘯官傳に乘ぜられたことを後悔し學良並びに幹部の背任行爲を永々しく述べた、縣長はなほ一層の謹愼を求めて一先づ歸還せしめた【奉天電話】

馮占海匪軍　續々逃亡
爆擊を恐れる

十月中旬以來熱河省內に侵入せんとして湯玉麟より阻止され更に奉天省城に入らんとしつゝあつた馮占海の匪軍は二十二日午後わが飛機の爆擊で多大の損害を受けたがその後密偵の報告に依れば彼等は冬服の準備も無く食糧、彈藥缺乏し士氣沮喪してゐる所に日本軍飛機の爆擊に遭ひ逃亡する者續出しつゝあると【奉天電話】

王道精神によつて暴利を取締る
全權部の新京移轉を期して　廣範圍に大彈壓

滿洲主要都市中特に新京における物價は最近著ろしく騰貴したため一般民衆の生活を脅威し王道の本位を沒却するのみならず首都の建設並に發展を阻害すること大なる事情にあるを以て關東廳、軍司令部、全權部及び滿洲國政府においてはこれが取締に關する法令その他必要の事項を研究中であつたが漸く成案を得たので近日中に最後の協議會を開き方針を決し全權部の新京移轉を期して暴利を貪る惡德漢に大彈壓を加へることとなつた、暴利取締の範圍は廣範に亙り單に商品のみならず土地、家屋の權利金、敷金、賃間貸、工事費、勞銀等にも及ぼす模樣である尙この取締の內容に就て聞くに物價に對しては公設市場を設置し標準値段を定めてこれで賣らしめ若し標準値段以上で賣つてゐるものあれば直に嚴罰に處し又家屋も調查した上、上、中、下の等級を定めその價格以上を越えたものは大體罰金二百圓拘留二十日間、營業停止を定めその最大處分を行ふ模樣である、元來これは王道樂土の本來に基いて斷行されるものであつてこの標準値段に直せばとにかくこれ以上の勝手な値段を以て賣つてゐるものには片端から處分するやうである、尙この取締りは單に新京ばかりでなく滿鐵各地にも及ぶことになつてゐる【奉天電話】

殉職巡查遺骨

討匪中殉職した關原警部補の故池田一二三、永田權太郞、風間勘藏三氏の遺骨は無事故鄕に送られて遺族の手に渡された旨二十六日關原警長より本社宛電報があつた

京城の博文寺落成、入佛式
きのふ盛大に擧行

【京城二十六日發】內鮮融合のため朝鮮統治の大恩人伊藤博文公廿四回忌を迎へて京城獎忠壇に建立された春畝山博文寺の落成式並に入佛式は廿六日午前十時より嚴肅に執行された、聖上陛下より各宮家より御下賜品あり內地より首相代理宇垣伯宮相代理湯淺宮內參事官拓相代理木村參與官其他名士參列朝鮮側宇垣總督今井田總監朴泳孝侯其他在城官民數百名一堂に會し歷代住職鈴木天山師の入佛に次いで今上陛下の聖壽を祈願し莊嚴裡に正午閉式それより祝宴に移り更に藤公の偉大なる足跡を偲ぶ記念展覽會講演會等があつた【寫眞は博文寺の本堂】

棉作可能地調查
農林課一步を進む

在滿の紡績業は從前支那官憲の壓迫と統稅關係其他のため支那側經營の奉天紡紗廠以外はいづれも採算とれず殆どサジを投げてゐたところ滿洲國の成立で事情一變、大いに曙光を認めた觀あり治安成ると共に激增すべき全滿の需要に應ずべくそれぞれ對策を講じてゐる

關東廳農林課に於ても此際滿洲國當事者滿鐵及軍特務部と協議從來輸入を仰ぎし棉花の栽培を獎勵し天津及印度棉の供給を受けずとも自給自足をなし得るやう全滿の耕作可能地の調查を開始する事となつた、聞くところによれば改良棉の栽培は北緯四十二度卽ち奉天以南二十萬町步在來棉ならば北緯四十四度（農安）以南百萬町步に比して之を現在の耕作高六萬町步に比すれば雲泥の差である、若し以上の地域に於て漸次栽培が進められれば當に現在の全滿消費高約五千五百萬斤中二千八百餘萬斤の輸入を防止し得るのみならず將來或は滿洲にも輸出し得るに至るものと看做されてゐる、但し右が實現するに於ては現在滿日本側紡績會社が棉花を日鮮兩國より供給を受けつゝある關係、在上海の日本紡績會社製品の滿洲輸入等のデリケートな關係等に多大の影響を及ぼすべきにつき滿洲の棉花政策は餘程の愼重審議を遂ぐる必要ありとし近く關東廳、滿鐵、滿洲國、軍特務部代表會合根本方策議定の筈だと

秋のエクランを飾る
映畫「敢然承認へ」
東京で封切上映さる　聯盟調查團映畫は歐米へ

【東京特電二十六日發】豫て滿鐵本社の撮影した滿洲國承認調印式の映畫「敢然承認へ」は謝特使の出發入京、松岡代表の寿府への出發等の好機を捉へ東京において封切りされたが既に東京朝日から五本、松竹キネマから十二本、日活から六本の注文を受け目下パラマウント、フォックス等からも交涉を受けつゝあるが、聯盟總會を控え日本の立場を表明する有利な資料として各方面から非常な注目を惹いてゐる、尙聯盟調查團フィルムは松岡代表出發の際パリ方面への分も數本撮行したが、十一月一日米國に出發するオレゴン大學生ファフ氏を首班とする日本學生團のためにも滿鐵から一本提供することになり中大牧山、明大山田、同志社須李君等一行がこれを攜帶米國の各大學その他に滿洲國の現狀を紹介することになつた

滿洲國體協奉天省支部

滿洲國體育協會は既に早く成立したが同協會奉天省支部はこの程設立され規定を發表する段取りとなつた、奉天省支部設立の目的は體育協會本部との聯絡、管內體育運動團體事業の補助振興、體育施設の獎勵、代表選手の派遣等であつて支部長には臧省長を、副支部長には教育廳長韋煥章氏をそれぞれ推戴しその他理事若干名、常務理事二名を置き、經費は政府の補助金、事業收入及び寄附金を以て充つることになつてゐる【奉天電話】

產業道路は明春着工
安東城子疃間

安東、城子疃間の產業道路工事は旣に施工準備に着手されたが、同方面の匪賊猖獗を極め危險多く且つ結氷も目近に迫つて來たので工事は明春着手することゝなつた【安東電話】

滿洲國航空會社旅客機着奉

滿洲國航空會社では豫て旅客機を中島製作所に注文中であつたが今回完成したので航空會社國枝飛行士が空輸することゝなり二十六日午前十一時半奉天飛行場に無事着陸した、この旅客機は新鋭六人乘で方向舵に滿洲國旗を描き機體兩端に國旗に因み五色の丸の新裝をこらしたもので速力一時間二百五十キロ乘用一時間百八十キロ貨物積載四百六十五斤である【奉天電話】

拉去夫人天津へ

人質生活四十餘日を送つたポーレー夫人は二十二日夜夫君ポーレー氏並に兩親フイリツプ夫妻に護られて突如來連、ヤマトホテルに靜かな日を過ごしてゐたが兩親夫妻に別れ二十五日午後出帆長平丸にて優しい夫君ポーレー氏に抱かれ二ケ月振りに天津の己が家庭を指して歸つて行つた

帝大勝つ

【東京二十五日發】帝立決勝戰は午後二時より帝大先攻にて開始五對三で帝大優勝す閉戰三時四十八分スコアー左の如し

立	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3
帝	0	3	0	0	0	1	0	1	0	5

愛媛縣視察團

愛媛縣參事會滿洲視察團長智直二郞氏外八名は二十五日入港照國丸にて來連遼東ホテルに投宿したが約三週間の豫定で滿洲各地を視察するさ

安樂椅子

市會議員の選擧は逐日激化して行く名乘りを上げた立候補者四十一名、何れも天晴れなる武者振りを見せてゐるがその內大內成美候補は現田中副議長と共に三期十二ケ年間市政に盡力した最古參者で今回の立候補が丁度四度目である。

◇

この間市參事會員、副議長を經現在は市會議長の要職にあり、淸濁併せ呑む政治家肌で法學士辯護士出身だけに法律を良くし市會の信望を一身に蒐めてゐるが今回の選擧だけは門下の熊谷上原兩氏を分家し立候補させたゝめ地盤と云ふ地盤が無くなつて頗る苦戰をつゞけてゐる。

◇

氏としては熊谷、上原兩氏を落したくない。勿論自分も當選したいと云ふ念願であるがこの意を充分酌んでゐる運動員達もまた「われ等の議長を落してならぬ」と骨身を削つて奮迅の活躍をつゞけてゐる。不斷事務所を覗くと「大內が落ち市民の一票で市會（四回）議員にキット成美ぞ」と貼り出し必勝を期し激勵し合つてゐる。

海と空と (9)

高杉晋一郎 作
橋本清史 畫

歸郷(九)

暢にとつて必要な話のきつかけもないまゝに午も過ぎて、三人は岬の亭でパンなどを攝つた。それから岬南へ灣曲して續いてゐる、砂濱の方へ降りて行つた。暢は、洋杖を突立て突立て、海の方ばかりを見て汀を進んだ。

渚の中には、海底へ据え附けられた鐵骨の飛込臺が、季節はずれの寂しい孤獨をさらしてゐた。

四五丁も白砂の續いた汀が黑石礁近くへかかる所まで來ると、殆ど人影もまばらだつた。暢は立止まつて、どつかりと砂の上に腰を下した。

砂地を歩んでついて來た二人もすつかり疲れてゐた。瑞枝は暢のすぐわきへハンケチを敷いた。

「疲れるわね」

珍しく慣れ／＼しい口調でさう云つて、敷いたハンケチの上べ、事實大分疲れたらしい腰の下し方をした。

暢は笑ひながら瑞枝の顔を見た。

「そんなに?」

「ええ」

その時、不思議にそこへぽかつと浮出したやうな瞬間の打ち解けが、暢の心を抱くやうに解きほぐした。

人間は生理的に疲れた時、人に打ち解け易いものらしかつた。

百合は、瑞枝の脇に坐つて、ぽかんとしてゐた。

「どうした百合」

と暢は笑つて云つた。

「ねむくなつたわ」

瑞枝はそれを聞くと、私もさうと相槌を打つて口の中で小さく欠伸を噛み殺した。

つい足許の二三間前まで波が寄せて來ては泡を嚙んで退いて行つた。三人とも足を六本並べて投げ出して海面を眺めた。

午後の陽は、何處と、續らずに海面一體へ細かいダイアモンドのやうな光輝をキラ／＼とちりばめてゐた。此の邊は少し海が深くなるので、水は青かつた。

流石に海岸には風があつた。瑞枝の後れ毛が風に吹かれて片側へなびいてゐた。暢は、一寸身體を傾ければ、頰へそれが觸れるやうな氣がした。

永い間の親しさが許されてゐた[illegible]に、友人的な交際としてはずつかり、挟つたものを微塵も感じない程に感情が自然だつたので、それだけ、改まつた話と云ふのがし難かつた。

暢としては、別に瑞枝との結婚そのものを危んでゐる譯ではなかつた。唯今迄漠然と親友を間にして親しくなつてゐた關係を、そのまゝにはつきりさせないでゐる事が他から結婚の話の湧いて來たりする此頃、不安だつた。つまり瑞枝も亦自分と結婚する氣を持つてゐる事さへ解ればよかつたのだ。然しその點になると、瑞枝の平生の態度からだけでは、どうしても解らなかつた。餘りにも憫感の無い親しさがあり過ぎたのだつた。

「あら船が行くわ」

百合が叫んだ、港を出たばかりらしい青島經由の上海行の船が、水平線上を緑島の陰へ東行してゐた。煙が長く尾を曳いて淡い白雲と混じつて消えて行つた。

暢は手先に觸れた小石を取つてぽつんと海へ投込みながら「此の間」と、何氣なく口を切り出した。

「ええ」

「僕に結婚の話があつたんですよ」

「ほう、誰方から?」

と瑞枝は水平線を眺めたまゝ靜かに云つた。暢は自嘲的な笑ひ方をして

「父の友人の娘なんですけれど」

その時、不意に後から、呼ぶものがゐた。

「暢君」

第十回 滿日特選碁戰

先番 五段 宮下秀洋
初段 坂口常治郎

—【13】—

柳壇

『力』 高橋月南選

山海關 鶴田蕭春
彌次馬も集つて選手力が得
同 上倉都一
女相撲力の足らぬ聲を出し
綱引きの應援隊の聲がかれ
同 松尾小女郎
腕角力妹けんめい泣いて勝ち
底力ほんさうに出して褒められる
鋼縮へ思はず力唄になり
普蘭店 坂井いさを
出し過ぎた力で敗ける宮相撲
大連 畑島忠雄
嬉れしさは孫の力で祖母は立ち
次男坊力自慢の腕を見せ
旅順 秀島柳蛙
病み上り火鉢をちつと持つて見る
ルンペンと思へぬ力だけはあり
大連 瞳子
美しきよそのマダムへ力拔け
母危篤立つに立たれぬ足力
奉天 高見不二夫
ルンペンの力捨場は腕角力
力だけ口をゆがめゝ腕相撲
大連 遠江槻江
村相撲紅一點に入る力
力を試して老の我を知り
瓦房店 川原清
低腦兒力ばかりで傭はれる
この力他人の米を搬んでる
三人目力あまつて土を喰ひ
大連 森崎佛心
死際の匪賊に飛行機威力見せ
宣傳の裏に他力に泣きを入れ
舌力も正義の劍にちさ怖え
普蘭店 河本登志緒
忍耐の力雅道踏み破り
聯盟に破邪顯正の力知れ
力んでも及ばぬ力が賦に知り
强いのにいゝか／＼さあしらはれ
ふんばつて開いた大戸の輕過ぎし
大連 淺田輝坊
逃げ仕度して小犬力み出し
食客は女世帶の用心棒
登り坂ダンスのやうなペダル踏み
周水子 玉木包山
腕角力ありたけの力顏に出し
皐軍の威力今更ら夢がさめ
奉天 前田自愁
子の角力見てゐる親が汗をかき
砂俵うんさ力んだ腕の瘤
山海關 田代よし夫
力戰も及ばず投手の男泣き
力一杯なくつた後の氣の毒さ
もう一息力んでと産婆腰をなで

新刊紹介

▲奉天商工月報(第三二五號) 滿洲事變後における奉天經濟界、滿洲の税關制度改正に就て、舊軍閥に對する債權問題、奉天に於ける本邦商標侵害狀況、滿支間の輸出入品課税方法改正、商會と火災保險、税捐局增設請願、中銀紙幣の信用、電業管理局設置、雜貨品製造增加、英巨商連の移轉、奉天重要商品市況(定價五十錢、發行所奉天加茂町三番地奉天商工會議所)

▲鵜祭(十月號) 定價四十錢、發行所東京市品川區東大崎四丁目二二二鵜祭發行所
▲新興時論(十月號) 定價五十錢、發行所東京市本鄕區湯島三組町八一番地新興時論社
▲前進(十月號) 定價二十錢、發行所東京市四谷區南寺町三前進社
▲新使命(十一月號) 定價三十錢、發行所東京市芝區白金三光町三〇八新使命社
▲事業と經濟(十月號) 定價五十錢、發行所東京市本鄕區三組町八十一事業と經濟社
▲輿論時代(十月號) 定價三十錢、發行所東京市小石川區丸山町二一番地輿論時代社
▲交通經濟(十月號) 定價三十錢、發行所東京市神田區錦町一ノ九交通經濟出版部

▲キング(十一月號) 連載物には青春無情(三上於菟吉)振分け小平(長谷川伸)シグナルは青だ(谷孫六)未來花(菊地寛)怪人セリコ(モーリス・ルブラン作保篠龍緒譯)龍造寺大助(神田伯山)薩摩飛脚(大佛次郎)短篇小說には首を呉れる男(菊地寛)教師の懺悔(正木不如丘)武士の誓(磯村野風)袋小路の人々(谷崎精二)寛永武道鑑(直木三十五)等連載物と共に面白く、その他「馬占山討滅を語る」として第一部は陸軍少將山内保次氏の「騎兵部隊の活動」第二部は陸軍少佐田中信男氏の「歩兵部隊の活動」があるが共に人跡未踏の地の進擊反將馬占山を殲すまでの皇軍苦心の奮戰記である、附錄は第一附錄に漫談家落語家道徳縮ばなしと第二附錄にオリンピック選手土産話の二つがある(定價五十錢、發行所東京大日本雄辯會講談社)

▲富士(十一月號) 特別讀切大長篇妖艶、凄艶鬼氣迫る美女の大復讐三上於菟吉氏作の妖艶飛鳥劍がある、その他讀物には曉を呼ぶ旗(野村愛正)熱帶巨獸地獄(小山莊一郎)秘書官大學生(田中純)文七元結(若林陶雍雄)三平君の結婚(大泉黑石)興安嶺下の女頭目(鹿澤縣)薔薇色の道(中村武羅夫)死の密約(保篠龍緒)晴雲(久米正雄)地に爪跡を殘すもの(佐々木邦)戸田新八郎(桃川若燕)きさらぎ九平(村上浪六)東京哀歌(加藤武雄)伊達事變(白井喬二)メダル寫眞(大音龍太)三十九代の文相に仕へて(佐原茂一)與太郎のO・K(藤野家圓樂)漫談學校「亭主科」(大辻司郎)辻斬奇談(霜田史光)その他眞山青果の傑作戯曲「續國定忠次」等を始めグラフに漫畫に種々趣向をこらしてゐる(定價五十錢、發行所同上)

▲入學考査問題集(昭和七年度版) 教育新聞社にて年々發行し非常の好評を博し來れるもの考査、試驗問題は全國の代表的中學校、女學校、中等程度實業諸學校、師範學校、遞信、鐵道講習所、陸軍幼年學校等各方面にわたりて蒐集され、特に本年分には新試みとして東京府立第一より第九までの九箇中學校の數學科問題と共に其の解答を附したることである、來年度の中等諸學校入學志望者の參考書、小學上級生の自學自習書として唯一のものである(定價一冊五十錢、送料六錢熊本市京町本丁稲本報徳舍發賣)

けふの放送 大連 JQAK

十月廿七日

▲午前六時ラヂオ體操
▲午後五時五十分、ニユース
▲講話「關東廳方面委員制度に就て」關東州勞働保護會長永井軍治
(以下内地中繼六時三十分)
▲能樂(北品川梅若能樂堂より中繼)「安達ヶ原黑頭急進の出」シテ梅若萬三郎、ワキ同萬佐世ワキツレ高山新一郎、大鼓齋田喜一郎、小鼓大倉宣利、太鼓南條秀治、笛宇津木寛、間佐伯素童、地謠(總章)梅若龜之、同武久、青木只一、山口直知
▲尺八(七時三十五分)「秋田すがとき」山口四郎
▲淸元(七時五十分)「隅田川」淨瑠璃淸元梅壽太夫、同梅太夫同同梅香太夫、三味線同梅次、上調子同梅助
(以下大連放送局より八時三十一分)
▲映畫物語「鵜の母」藤原愛
▲職業紹介事項
▲ニユース
▲氣象通報

滿洲日報

滿洲の獨立を取消し自主的に自治制採用

リ報告書と南京政府の意見書

【南京二十六日發】國民政府外交部は本日中央政治會議で決定したリツトン報告書に對する意見書と共に附帶訓電を在ジユネーヴ支那代表に訓電した

意見書大要

一、報告書第九章規定の諮問會議の組織に就き滿洲代表と日、支代表を同格とするに反對す
二、中央政府より分離し東三省に自治權を附與することは容認出來ぬ
三、東三省自治制は中央政府の管轄下に置いて過渡的に行はしめ獨立國家としての現滿洲國を取消すべし
四、將來容認さるべき滿洲自治政府は中央政府の自主的設立に係るべく且つ現存のほか地

認せざるを前提要件とす
七、報告書第九章の紛爭解決十條件は支那領土保全及び行政權獨立の原則を認むるに非ざればこれを承認し難し
八、日本の滿洲に於ける商租權、

鐵道敷設權に關する日支新協定は、日支條約協定計畫を根據としそれ以上の範圍は承認し得ず

附帶訓令

一、支那代表部は八ケ條の對策を原則とする意見書を作成し聯盟事務局に提出すべし
二、意見書は報告書と同時に討議の基礎たるべきを主張せよ
三、右意見書を異議又は修正要求の覺書とするかは代表部に一任す

張學良最後の秘策 奉天に密使派遣

影を薄め行く地盤

張學良は北支那における反張熱再び擡頭せるため自己の地盤擁護するため安福派一派を北平にまで引込んで日本との緩衝地帶たらしめんとする一方滿洲國に對する前提として某方面の諒解を得るため潜に連絡密使を奉天に派遣し來り總ゆる最後の秘術を盡しつゝあり、河北、察哈爾兩省の財政收入で手兵約十五萬の部下を養ふことには何等不充分を感じて居らぬやうである、但し學良の地盤は日一日と影をうすめてゆくので焦躁してゐる、なほ段祺瑞の起用により安福派の政權樹立運動は最後に實力ないため成功はむづかしいものと見られてゐる【奉天電話】

出淵大使來滿

けふ旅客機で

歸朝中の出淵大使はアメリカに歸任前滿洲事變來の實情を視察し執政、國務總理、滿洲國要人と會見事情を聞くため二十七日午後零時五分周水子着、左の日程により各地を視察することになつてゐる
二十七日午後三時滿鐵を訪問夜は總裁の宴二十八日午前旅順に赴き午後四時牛大連發奉天へ、同夜田中總領事代理のホテル一泊、同夜日滿官民招待の席に列し三十日午前執政、鄭孝胥氏の訪問、その他の豫定の晩餐宴、三十一日午後新京へ、七時五十分ヤマトホテル一泊、二十九日午前九時全權部事務所から省公署武殺氏、晝は全權事務所の招待、午後三時十五分九時大連着一泊、十一月一日飛行機にて周水子から歸京の豫定

出淵大使出發

【大阪二十六日發】滯阪中の出淵大使は二十六日午前九時四十七分木津川飛行場發旅客機で渡滿の途に就いた

岡田海相西下

【東京二十五日發】岡田海相は昭和七年度海軍演習觀察のため二十五日午後一時東京驛發西下した、二十六日和歌山にて軍艦足柄に坐乘二十七、八兩日演習觀察三十日午前九時歸京の豫定である

侍從武官長の後任

【東京廿五日發】奈良侍從武官長は明年四月で滿六十五歳の停年に達するので當然退職となるが、後任は臺灣軍司令官阿部中將又は航空本部長渡邊大將の中より任命を見る事とならう、なほ奈良大將は東宮武官長より現職に亘り十三年間側近に奉仕した

日露不可侵條約は未だ決定の要なし

我外務當局意見發表

【東京廿六日發】日露不可侵條約問題に就いては勞農政府側の提案に依り外務陸軍兩省に於て愼重研究中であるが外務當局は最近種々の臆測あるに就き廿六日非公式に左の如き意見を發表した
一、一般的日露不可侵條約は未だ決定の必要を認めぬ、特に第三インター問題に就いては更に研究の餘地がある
一、北滿國境地方に於て日本軍の匪賊討伐が行はれる場合勞農軍との不幸なる事件を醸さゞる爲め不侵略的軍事協定を結ぶことは不可ではないがこれは日蘇兩軍當局に協定せらるべきもので外交交渉に據るべきではない

支那向け撫順炭 輸入税を供託

外務省の交渉効なく 滿鐵に不利な落着

九月二十五日來、内外の視聽を集めてゐた撫順炭課税問題は、一箇月ぶりで滿鐵は不利な空氣の裡に解決を告げることゝなつた

二十五日午後、滿鐵上海事務所より本社に對し

有吉公使の意向は輸入税に相當する金額を供託せよとの事である

旨の電報が入つた、よつて滿鐵本社では谷川次長を中心に、さらに外事課なども加へて協議した後

滿鐵は問題の解決を一切外務省に委ねたる以上、外務省がその意向なればこれに從ふより他に方法なし

と一決、在社兩理事の決裁を得てその旨を上海事務所に打電した、かくてさしも紛糾した本問題も一應供託の形式で輸入税を納付することとなつて落着した

已むを得ない

條約に關聯の結果

供託の形式で納税することは先年の中メース供託の前例もあるので滿鐵は極力これを回避したが、しかも遂にこゝに至つた原因は左の二事

一、問題が單純なる商取引でなく條約と關聯ある外交問題であつた事
二、現在上海へ送りつゝある撫順炭は大部分電燈會社との契約品で期日までの引渡しを急ぐことゝ何らかの形式で輸入税を納めればオーバー・サイド・バー

ミットが得られず、折角上海まで輸送した石炭の引渡しが不可能となつた事

支那より見て滿洲は外國

撫順炭への關税增課は事實上の獨立承認

何故に日本外務省が撫順炭の輸入税供託を已むを得ずと決したか——滿鐵本社には有吉公使より直接の電報なきためその眞意はなほ不明だが、さきに同公使が來連せる際に洩らした言やまた外交關係者の意見を綜合すれば
日本は滿洲國承認の際の**日滿議定書において**支那が滿鐵の領土上に權利なきことを確認して居り從つて**滿洲に關する限り義務も免除されたものと見るべきである**故にその義務の一たる撫順煙臺炭に關する協定も効力を失つたものとして一メース賦課を強要する能はずといふにある、しかし支那が撫順炭を外炭扱ひして輸入税を課したことは如何なる解釋をするも滿洲を外國扱ひしたわけで、日本は今後あらゆる機會にこの點を舉げて**滿洲は支那自らが事實上承認した獨立國たること**を強調することにならう

滿鐵の打撃

輸入税納付の結果撫順炭、二十五日のレートで現在は一、牛メースと滿洲國輸出税を合せ三十五錢で濟んだものが輸入税二圓六十六錢滿洲國輸出税十四錢計一圓八十錢となり一圓四十五錢（四一四%）の增徴で滿鐵の打撃は甚大である

滿洲國の各地に領事館增設

外務省で豫算を計上

日滿兩國は通商貿易の促進上相互に領事館を設置することはほゞ決定し、外務省は來年度豫算に既に增設領事館の計上費を編成してゐるが赤峰、林西、承徳、錦州、臨江、通化、洮南、海龍、三姓、黑河等には領事館又は分館を設けるらしく右の内赤峰、通化、海龍、錦州は既に分館が設けられてあり或は地方の狀況により領事館に昇格する模樣である【奉天電話】

林滿鐵總裁 沿線初巡視を終る

社員は皆元氣で安心した……朗に語る旅の感想

十八日大連を出發した林滿鐵總裁河本、山崎、大淵各理事、西脇秘書役、有賀學務課長、宮田秘書係員の一行は沿線各地の軍隊、病院の慰問、滿鐵現業員の視察および慰問を無事に終り廿五日午後七時五十分大連着の列車で歸連したが驛頭には山西理事、羽田、田所兩次長等多數の出迎へがあつた、車中出迎への記者に林總裁は語る

◇…各地守備隊、警察、病院等を慰問し、軍部關係筋に日頃のお禮を述べ沿線各地では現業員に訓示と慰問の挨拶をなし、私および新任理事の紹介も無事に果すことが出來た、奉天では武藤全權以下各參謀にお會し、新京では執政とお會ひすることが出來た

◇…執政は席上王道主義の話をされたが國家創業の際には自分達の節約を第一として國民の幸福を增すことが王道主義だと述べられ、この執政府が狹いから新らしく建てゝやらうとの話はあつたけれども人民が苦しんでゐる時に新らしく自分の家を造ることは人民に相すまぬから斷つたといつてをられた、新京の招待晩餐會には日滿有力者殆んど全部が出席され自分達として非常に光榮に思つた

◇…遼陽は機關庫が移轉し公主嶺も最近在住人が激減したので在住日本人商人達は目前の生活難に迫られてをり各代表から陳情があつたが自分としても同情に堪へぬ

◇…總裁として初の巡視であつたが現業員諸君は皆んな元氣でゐてくれたので安心をした、私達の言葉を眞直ぐに受け入れてくれたし答辭にも總て誠心と誠意とが溢れてゐた、安奉線の小さい驛などでも匪賊に圍まれた形で魚釣にも行けぬ狀態にあるが何れも元氣一杯に働らいてゐる、なほ今一つ自分の嬉しかつたことは滿鐵現業員と軍との關係が圓滑に運んでゐることで事變以來特に驛員と軍隊とは密接となり軍も滿鐵社員の努力には感謝をしてをり多門師團長とお會ひした時もその話が出た

◇…匪賊は沿線各地にたくさんゐるらしいがこれから追々なくなるだらう

最後に總裁歸連と共に諸懸案が一氣に解決すると言はれますがと水を向けると

◇…職制改正も急いでゐるが主務省の承認が要るしおいそれとも行くまい、兎に角滿鐵の案自體が未だ出來てゐないから今度もそのことに就ては武藤長官とも何も話をしなかつた、二十六日には重役會議をやるが實際これから二十七日に來る出淵大使もあるし暫らく會議や何かで忙しいだらう

感激の旅

兩理事交々語る

總裁と同行した三理事のうち河本理事は大村部長と何等か打合せ中であつたが山崎、大淵兩理事は交々語る

總裁は中間驛でも列車の停る所は一々下車し、素通りの所は展望車に立つて現業員に挨拶をされたがその數は百回に近い、各驛とも驛員が出迎へ大抵の所は家族も總出で赤ん坊を背負つた婦人の姿も多かつたが何れも感激して送迎してゐたし、自分達も本當に感激の深い旅であつた

滿洲開發にはまづ鐵道を

大村監督部長來連談

關東軍交通監督部々長大村卓一氏は廿五日夜大連着鳩で來連したが驛頭には山西滿鐵理事、羽田、田所兩次長等多數の出迎へがあつた、大村氏は語る

就任後滿鐵

を訪問したことはなくこの際是非共滿鐵の各關係當務者および主腦部にお會ひし、その調査研究資料を見せて戴き、そのお考へや方針を充分に聞かないと自分としての計畫が立てられぬから先づそれ等を調べたり聞いたりしやうと思つてやつて來ただけだ、滿洲國交通部の森田氏も來てゐられるやうだが私とは全然關係はない、私としては今後鐵道、水運、航空、道路等交通全般の仕事をするわけだが交通機關の普及整備は

國運發展の

先驅となるものだから出來るだけ早く普及させねばならぬ、今これを鐵道に例へて見れば朝鮮はその面積の

割合から計算して日本の三分の一しか鐵道が敷かれてゐないが滿洲は土地から見てその朝鮮の五倍もあるに拘らず鐵道はその一倍半、即ち朝鮮の四千キロに對して滿洲は六千キロだ、だから滿洲の前途はなほ遼遠といふべきだがこれをやらねば滿洲の開發は出來ぬのだ、唯それを普及せしむるには知識、金、精神力等色々なものが必要となりそれをどうするかゞ問題なんだ、然し勿論鐵道や色々な

交通設備を

無暗と伸ばせば好いわけではない、それは先驅とはなり乍らも必然的にその土地の經濟的發展に伴ひ資本を投下し得る狀態およびその鐵道が賄ひ得ることを考へて敷設するべきであらう、交通監督部のスタフが作つたらどうか聞いてくれることもあるが自分で手鹽にかけてやる仕事ぢやないからその必要はなからう、廿九日朝大連發新京に歸る【寫眞は大連驛にて前列左端が大村部長】

滿洲視察

幣原博士來連

臺北帝大總長幣原坦氏夫妻は廿五日夜着鳩で來連したが總長は語る

京城帝大の開校式に參列しその歸り途に一寸道寄りしたまでだ

滿洲には十三、四年前に來たことがあるがその時から見れば實際非常な變り方だ、新京では執政にお會ひしたが非常におだやかなお方でさすが執政だと感銘した、王道主義の話も出た、大連は二十八日出帆の船で下關經由臺灣に歸る豫定【寫眞は幣原博士】

明年度豫算財源は公債に據るに決定

廿五日の閣議にて

【東京二十五日發】政府は本日の閣議で明年度豫算は增税によらず公債で支辨する事に決定した

陸相藏相の協議内容

【東京二十六日發】荒木陸相は二十六日午前十時官邸に藏相を訪ひ明年度豫算關係につき第一回の重要協議を遂げたが當日の會見では陸相より一般陸軍豫算新規要求額經常部五百八十萬圓臨時部一千三百萬圓合計一千八百八十萬圓につき詳細内容を説明し滿洲事變費、備改善費三億圓必要につき滿洲國承認後の國防關係兵器の改善等詳細説明軍事費豫算の説明を求めた、これに對し藏相は二十五日の閣議同樣豫算編成方針、國庫歳計の窮狀を述べ陸軍側の要求をその儘承認出來ない事情を述べて諒解を求めた、藏相としても滿洲事件費、警備改善費は時局の重大性に鑑み十分考慮し計數上の問題は小野寺經理局長と事務的折衝を進め更に陸相藏相の第二次會見となり結局政治的解決を遂げると觀らる

年末の通貨膨脹期待さる

【東京二十六日發】本年度豫算に屬する七億四百餘萬圓の新規公債中今日迄に發行されたるは滿洲事件費九千萬圓のみであつたが年末迄には軍事費時局匡救施設等のため十二月迄に約二億圓位發行されることゝなつた、尚大藏證券は一億五千萬圓の發行餘力あり年末には相當增發を見るであらうから年末には著るしい通貨膨脹が期待されてゐる

英國勞働黨首 ランズベリー

【ロンドン二十五日發】本日英國勞働黨は去る十八日辭職した同黨首アーサー・ヘンダーソン氏の後任選擧の結果同黨院内總理ヂョーヂ・ランズベリー氏が當選した

佛政府軍縮案

【パリ廿五日發】佛政府の軍縮案は來る廿八日國防最高會議にかけられることゝなつた同案は十一月一日開會のジユネーヴ一般軍縮會議に提出されること確實である

獨の帝政復活情勢否認

【ベルリン二十四日發】獨首相パーペン氏は二十四日ベルリン工業組合における演説中、最近擡頭したといはれるドイツの帝政復活熱を強く否認した

英警官吏に減俸

【ロンドン二十四日發】英政府は昨年夏の財政的危機に際し諸般の經費節約を斷行なし警官俸給を五分方削減したが第二次の減俸として十一月一日更に警官に對する減俸を實施する事となつた

謝專使昨日離京

盛んな見送りの裡に

【東京特電二十六日發】去る十八日入京以來榮譽ある國賓の待遇を受け連日の歡迎攻めの中に大任を果した滿洲國答禮使謝介石氏一行は、滯在一旬二十六日午前九時東京發超特急燕號で西下歸國の途に就いた、一行を送る東京驛頭は答禮使の我に與へた好感を反映して入京のそれに增して賑やかだつたホームには丹核明大生の一團を始め滿蒙協會、愛國聯盟、紅萬字社内田外相、永井拓相、林式部長官等萬歳歡呼の裡に「白雲なびく」の校歌起る中を退京した

謝專使放送

【東京二十六日發】横須賀軍港を見學して二十五日夕刻歸京した謝介石專使は滯京中の御禮と訣別の意を兼ね午後五時より帝國ホテル大食堂にてお茶の會を催し山本、小山、荒木、永井各相、一木宮相、林式部長官、鎌田榮吉、關直彦その他朝野の名士約百二十名參會盛會裡に午後六時終り七時半より謝專使は愛宕山よりマイクを通じて日本語を以て全國民に滯京中の謝意を謝し午後七時五十分新橋演舞場で寶塚歌劇團の「愛の花束」を興味深げに見物して九時ホテルに歸つた

民政大阪支部大會

【大阪二十六日發】民政黨大阪支部大會は若槻總裁を始め町田小川兩總務等本部幹部も來阪二十六日午後一時より中央公會堂で開催、滿洲在民政黨の金城湯池たけに會員五千名會合非常なる盛會を極め若槻總裁の演説後局部批判演説會を開き松田源治、小川郷太郎氏等熱辯を振ひ午後四時過ぎ散會した

日滿國民大交驩會

謝專使一行の來朝を機として一條實孝公を發起人總代とする「日滿國民大交驩會」は二十四日午後一時より日比谷公會堂において盛大に舉行された【寫眞は會場における滿洲國二代表○印謝專使、×印鮑代表代理】

社説 全權、軍司令部の新京移轉

帝國全權部及び關東軍司令部は今二十七日より三十一日の間に新京に移轉する。蓋し滿洲國建設され、首都を新京に置かれた時から、關東軍司令部の新京移轉は當然の歸結であつた。新國家と關東軍との關係が極めて密接してゐるのに、新京と奉天とに分れてゐては其不便はいふまでもなく、如何に交通機關を完備せしめても、到底執務上の不便不利を免かれず、爲めに施政上に圓滑を缺くこともあり得る。殊に關東軍司令官が帝國全權、關東長官を兼ねて、帝國の滿洲に於ける軍事、外交、行政の全部を統轄するに至りたる以上、而して更に日滿議定書によりて日滿關係が特別の親密を加へたる今日、軍司令部、全權部の新京移轉は最早一日も緩くすべからざる問題である。されば當局に於ても、大に移轉の準備を急ぎ、愈々其實現を見るに至つた次第である。

◇

滿洲國に於ける目下の緊急用務は治安維持にある。云ふまでもなく治安の維持が諸政の根基たるからである。思ふに滿洲國創立以來日尚淺く、地方の官民軍隊等の間に新國家創立の意義未だ徹底せず、之れに乘じて外間よりの攪亂的策動あり、匪賊の跳梁となりて、邊僻の地方に於ては人心の疑惧不安を生ずるのである。されば治安維持の爲めには、先づ匪賊の討伐を要し、同時に人心の疑惧不安を除かなければならぬのである。前者は軍事行動による可く、後者は政治の手段によらればならぬ。日滿議定書によれば、滿洲の安寧保持は日滿兩國の共同責任である。殊に其の爲めに日本帝國は軍隊を駐屯せしむることになつてゐる。

◇

隨つて匪賊の討伐には日滿軍の極めて密接なる共同動作を必要となし、同時に滿洲國の政治行動が之れに附隨せねばならぬ。此處に於て日滿兩國の交渉は密々切々、不可離不可分の關係を生じてゐる。而して今次の奉天省東邊道の匪賊討伐の例に見る如く、日滿兩國の軍事行動と政治行動とは極めて圓滿に、或は連鎖し、或は抱合して、其効能を十分に發揮してゐる。地方に於ける此實例は、中央に於て更に一層切實なる日滿兩國當局の接觸が必要にして有効なるを示すものである。隨つて從前兩者が新京、奉天に分れてゐた時の不便不利を察す可く、同時に今後全權部、軍司令部の新京移轉後に於ける便益は推するに難からぬ。

◇

以上例を匪賊討伐に取りて説いたけれども、此種の便益は最も匪賊討伐に限るわけではない。關東軍司令官が、外交權行政權を兼ね、行政の一部ではあるが滿洲では極めて重要な鐵道其他の交通權をも管理下に置くのであるから、滿洲國の全般に渉る内外政と、極めて密切な關係を有する。隨つて、軍司令部全權部の新京移轉は、滿洲國中央政府の全部全面との接觸を直接ならしめて、兩國共同の機能を發揮せしむるに遺憾なからしむるに相違ない。斯くて滿洲國の完成を促進せしむるを期し得る。是を以て、吾人は此の全權部軍司令部の移轉を以て、滿洲建國史に於ける劃期的重要事項の一に數ふるを躊躇しないものである。

奉天市と軍司令部の移轉

關東軍司令部が事變後奉天に置かれてから、奉天市民は司令部に親しむこと一年餘、今回その新京移轉につきては寂寞の感無しとしないであらう。併しながら國家の大策上眞に已むを得ない事たるを思はねばならぬ。奉天はもとより奉天として立つ可き多くの資格を持つ。吾人は此れを機として、奉天市民は更に、奉天省都としての奉天、滿洲の工商業中心地としての奉天等、別に大奉天市の創造に努力せんことを望む。

屆出締切を經て 戰線の再吟味
本腰になる各候補

大連市會議員の立候補屆出は二十五日午後四時を以て締切られたがその後一名の屆出も無かつたため いよいよ立候補者數は四十一名と決定、この出馬者がヘビーをかけて三十三の議席を爭ふ事となつた二十五日から夜にかけては作戰再び循環し表面堂々の正攻法に出づる者も中には立候補前に立ち返り武裝をカムフラージして暗中飛躍に全力を傾注する者あり、突然夜襲を企て、敵陣地を攪亂する者あり、潛行突進が特に目立つてその戰術は極めて眞劍味を帶び頗る尖銳化して來た、個人關係では志村候補が頻りにモーションをかけた國際運輸の結束つひに纏まらず形勢一轉してまたく苦戰に陷り三田候補は唯一無二の土建協會が二等分となり現業員組合が四等分になつたので同縣人に賴るべく兵庫縣人に縋つたがこれまた反響すくなく全く晏如たるを許されず、篤井、若月、矢野、上原各候補は相川候補の聖德街猛擊により幾分後退を餘儀なくされ今村候補は飛驒町、吉野町、松林町、常盤町の本據を熊谷候補のために斬り込まれ目下再度の逆襲を試む可く準備中である、田尻候補は熊本縣人會の得票漸次增加し形勢やゝ好轉したが石本候補は實弟權四郎氏の拉去事件で軍部との連絡もあり未だ歸連を許さず松田留守師團長一人頭を痛めながら「此上は市民多數の同情に訴へるより外方法がない」と血みどろとなつて孤軍奮鬪をつゞけてゐる、佐多、矢野、高塚三候補また樂觀を許さず田中(正)栗崎(金十郎は金次郎の誤り)兩候補もまた好轉を傳へられてゐない、市中側に當落のデマさかんに飛んで候補者達の神經を彌が上にもイラつかせ候補者達また優勢なりの評判をきけば「爲めにせん爲めの宣傳だ」と躍起になり「苦戰に喘ぐ」の噂をきけば選擧の妨害だと敦圉き選擧心理は實に千差萬別、只立看板のみが主人の喜悲を知らぬ氣に行人の目を惹いてゐる

事務所に當て小松要氏が選擧事務長であり江原六合氏が參謀長として奇策をめぐらしてゐる、同候補は元疊職であり今は立派な疊商として立つてゐるが自ら勞働者候補を以て任じ榮町を地盤とし疊商組合、疊職現業員組合にも陣營を張り、郷里の福岡縣人會に手を伸ばし且つ伏見臺方面に進出し遠く沙河口方面へも軍を進めてゐるが、矢張り苦戰組の一人として數へられてゐる、單純で仁俠に富み些かも惡い事の出來ない人らしく往訪の記者に對しても三、四名の事務員と共に元氣一杯で

私達は勞働階級であるが併し勞働階級だからつて市會議員になれないと云ふ理由はない、内地では勞働階級の思想が非常に進歩し市會にも縣會にも數多の同志を送つてゐる、大連市會にも我々勞働階級から議員を送つた方が却つて市政の圓滿が期せられ市民の福利が增進されると思ふ、國際都市が何うの、文化都市が何うのと論じてもその基礎となるべきものはやはり勞働階級だからね

と鼻息荒く語つてゐた

選擧事務分擔

大連市役所の選擧事務分擔は左の通り決定した

▲本會選擧長小川順之助、同代理岡野勇▲第一分會投票分會長眞鍋良助▲第二分會投票分會長柴田一勝

開票事務分擔

▲點檢係長眞鍋良助▲計算係長柴田一勝▲投票整理係長加納節雄▲記錄及取締係長眞鍋良助

目が光る 大連署緊張

市會議員逐鹿戰は投票期日を目前に控へていよいよ白熱化し奇襲逆襲と市中隨所に血みどろの激戰を演じつゝある關係から早くも選擧違反の風聞が立ち、戸別訪問、投票買收等の投書も大連署に舞ひ込んでゐるので、取締の總元締たる同署高等係では二十五日午後三時から末光高等主任以下特務一同講堂に集合、選擧取締に關する重要打合せを行ふところあつた

旅順市議戰線 表面は依然無變化

旅順市議戰線依然表面的變化なく陣地の堅固に全力を傾倒し極力敵の接近を防止し斥候尖兵は十重二十重に散開されてゐるが二十四日まで苦戰狀態にあつた佐藤民衛候補は某方面の奇襲頗る偉功を奏し急轉有利に展開を見せた模樣で萬一この情報が開票の結果實現するとせば舊市街よりの出馬候補者中の一名は非常なる大打擊を受ける狀況となるべく觀察される、磯田候補の戰況依然として進展せず今や死力を盡しての孤軍奮鬪振りである、尙旅順署高等係の違犯防止監視の目の光りは益々尖銳化し戰線の切迫に連れ一層の警戒網が擴張されその巧妙なる監視線は到底百戰の強者と雖も容易に突破する事が出來ない狀態である

戰塵を浴びつゝ事務所を巡りて 彼氏は快然語る

林田學氏

林田學候補は紀伊町に選擧事務所を置き滿洲新報支社長の本田康喜氏が參謀長であり現議員宮脇惠一氏が指導役でスポーツ關係に戰線を張り一面熊本縣人會、初等教育界、滿鐵學務課ならびに無產階級にて周到な作戰をめぐらしてゐる事務所にはスポーツ關係の若人達が熱心に押しかけてこの雪辱に燃ゆる林田候補を今度こそは落してならぬと意氣込んでゐるが概して票不足を告げ一般傳へられる處では苦戰組だと云はれてゐる、併し平沼貴族院議員の激勵電あり、推薦の人達も大いに感奮して三軍を激勵し大勢やゝ有利に導きつゝあるからこの勢ひを以て最後まで躍進する時は或は當選の榮冠を贏ち得るではないかと云はれてゐる、性豪放磊落、竹を割つたやうな典型的スポーツマンで近く言論戰にも乘り出すべく準備中であるが多忙な中に悲壯な決心を双頰に湛へて語る

立候補した所以のものは推薦者各位の御意見である「市政の淨化」「明るい市政」がモットーで從來の市會が動もすると私共の期待に反し暗影漂ふ如く見受けられるのでこの間に投じ私の持つてゐる武士道的精神即ちスポーツ精神に依つて幾らでも淨化したいと云ふ念願からである

田中正男君

田中正男候補は榮町の自宅を選擧 [illegible]

列國に送附する紹介册子の内容 滿洲國外交部で印刷

滿洲國外交部では諸外國政府官民に對して滿洲國の正しき認識を得せしむべく國内の諸事業を海外に紹介するパンフレットを印刷配布することになつたことは既報の如くであるが、これが第一歩として滿洲國獨立當時よりの各種の聲明書宣言を蒐集、英文パンフレットを作成、ジュネーヴは勿論、各列強關係方面に送附することになつた、右パンフレットは全部英文で二十七頁より成り滿洲國外交部出版第一集とし左の如き内容が盛られてゐる

一、東北行政委員會獨立宣言
二、滿洲國獨立聲明
三、列強の外務大臣に對する通牒
四、郵政接收命令
五、關税に關する聲明
六、滿洲國税關送金額及び關係事項についての通牒
七、滿洲税關送金額の聲明
八、日滿議定書
九、日滿議定書の調印に關する外交總長の聲明
十、關税改革に關する通牒【新京電話】

滿洲國貨幣鑄造 要人と打合せて來た 廣瀨大阪造幣局總務部長

豫て滿洲國貨幣の鑄造依賴を受けてゐる大藏省大阪造幣局ではそれが鑄造準備に着手してゐるが、同局總務部長廣瀨亞夫氏は陸路來滿し滿洲國要路の人々と打合せ中であつたが、廿六日午前十時出帆うらる丸にて急遽歸國の途についた氏を船中に訪へば

滿洲國政府から新貨幣の鑄造注文もあつたので、その事務的打合せに來たのであるが、その内容その他については今何ともお話しする事が出來ない、造幣局としては平常から一般からも依賴に應じてゐる事で滿洲國もよいお得意樣である、鑄造技術としても充分自慢し得るまでになつて居り昨年新工場の完成で製造能力は倍加し全能力を發揮すれば一日一萬個や [illegible] 氣である、然し新貨幣はその意匠を以てこれが印を作るまで相當の [illegible] るのでいつ頃出來上るか [illegible] ある

と多く語るをさけた

宣撫員の努力に各地部落民感謝 東邊道における實例

東邊道における宣撫員の努力と之が効果は屢報通りであるが、最近における一、二の例を擧げると左の如くである

一、各部落においては宣撫員の活動により久しく閉鎖されてゐた小學校が復活したが滿洲國教科書を希望するものが多い
二、わが軍において押收した匪賊の物資並に食糧品を宣撫員の手で附近の村民に救恤したが、村民は日本軍を救民軍と稱し感謝してゐる、宣撫員が村民を慰撫し日本軍の慈愛深きことを説明すると、民衆はよくわが軍の行動を理解し軍醫に治療を願出づるもの續出した
三、一般人民は宣傳文ポスター傳單を愛讀し自發的に知己親戚等に分配してゐる
四、飛行場設置作業に [illegible] も日增に增加し勞働 [illegible] 者が多い
五、わが軍駐屯附近の [illegible] その他物資の用達を [illegible] が多い【奉天電話】

東邊道の善後處置

奉天省公署は東邊道の善 [illegible] 關し鋭意研究中であるが
一、東邊道各縣長、警 [illegible] て匪賊に依つて被りた [illegible] 損失を調査せしむる [illegible]
二、被害地區の租税を [illegible]
三、警備軍隊の配置
四、歸順匪賊を自衛團 [illegible]

『滿洲はいらぬ』といふ『藍衣社』の正體解剖 (2)

上海特派員 日森虎雄

蔣介石が如何に「余の關知する所に非ず」と否認しても、今やそれを信ずる者一人もない、右黄埔同學校會の詰問にはその具體的事實まで擧げてゐる、又蔣介石氏が藍衣社の幹部郁以下優秀なる社員二百名を選拔し本場について直接ファッショの指導精神、組織、訓練を習得せしむべし、最近留學生としてイタリーに秘密派遣したことも一部には既に探知せられてゐる

× ×

ではファッショ團體の「藍衣社」なるもの、正體は果して如何なるものであらうか、之は筆者が某方面に手を廻し苦心探知せる藍衣社の内幕であるが、その大要は左の如くである

名稱 藍衣社とは對内的或は秘密的名稱で對外的或は公開的名稱は「救亡會」と呼ぶ

綱領 三民主義の基礎の上に立つて民主主義的形式を取消す、獨裁の新形式を以つて民權主義に替へ、全權を軍事最高首領に附す
首領の獨裁に委し中央執行委員會は信仰的態度を以つて之に服從す
全黨員は須らく國家的觀點に立ち一切を犧牲にするを要す、單一目標の下に有力有能の士を糾合す

政治綱領 國家の仇敵を報復し不平等條約を廢除す
一切の政黨を團結して中央政府を支持せしむ老弱の兵士を除隊し肘内官理を肅成す
農業を發展せしめ、田税を改良す
工業の發展を促進し勞資合作の精神を養成す
全國の財政を整理し制限經濟政策を確立し嚴格に豫算を規定す
國防を嚴重にし強制兵役制を制定す
生產主義の強制平民教育制を採用す
孫中山の三民主義を基礎とし憲法を建立す

入會資格 會員二人以上の紹介により首領の批准を經たるものを會員となす
會員は主義の爲めには自由、權利及び生命を犧牲にすることあり但し犧牲者は本黨の法謐を受け其の家族は本會の救恤を受く
本會は失業會員に對し二十元乃至三十元の補助をなす
本會に入會する者には入會證書を授與す
入會後は死亡に非ざる限り退會するを得ず

組織 本會の最高首領は恒久的に變ることなし
最高首領の下に左の五部を設く甲總務部、乙組織部、丙宣傳部、丁交通部、戊獎罰部
各地には省秘書處、縣秘書處、市秘書處、鄉秘書處を設く、秘書は中央より直接派遣し軍事、財政、外交事務を管掌す
各團體内には分部を設く學校、部(小中大學)農商團體辯護分部、醫師、新聞記者、交通勞働團體等々

内規 會員の動產不動產は所屬機關に報告登記す
會員は清廉自守、賄賂を受くべからず、アヘン、賭博、姦淫を嚴守す

罰則 自餘の政黨に加入し、黨内に小組織をなし本社に對して叛逆をなし本社の名譽を毀損し本社の秘密を洩す者は左の罰則に照して處分す

警告 會員資格剝奪、極刑

會費 會費は必ずしも一定せずその社會的地位等に照して徵收す

會員幹部 陳果夫、陳立夫、張群、何應欽、劉峙、程天枚、張道藩、楊公達、鄭悌、唐澤、桂永清、潘體強、桂心樹、顧順章(共產黨の裏切者)賀衷寒、揚虎、鄧文儀、蔣堅忍、杜月笙、宋子文、邵元冲、陳布雷、朱家驊、孔祥熙、穀載等々

× ×

前にも述べたる如く藍衣社の歷史は確と判明しないが、昨年蔣介石が汪兆銘と協力政府を組織した當時に始まるとの説が、諸説中最も信憑すべきやうである、協力政府の成立によつて蔣の政敵汪は行政院長の要職につ [illegible]

八相

投書歡迎 五十行以内 中傷はさらず

職業議員を排す 正義團員

◇我大連市會議員の選擧も一週間に切迫しましたが明年は博覽會も開催せられます故最も眞面目なる人格の高い人を選出したいものです。

◇代議士が世人の信用を失し、東京市會を始め各市各縣で種々の [illegible]

下級者の味方を 一職人

◇他の事なれば目上の方の成さる事だから何事も申上ませんが大連市に住居する間は我等が市會議員として總てを御依賴せねばならないのですから眞ケンに考へずには居れません。

◇大連劇場の演説會で無產とか無學とか云ふ言葉もありましたが私は議員中に半數位は無產無學でもよい、眞實に我々の下級民 [illegible]

支那人ボーイ 使ひ方の秘訣
經歷・本名・系累の判らぬ者は危險 主婦は愛より威嚴

滿洲にある日本人の家庭で何より重寶なのは支那人ボーイであり又最も使ひにくいのも支那人ボーイです、勿論それはボーイ個々の人柄にもよりませうが良いボーイにすることも惡いボーイにすることも、その主人たるもの丶使ひ方、仰し方の上手下手によることが尠くありません、永年大連に中國人職業紹介所並に家庭ボーイ養成所を經營してゐる竹田齊治氏に支那人ボーイ使ひ方の秘訣を伺ふことにしました

先 づ傭入れの際充分愼重に選擇し調査すること、信用ある保證人を立てること、出入の豆腐ニーヤや野菜ニーヤの紹介で經歷も本名も系累も少からないやうな支那人を雇入れるのは危險の極みです、年をとつて永年日本人の家庭に働いてゐた者なら卽座に役に立つ代りに自分の家庭の風に馴らすのが困難ですから仕事や言葉は多少不自由であつても十五六歲のなるべく無垢な素質のよい者を選んだ方が結局使ひ易くて永續します顏も人相の惡いのはいけませんが美しいのよりは寧ろ醜い位のが永續するやうです

勤 人の家庭ならばあまり氣が利かなくてもおとなしい落着きのある者、忙しい商店等でしたら多少立居振舞は粗暴でも機敏なものでなければなりますまい、家内に二人以上の支那人を傭ふ場合には必ずその鄕里を同じくすること例へば山東人のボーイの家なら今度傭入れるのも山東人でなければうまく折合ひません、女中を使つてゐる家に支那人のボーイを使ふ場合には主人兎角女中を可愛がりすぎて差別待遇をする爲にボーイの怨みを買ふ樣なことが有り勝ちですからなるべくは避けた方が安全です、さて一旦傭入れましたら支那人の通弊である嘘を云ふ、貪慾觀念の無い、盜癖等に心してごんなに馴れても氣を許さないで

金 や貴重品の在所を知らせない事、毎日の買物や月末の仕拂もなるべく家の者の手で金の出入をする事です、仕事を敎へ込む時には主婦又は家人が自ら手本を示して例へば机を拭くにも抽斗から隅までも綺麗に拭いて見せます、すべて最初が大切ですから少し面倒でも覺え込むまでは一々監督してやらせます、炊事、掃除、洗濯等何もかも一遍に敎へ込もうとすればどうしても不完全になりますからお掃除がほんたうに呑みこめたら洗濯それもすつかり手に入つたら炊事を敎へると一ふ風に一つづつ順次に敎へ込むのです、言葉は面倒でも命令する者の言葉と使用人から主人に對する言葉の二通りを最初から敎へ込むのです

支 那人を使ふには勿論溫情も必要ですが主婦等は寧ろ愛よりも威嚴を持つて接することです、ところが主人なり主婦なりが何か弱點があつてこの秘密をボーイに握られたりするとこれを種にゆすられたりする事がありますから決して秘密を開かしてはなりません日本人の女中や書生等に對しては隨分體面を重んずる人達でも支那人ボーイの前となると氣を許して甚だしい不體裁や痴話痴態を演ずることがありますがこれがやがてはボーイの尊敬を失ひ引いては犯罪の誘因となる事も尠くありません、給料は餘分にやる必要はありませんがはじめ二三圓で傭入れたボーイでも相當言葉が判り家事にも馴れたら思ひ切つて

給 料を上げてやらないと恩義に感ずる氣持など微塵もないボーイですから直給料のよいところへ行つてしまひます、これは支那人でなければわからない事ですがいつも熱い食物を食べる習慣のついてゐる彼等には冷飯を食べさせられるのが何より辛いといひますから冷飯でも熱くして食べさせるやう、又一體に大食に出來てゐますからおかずは拙くても御飯だけは充分澤山與へるやうこれも彼等を居つかせる一秘訣です

子に對する言葉

▼……母親は子供に對して、常に言葉に注意してほしいと思ひます、殊に子供を叱る時には餘程その言葉に注意を拂ふことが必要です

▼……例へば子供が何か惡いことをした時、こんな叱り方をする母親をよく見受けはしないでせうか

「そんな惡いことをするとお母さんが世間から笑はれるからよしておくれ……」

然しこれは理窟です、子供にこんな理窟は少し無理でせう、それよりも、もつと輕く

「あなたが立派な、偉い人にならうと思ふのなら、こんな惡いことをしては駄目ですよ」

と、こう敎へた方が子供に理解できていゝと思ひます

▼……それに子供の頭は、親の知らない間にぐんぐん成長して行くものですから、若し母親が、自分勝手な理窟をつけて叱るやう時には、子供ながらに、お母樣の考へ方は自分勝手だ、私のために注意してくれてゐるのではない……等といつた意味の、小さな反抗心を起さないとは限りません

▼……子供の柔かい芽は、すなほに伸び伸んと育てゝ行くのが本當です、親の無意識の言葉の中に子供の純な心をゆがめるものあることを思へば、めつたなことは言へません、世の母親は常に自重し反省して正しい言葉を使はればなりません

これから増える 丹・毒・患・者
腦膜炎や腹膜炎を犯されゝば大ていは助からない

四季を通じて丹毒患者の絕える時はありませんが、丹毒患者が最も多く出るのは冬です、丹毒は大人よりも皮膚の抵抗力の少い五歲以下の子供の方が罹る率は多いのです。

丹毒は 飛火とか、蚊や南京虫などに刺された傷があり水虫などの皮膚病に罹つてなればそこから侵入しますたとへ皮膚に傷口がなくても肉眼で見えぬ傷口から入ることもあります、この他白毛染のかぶれから又フケをひごくとつた後の傷から、鼻中を爪で引搔いた傷口、或は耳を搔いて作つた傷口から菌がたやすく侵入して病氣を起すことが非常に多いのです、又中耳炎を患ひ膿が出るときその膿に交つて發する場合もあり、生れて間もない赤ん坊の臍から入菌することもあります、その菌が入りますと今まで元氣だつたものが急に

寒む氣 を催して三十九度から四十度の熱を出し局部が紅くなります、大抵の家庭ではおできが出來た位に放つておかれ勝です、これに罹つてもすぐに氣づき注射をしますと二、三日で下熱し一週間もしますと元氣になりますが手當が遲れると全治に長い間かゝり、しかも危險狀態に陷ることも珍らしくありません、丹毒は醫者でも一寸油斷しますと見落す場合があるので以上のやうに元氣がなくなり寒む氣を催し高い熱が出て、どこかに紅くなつたのを見たら丹毒と見て大抵間違ひありません。

それに 足に出來て居れば腿の付根の淋巴腺が腫れ、手に出來て居れば腋下、顏であれば耳の下、顎であれば顎下の淋巴腺といつた風に各部の淋巴腺が腫れしかも痛みを覺えます、手遲れしますと次第に菌は體內に進行して行き毒素によつて遂に心臟を犯されて斃れることもあります、この菌によつて腦膜炎、腹膜炎、腎臟炎を起すことがありますが、腦膜炎や腹膜炎を犯された場合は大抵助かる見込はありません、これは絕體安靜が必要で自宅療法などはよくありません、子供が手、足を傷つけた場合は沃度幾を塗つてやり氷をかけないやうに繃帶でゞも結んでやつたら比較的安全です（尾形一郎博士談）

家庭顧問
月のもの丶苦痛をうつたへる十七歲の少女

【問】十七歲の少女でございますがはじめて月のものを見ましてからずつと月經時毎に下腹部がキリでもまれるやうな痛みを感じます、夏よりも冬の方が痛みがはげしくいつも多少吐氣を伴ひます、また終つた後はきまつて腰すれがして思ふやうに運動が出來ず困ります、なるべくなら家でなほしたいと思ひますが何がよい療法はないものでせうか（市內一少女）

家庭における自分での手當は先づ困難でせう　岩男其一郎

【答】家庭で御自分で手當は先づ困難でせう、第一原因が不明です月經痛の原因は種々ありますが

（1）器械性月經困難＝先天性又は後天性に特別に子宮口又は外口が狹くなつて經血の通過を妨げ子宮筋が强く收縮するために起るもの其他强度の前屈、後屈頸管等のポリープ（茸）ある場合

（2）炎症性月經困難＝子宮及附屬器の炎症變化に起因するもの

（3）卵巢性月經困難＝卵巢の炎症又は腫瘍に因るもの・

（4）官能又は神經性月經困難＝解剖的變化なく神經質の婦人に來るもの

（5）子宮の發育不全

（6）鼻性月經困難

等々ですから先づ專門醫によつて原因をきわめ治療方針を決定する必要があります

家庭で 簡單に出來る 火なし焜爐
煮えこぼれも焦つきもせず 大變便利で經濟的

▼▼…火無し「コンロ」…文字通り火がなくて吹き出しも、煮えこぼれも、こげつきもしないでごんなものでも芯まで軟かく煮えるといふそれは何處の主婦でも欲しくてたまらない臺所用品の一つですが、本式の火なし「コンロ」はとてもお高くて普通の家庭では一寸手が出せません。此處でお知らせするのはその高價のものではなく御器用の方ならご自分で出來る家具屋に誂へて揃へましても僅かで出來上る。又は何か恰好の廢物を利用なすつてもよい、そんな略式の極簡單なものなのです

▼▼…先づ成るべく厚い木で鍋がとつぷり入る箱を一つ造へますさし渡し七寸の鍋でしたら一尺四方位の箱に餘裕をつけてつくります。高さは一尺少し高すぎでもかまひません。箱よりも更に厚い木できちんと出來る蓋を造り＝この蓋がきちんと出來て空氣が中に入らないのが秘訣なのであります、底に粉糠を二三寸敷つめます、又はその代りに箱の面積よりも少し大きい木綿の袋をつくり粉糠を七分目程入れたのを敷いてもよろしい、別に鍋をつゝむために綿フランに薄綿を入れた蒲團を一枚と、底に敷いたやうな粉糠の小さい座蒲團を一枚造つて置きます

▼▼…さてお鍋は煮物の仕度をして一旦火にかけます。そして沸騰點にまでいつた時、急いで鍋を下して手早く[illegible]置きますさ、鍋は沸騰點のまゝいつ迄も保つて凡そ中のものは何でもすつかり軟かくなつてしまふのです、お野菜でも煮豆でも鰈、五分か十分火にかけただけで、かうし置きますと、一日外出して夕方歸つてゐらつしやる方でも安心して暖かいおいしいお料理が知らぬ間に出來てゐるといつた重寶さです

▼▼…その他、お安い肉は大抵固くて惡いところですが、かうして煮てゐますとされもいつの間にか軟かくなつてゐて、噴きこぼれることがありませんから養分も損をしません。又溫度が一定を越しませんから、品物によつてはヴイタミンの破壞をまぬかれ、澱粉の膠質化を防ぐなど榮養の方から見ても經濟の點が少くありません

滿洲婦人歌壇
大野晴子

○ 夕ぐれの池の邊にたたづみて投ぐる小石の音の靜けさ

○ 西空に落つる陽を待ち外出せり浪速通りの人出は多し

○ 木下蔭にそよ風待ちてたたずめり湯上り後の心はかろし

○ おそろしき夢にめざめる眞夜中の玻璃戶にうつる木の影くろき

○ 夕陽浴びて畑に鍬うつ支那人の我が行く汽車を立ちて眺むる

婦人方の福音
赤ちやんから小學生までの和服、洋服、編物、手藝等子供もの一切の作り方仕立方を深切な圖解入りで發表した婦人俱樂部十一月號の別冊附錄は到る處大評判です

家庭重寶記
溫濕布に御飯

下痢などをしてお腹を溫めて置かなければならない場合に普通カイロやこんにやく等を使用致しますが、さういふものと比べ物にならないほど工合のいゝのは炊き立ての御飯です、それを手拭に四五分の厚さに平にのばして包み患部にあてます、他の物と違つて柔かいので肌にぴつたりと當りどういふ形にでも患部の形通りになります上に熱さが長持ちがしてしんから溫まります、ふかし返しをすれば幾度でも用ひられます、但し新らしい炊き立ての物の方が效果は一層のやうです

(27)

サキニイッタ ボンコガ ヨビマシタ。

「ドレドレ」

「ミツタン コツチニモ ヤノシルシガ アリマスヨ」

クロイヤハ マルイ イタヲ サシテイマス。

「ボンコ ソレハ ナンダイ」

「サッパリ ワカリマセン」

ナンダカワカラナイジガ カイテアリマス。

「イトユージダケシカ ワカラナイ」

「ワカリマセンカ ミツタンニモ」

タカラノシマノチズヲ ヒロゲテミマシタ。

「アル アル イトユージガアル」

速に迷夢を覺し 滿洲國に忠誠なれ

反滿態度の旅長樸炳珊に送った 松木中將の警告書

【チチハル】嘗て反滿洲國の色彩ありと噂され、その態度を注視されてゐた拜泉の滿洲國軍旅長樸炳珊に對し、我が松木中將は此程左の如き警告書を送ってその反省を促した【寫眞は樸炳珊】

旅長樸炳珊に警告するの書

畏くも大日本國天皇陛下の尊命を奉じて、我師團は專ら北滿黑龍江省警備の任に在りて治安の責を守り、先に逆賊馬占山の軍を破り治安を破壞せる巨魁を剿滅し、又今回江省駐在の任を受けては最初に昂々溪附近に在りては李海靑の軍匪を殲滅し、更に富拉爾基附近に在りては一擊逆將張殿九軍の先鋒を退けたり、茲に於てか彼等は皆皇軍の

勇猛 に驚き遁走して又皇軍に抗する者なし、然して目下安達方面に蟠居せる鄒文天照應李海靑の殘黨の如きに至つては日ならずして滅亡の外なかるべし次に黑龍江省に在りて徒らに反滿反日の態度に出で居に安んじ業を樂しむ所の良民を害せんとする者に對しては我軍は將に一大鐵槌を下さんとす。近來路上に之を聞く、貴旅長反滿の態度ありと、思ふに貴旅長は初め我

友軍 たり、嘗ては呼海鐵道沿線に移駐して民を安んじ交通を守るの責に任じたり、今に至つてこの種の風聞を聞く、元より一種の諸言衆を惑はすもの、信を置くに足る可きなし、然も目下は通信機關均しく杜絶して其眞僞虛實を究明し、實否何れに屬するやを決すべきなし、江省目下の大勢を熟思すれば眼前の小策に眩惑され或は反動者の宣傳に惑はされ、敢て反逆の擧動に出づるが如きは是卽ち愚儒大局に通ぜず、且つ良民をして累を蒙らしめ又自ら

滅亡 を目前に招く者と云ふべし、願はくば貴旅長、猛省反覆、速かに迷夢を覺醒し、滿洲國に對して忠貞を勵み有終の美を納められん事を

又特に日本の武官下枝少佐をして護送して緊急海倫の日本軍に到り彼をして連絡の任務に當らしめんとす、若し我が言を聞かずして彼を慘殺する如き事あらば我軍は直に討伐の軍を起こして之に迫り、我空軍は友軍と共に協力一致

猛擊 を開始し、眞先に拜泉賊を轟擊灰燼に歸せしむるあるのみ、而して既に已に其準備は整へられたり

今此警告を發するに當り、須らく最善の方法を擇んで誤る所なからんことを望む、而して卿の回答の速かに龍江駐在の日本軍司令部に到達せんことを期す、卿よ決して誤る事勿れ

龍江日本軍　松木中將

北滿掃匪狀況

敵匪重圍の中から 滿洲國軍司令救出

【チチハル二十一日松木○○○○部發表】平松部隊は二十日軍圍に陷つてゐた江省軍第一支隊（司令周作霖）を完全に救援して目下敵匪を追擊中である、敵は安達の南方遠く肇州方面に向つて遁走した、尙第一支隊は本月上旬以來四合屯附近（安達站南方約十里）に於て天照應、鄒文及李海靑匪に包圍せられ乍ら、頑として降伏勸告を退け孤軍奮鬪を續けて居たが、皇軍の神速機敏なる進擊によつて遂に敵の重圍の內より救出されたもので、平松、周兩將軍が戰ひ勝つての後に於ける

感激の握手 は感極まつて劇的シーンを見せた、黑龍溝右岸には砲を有する有力なる匪賊が陣地を占領し、鐵橋を燒却し列車を襲擊するので克山警備隊より一部出動して二十日之を擊攘した、十月十九日寧年站附近に於ける戰鬪に戰場に遺棄せる敵の屍體は約五十、その內に東北民衆自衛軍騎兵第一支隊第一團第二連長上尉王華延以下數名の敵將校があつた、二十一日午前五時頃天未だ明けず陣頭の敵は包圍かなる折柄、突如として一齊射擊の銃聲と共に

無數の敵匪 は克山市街に突貫し來り齊克線占領を企てた、我克山守備隊は豫ての計畫に基き、極めて迅速に且つ極めて密接なる步砲の協同の下に東西兩方面より猛烈に敵匪を挾擊して之を北方に潰走せしめ三時間餘に亘る猛烈なる追擊を終つて午前八時三十分克山に歸還した、敵は東北救國第一旅及第八旅と僞稱するものにして戰場に遺棄せし死體實に二百を算す、我損害戰死兵一、輕傷兵二、滿溝より安達に入つて平田支隊と交替警備の任についた稻田支隊は直に種々の情報を綜合して、敵匪賊の主力は東南肇州、肇東方面に於て何事かを劃策し

皇軍の隙を 見ては東支鐵道西部線をオビヤカさんとするもの如くなるを知り、疾風迅雷耳を覆ふに遑なき勢ひを以て敵の主力を殲滅せんと、十八日安達を發して一瀉千里肇東に向つて猛進擊を開始したが、敵は早くも之を知り遠く南方に逃れて片影を認めず、十九日皇軍は何等敵の抵抗を受くる事なく肇東に入城日章旗を高く城頭に飜へした

筑前琵琶 潰滅

關東軍參謀 臼田少佐作

【奉天】滿洲事變以來關東軍司令部第二課の中樞にあり一ケ年餘、連日執務に忙殺されてゐる臼田少佐は嚢に北滿の嵐と題する筑前琵琶を發表して皇軍の滿洲における雄々しき半面を琵琶に依り我同胞に知らしめ武と文の人として各方面から賞讃されたが、茲に又叛將馬占山討伐に參加した高崎騎兵隊の田中大隊が苦戰北滿の曠野を行く悽慘なものして潰滅と題する琵琶を作詩漸く上梓するに至つたが、小磯參謀長は非常に感激し賞讃の辭を與へ、武藤司令官は親しく執筆して題字を寄せた程である

臼田少佐は右につき

日本では滿洲事變來皇軍の實狀を歌詩にものしたものは多いが何分實際をみた上での作は少く隔靴搔痒の感あり、この點については自分は軍に從つてゐる關係上、作詩はどうかは知らぬが、少くとも實情はうつしてゐるつもりである、武藤司令官の題字を得たことは光榮であつた

なほ潰滅の作曲には東京の豐田旭穰に依賴された、豐田氏は日本における有名なる作曲家であり、琵琶の舞踊すら新工夫した人である【寫眞は臼田少佐】

歌詞

北滿の曠野を馳り逃れ居し
雄林の賊馬占山
彼れ討たずんば盟邦の
民徒らに嘆くべし
茲に高崎騎隊の田中大隊は
馬軍の行手を遮斷すべく
昭和七年七月の
中の十六日の朝風き
海倫の西、正白旗
六井指してぞ進み行く
走馬西來欲到天
辭家見月兩回圓
今夜不知何處宿
平沙萬里人煙絕
敵が鯑の跡を踏み
追ひて進めば見る限り
夏の曠野の人影も
絕えて頻降る滿洲嵐
雨足重み小止みなく
水は山野に溢れたり
敵は騎馬
吾は徒步
逸る勇氣は挽まれど
腰を埋むる三尺の
此の泥濘を如何にせむ
一足ゆけば口糧の
行李は泥にうもれけり。
さる程に
敵の敗將馬占山
殘餘の兵を提げて
獅子に追はるゝ野兎の
風にも心おのゝくや
昨日は東、今日は西
叢末に宿る白露の
落ちてはもろき命ぞと
知るも知らぬも興安の
嶺をかけてひたすらに
遁るゝ樣こそあはれなる
多日の勞苦空ならず
敵東進の報を得て
兵皆勇む鎭家店
大雨沛然と降る中に
一夜露營の火だになく
固唾を呑むで待ち明かす
明くれば七月二十七日
田中大隊長は凛然と
將士を諭し云へる樣
今日こそは吾高崎騎隊の
軍旗拜受の記念日なり
おのれ憎くき馬占山
此の一戰に屠らむと
聞くより兵皆勇み立ち
騎名嵐に鍛えたる
拳に銃把握りしめ
敵や來れと待ちかけたり
（つゞく）

籾搬出の荷馬車 逃げ出す

匪賊を恐れて

【鐵嶺】大甸子方面の籾搬出の爲め鐵嶺鮮人會では市內で雇つた荷馬車二十七臺を二十四日朝鮮農附添ひ大甸子に向はしめたるところ馬車夫は何れも匪賊の襲來を恐れて途中より逃げ出し、附添ひ鮮農が追ひかけてゐる間に殘つた馬車は逃げ出し鬼ごつこをしてゐるうち殆ど逃げて目的地に到着したのは僅か三臺だつた

大刀會匪 警官出張所を燒く

【鐵嶺】開原縣下八棵樹の我が警察官出張所は嚢に所員全部引揚げて建物のみであるが、去る十五日同地に襲來せる大刀會匪の爲め放火全燒したる旨家主が語つた

九勝の歸順で 吉長沿線安全

投降者は嚴重に監視

【吉林】吉長吉海附近一圓に渡つて暴威を揮つてゐた殿臣、三江好の大匪賊團はいよ／＼歸順の手筈となつたが、これに續く小匪賊の歸順申出は豫想の如く吉長線孤店子附近に根據を持つ匪首九勝も追々降雪の期に入りて食糧及び武器などの缺乏に一層の心細さを感ずると同時に我が皇軍の威力に恐れて愈々其の非を悟り、部下一千餘名と共に永吉縣關縣長を通じて歸順を申出たが、同縣長は去る二十日賞狀調査終り歸吉、目下軍部と投降具體策に就き協議中で正規軍編入希望者の外は農工に從事せしめ何れも改悔證書を徵して今後嚴重に監視する意向らしく、さしも危險なりし吉長吉海沿線一帶もこれで漸く安全が保たれるものと思はれる

自警團包圍され 飛行機出動嘆願

欒司令、金山好勢ひ猖獗

【鐵嶺】開原縣下東方に蟠居せる兵匪欒司令、金山好の合流部隊約一千は二、三日前より上肥地、鎮山屯附近一帶の地を占據し勢ひ猖獗を極め、同地方自警團は全部下肥地に集結して賊團と對峙中なるも全然勝算の見込みなきのみならず、全く賊團に包圍されて脫出さへも容易ならず、而も同地附近には多數の鮮農居住してこれ又危機に瀕しつゝあり、陸軍機の出動と匪賊の掃蕩速かならんことを嘆願して來た

兒童の增加で 教師と教室不足

學校當局大狼狽

【吉林】匪賊四散して滿洲國は前途洋々と輝き日滿の親交日に深まりゆくにつれ邦人の進出は各所に增加を示してゐるが、それに伴ふ人口の激增は家屋の拂底を來たして困難の狀況にある一方、最近學童の學ぶべき學校が教室の狹隘を來し、吉林小學校の事變當時百二十名の生徒がわづか半ケ年の內に約六十名の兒童增加を示して教室と教師の不足に困窮の有樣である現在では萬策盡きて已むなく二學級を合併して教授しつゝあるが其數は凡そ七十名の多きに上り現在の處では如何共なし難く、臨機の處置として授業を繼續してはゐるもの、此の上增加しては到底現在のまゝでは授業を繼續出來ず、講堂を教室に使用してもこれに當る教師がない仕末、而も邦人の增加は餘りにも目に見へた事實であるので學校當局は大いに狼狽しつゝあり、父兄間に於てもこれが前後策に腐心して居る

張海鵬氏出發

日本特別大演習陪觀のため

【洮南】日本內地に於て行はれる秋季大演習を陪觀する事に決した滿洲國侍從武官長兼洮遼警備司令官陸軍大將張海鵬氏は河野滿鐵洮南公所長と共に廿四日午前七時五十分發列車にて日滿官民多數の見送りを受け洮南を出發した尙同氏は新京に於て軍政部長張景惠氏等と合し廿七日新京發赴日の途に上る筈

井上司令官 初巡視

【洮南】獨立守備隊司令官井上中將は警備區域初巡視の爲め猿原副官以下四名を從へ廿二日午後五時着普通列車にて來洮、驛頭には洮南縣公署の手により歡迎アーチ設けられ張洮遼警備司令官、田所第○○隊長、前田憲兵分隊長、秋田洮昂鐵路顧問、河野洮南公所長、甲縣長洮遼警備軍、公安隊等日滿官民約千名の出迎へを受け、直に富文街洮南新興俱樂部に於て開かれた日滿聯合歡迎會に出席、翌廿三日五大隊洮成一個中隊を從へて洮索沿線の巡視をなし廿四日午前八時裝甲列車にてチチハルへ向つた

消防隊の 防火宣傳

【四平街】雨天の爲めに延期されてゐた當地消防隊の防火宣傳は二十四日華々しく擧行された、午後一時消防隊前に集合した警察署幹部並に消防隊員一同は周倒なる器具の點檢を終へ、同二時二臺の消防自動車に分乘し警鐘を亂打しつゝ市內隈なく宣傳ビラを撒布して市民の火災豫防の注意心を喚起しつゝ驛前廣場に至り簡單なる消防演習を終へ大成功裡に散會した

ルンペンにも 溫かい越冬

新京に簡易宿泊所設置

【新京】日を追ふて寒さが加はりが、これと共に七八十名からのルンペンの越冬が一つの社會問題として考慮され、滿鐵地方事務所社會係ではルンペン收容の簡易宿泊所及簡易食堂の設備につき鋭意本社と打合せ中で、遲くも來月中旬までには開所するに至るであらうと見られてゐる、宿泊所及その附隨食堂は鐵道北の隔離所中病人を全然收容せなかつた別館の一棟を改造して煖房設備を加へ、室內を明るく衞生的に住む心地よきものにして越冬せしむる方針の模樣だが、期間は第一期計畫として來年三月末迄とされてゐる、尙この簡易宿泊所の開設を見れば同縣人、同鄕人といふ關係で一時凌ぎのため厄介になつてゐるルンペンも同所に居を換えることにならうから現在の宿泊所計畫では直に滿員にならうと見られてゐる

四洮鐵管理局 模樣替

【四平街】四洮鐵路管理局では去る八月以來同局內部の模樣替に着手し當事者を督勵してゐるが、その後工事の進捗も著るしく素晴らしい內觀美を現出しつゝあるが、竣成の曉は全然面目を一新するであらうと

實滿圍碁大會

鐵嶺で卅日開催

【鐵嶺】鐵嶺の圍碁同好者は豫て實滿圍碁大會開催の計畫を進めてゐたが漸く纏まつて來る三十日の日曜日滿鐵クラブに於て全鐵嶺實滿對抗圍碁大會を催すと

旅順菊花展覽會

愈々廿八日から開く

【旅順】旅順後樂園の菊花展覽會は例年の如く愈々來る二十八日から十一月三日迄八日間開催される事に決定市松格子の上壇に着手した、本秋の陳列鉢數は約六百鉢で特に小菊の新種物が多い事は觀賞家の見逃し得ぬ珍品である、更に小宮園主は本秋初めての試みである小菊盆栽は頗る雅趣に富んだ作物である、懸崖の出來榮も大成功を納め本秋の菊花展は近年にない美事さである、小山園主は語る

本年は春先きに多少雨量が多かつたので却からず心配しましたが爾來天候も順調に進んで來たので豫想外の出來榮へでせう、一番苦心したのは本年は例年に無い「ウドンコ病」が發生したのでこれが驅除に就て大に努めた結果大した被害を蒙らずに濟みました

滿洲女學生に 日語講習

阮教育局長斡旋

【鐵嶺】鐵嶺縣教育局長阮全棠氏は豫てより女學生徒に對する日語教習の必要を認めてゐたが、先日滿鐵クラブに擧行された日滿聯合婦人會に出席して一層その感を深くし、各女學校に日語講習會を設立すべく計畫中であると

歐洲行郵便 敦賀經由で

【大石橋】今回新京郵務局より奉天管理局を經て當地滿洲國郵政分局に達したる通令によれば蘇炳文軍の豹變に依り東支鐵道に依る歐洲行一切の郵便物は急速取扱ひ不能の狀態なるを以て當分の間歐洲行郵便物は日本經由敦賀を經由することゝなつたと

新京

軍人家族寄附

長春駐劄步兵第三旅團司令部及び同第四聯隊の家族は今回全部內地へ歸還したが宮島、田中、尾、千葉、松川、德江の諸夫人たちはそれ／＼子女の在學記念に西廣場小學校へ三十圓を寄附した

商業校の兎狩

長春商業學校では來る廿九日全生徒總出動で南嶺東南方より伊通河畔にかけ大兎狩りを擧催することになつたが事變後最初のことゝて興味を集めてゐる

國難日本刀 (136)

高桑義生作　京极佳夕畫

浪士團と彼(六)

「要するに、攘夷は不可能である」

と落合源一郎はいつた。

「攘夷々々といふけれど、口先ばかりで、もしくは一部の外人を殺害するだけで、誰が思ひきつた攘夷を實行した者がゐるだらう。出來ない事だ、國內でさへばら〳〵な現在の日本、どうして外夷にあたることが出來よう。攘夷は他日だ。擧國一致の秋をまつて、國內の敵を掃蕩することだ。國內を統一して、新日本の建設に——われ〳〵の赴くところではなからうか、そこで翻へつて考へる。攘夷は手段——外國を相手に戰をする時期ぢやない。が、今までと同樣攘夷を天下に呼號して、所在に異人をヤツつける、外國の抗議の矢おもてに立つものは、取りもなほさず幕府だ。幕府は困る。外夷は怒る。とゞのつまり朝廷にすがりつくのは、明白な事だ。そこで政權は幕府をはなれて、朝廷に移る。今日でさへ土臺のくづれかけた幕府が、ひつくり返るのは眼前の事だ。つまり幕府を倒すために、攘夷を利用する——われ〳〵の先輩のなかにもこの說を唱道した者があつた。尤もだ。だから、現在のわれ〳〵には統一がなくてもいゝ。てんでに思ひきりあばれ廻ればいゝ、幕府の警戒がどんなに嚴重でも、めい〳〵勝手にやつたのでは、どうする事も出來ないだらう。そこがつけ目だ。われわれの役目はそこにあるのではないか」

「なるほど……」

「御尤も。しかし、統一があつた方が更に好都合ではなからうか。大きな力となるではないか」

大東義觀が同行した鳥羽小四郎長州の脫藩浪士——浪士ではあるけれども、勿論自分の藩と脈絡相通ずるものがある。

鳥羽小四郎は浪士の一致團結を說きに來たのだ。問宮も落合も、薩州系に屬する者、おなじ尊攘浪士でも、それ〴〵異なる背景をもつてゐる。あるひは長州系、あるひは土州系、あるひは水戶系——それらのものを、おなじ尊攘といふ大旆のもとに統一したならば、その仕事も大がゝりになり、有力になるだらうといふ小四郎の說である。

尊攘浪士、あるひは御用盜、所在に出沒し、跳梁跋扈をしてゐるが、まつたく統一がないのだつた。

だが、落合がまづ反駁した。

問宮がつゞいて、否と答へた。

「そんな事は、われ〳〵の係り合ふところではない。われ〳〵は政治家ではないのだ。たゞ時勢の尖端に立つて戰ふ——戰鬪家、破壞者、それでいゝ。野心はないのだ。目的をひとつにする者は、いつか連合する機會があるだらう。自然統一される日が來るに違ひない。さういふ事は、誰かにまかして置かう。われ〳〵は、要するに野戰家なのだから……」

問宮一は、當時の尊攘浪士中の最年少者だつた。非常に聰明な頭腦の所有者で、言ふ事と實行とがぴつたりと一致して、すこしのすきもない。彼は同志中最も勇敢な激烈な鬪士として尊重されてゐた。

「まことにその通り……」

「われ〳〵には不自由、不必要な統一だ」

小四郎と黑船清次は顏を見合した。かれらの連合說は容れられなかつた。

「鳥羽氏、仕方があるまい。落合問宮兩公の言葉も、十分理がある。せつかくではあるが……」

と大東義觀が取りなし顏に——

「いや、けつして心にはかけぬ。一應われ〳〵の意見をはかつたまで、是非もないことぢや」

と鳥羽は答へた。すると、鐵砲彌太が、

「つまり斯うなんですな。何かまはずあばれ廻る。手あたり次第ヤツつけると——こいつがわれ〳〵の役まはりなんで、その通り、理屈もなければ、議論もない。われ〳〵がもつものは熱情だけだ」

と問宮が叫んだ。

突然、外で、女の悲鳴がきこえた。

一同は口をつぐんで、耳を引立てた。

面白い映畫
好評涌く帝國館
フランス映畫の發聲珠玉篇「プレジャンの船唄」

映畫觀賞の好シーズンを迎へてフランス映畫の珠玉篇として期待された「プレジャンの船唄」は既報の如く本社後援の下に帝國館の銀幕を飾つて愈々廿五日から上映されたが、ファン待望の映畫だけに果然初日から盛況を呈し素晴らしい好評を博した、「巴里の屋根の下」に次ぐプレジャンの主演作品として製作された「振拂ひの一夜」と同じスタッフによる「プレジャンの船唄」はいよ〳〵プレジャンの人氣を集中しドコアンの原作とガローネ監督の名トリオを以てエクランにフランス映畫らしいエロチックな味と洒落た味を盛つて自由と獵奇のマドロス生活を描き出し、またプレジャンの好演技は相手役のジム・ジエラールの洒脫した鋭風とによつてファンを魅了したスペインの香にむせぶ異色ある女優ロリタ・ベナヴエンテの容姿を配して港街の情痴を描いて餘すところなく、そのフランス映畫らしい氣のきいた結末に至つてはプレジャンとジエラールの好演技がいよ〳〵冴えて息もつかせぬ面白味を以て終つてゐるところ從來の映畫に見ない優れた手法で絕讚を博してゐる、また今週の帝國館は和洋三本立の混合プロで日活現代劇「さらば東京」及び日活時代劇「悲戀心影流」を併映してゐるが入場料は階上七十錢階下六十錢で、本紙刷込割引券を持參すれば階上五十錢、階下四十錢に優待するから本紙割引券を利用して映畫觀賞の秋に相應しいフランス映畫の名篇「プレジャンの船唄」を觀賞されたい【寫眞はプレジャン】

西條香代子送別會

大連のベーブメントを賑はした一つの存在だつた元映畫女優西條香代子が來る十一月二日出帆のうすりい丸で歸國することになつたので中野常助、東公木、富澤進郎、中川紫朗、倉重忠男、根岸耕一、伊藤義氏等が發起人となり來る二十九日午後二時から大連ヤマトホテルにて「西條香代子氏を送るの會」を開催、會費は滿洲映畫配給公司が負擔すると

東京カフエーが最初にマネキンとしてよんだ西條香代子がいろ〳〵な桃色の噂を撒いて近く歸國するが▲けふの船で揃て放送されてゐた映畫女優の湊明子がやつて來た、當分東京カフエーで働く▲また別項の如く西條香代子を送るの會が催されるが招待者の顏觸れたるや實に人を喰つたもので▲根岸耕一氏の面目躍如たるものがあり且つ根岸氏の美髯?承認祝賀會を兼ねる筈だと相變らず映畫人は氣が若くてノンキでアルデス▲明日歸連する筈だつた長氏が昨日ひよつくり歸つて來たが、青島滯在九時間たなんてこれまた長氏の面目躍如(カットは湊明子)

二十五日から晝夜二回
本紙讀者優待映畫會

帝國館上映「プレジャンの船唄」

後援　滿洲日報社

「プレジャンの船唄」
讀者優待割引券
この券持參者に限り
階上五十錢階下四十錢
後援　滿洲日報社

「プレジャンの船唄」
讀者優待割引券
この券持參者に限り
階上五十錢階下四十錢
後援　滿洲日報社